審査意見への対応を記載した書類（9 月）

（目次）　情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

1. 【第一次審査意見１の回答について】
＜教育内容が不十分＞
以下の科目等の教育内容を充実させること。 1
(1)「オペレーティングシステム」の科目の授業内容について、IoT など、後の年次に配当された科目を学習する際に有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても身に付けることができるよう、内容を充実すること。 1
(2) 「経営」に係る科目として、「アカウンティング入門」と「アカウンティング応用」等が掲げられているが、財務会計に関する講義内容に偏っているため、管理会計に関する教育を充実すること。 13
(3) カリキュラム・ポリシーに掲げられている、企業の戦略と組織に関する理論として、経営戦略に関する教育を充実すること。 19
2. 【第一次審査意見４の回答について】
＜展開科目の内容が不十分＞
展開科目におけるグローバルコミュニケーション科目群について、ディプロマ・ポリシー等で掲げた「外国人と協働して仕事をするための能力」を身に付けることができるよう、「特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なもの」という展開科目の趣旨を踏まえ、語学以外の授業科目を充実すること。なお、選択必修科目が 4 つの区分に分類されたが、「文化の理解に関する区分」にも「実践英語」の名称の科目があるため、「実践英語に関する区分」の科目と混同しないよう、適切に改めること。 32

（改善事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

1. 【第一次審査意見１の回答について】

＜教育内容が不十分＞

以下の科目等の教育内容を充実させること。

(1)「オペレーティングシステム」の科目の授業内容について、IoT など、後の年次に配当された科目を学習する際に有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても身に付けることができるよう、内容を充実すること。

（対応）

「オペレーティングシステム」の科目の授業内容について、IoT など、後の年次に配当された科目を学習する際に有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても身に付けることができるよう、内容を充実することとのご指摘を踏まえ、見直しを行った。

まず、ご指摘をいただいた「オペレーティングシステム」については、基本的なファイル操作、スクリプト操作、単純な OS の基本操作について学ぶ内容となっている。これらの操作内容は高等学校等での「情報科」関連科目で身についている可能性があるが、基本的な技術・理論の成り立ちから学びたい学生や操作そのものに不慣れな学生もいることを想定し、1 年前期の選択科目として配置する。そのうえで、今回の指摘への対応として、新たに「オペレーティングシステム演習」を選択科目として設置する。具体的には、ICT を活用した新たなサービスの開発、実現にあたって必要となるコンピュータのハードウェア構成やソフトウェア制御などコンピュータに関する様々な知識を習得する内容となっている。コンピュータの仕組みや考え方、動作原理への理解に基づき、その内部構成についてさらに理解を深めるとともに、OS の主な役割とその代表的な機能について演習形式で学ぶ内容とする。OS の原理や仕組み、基本機能をより深く理解したうえで、仮想化や IoT など有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても演習を通じ身に付けることで、ICT を活用したシステム開発への応用につなげることを目的に、ご指摘いただいた内容に対し、科目の新設で対応を行う。

なお、いずれも情報通信技術領域の基本的な事項となることから、履修指導時や導入教育に説明を行い、個々の学生に必要な履修を促す。具体的には、学務委員会や職員（イノベーションマネジャー）が中心となって、入試時の調査票等から専門高校での学習を含む情報系科目の履修状況を確認するとともに、面談を通じて具体的な学習内容と入学後に希望する進路などのヒアリングを行い、必要な学生に履修を促すことを予定している。また、「オペレーティングシステム」も含む、選択必修科目や選択科目で希望者が多数となった際にはクラス増設等も配慮する。

（新旧対照表）教育課程等の概要

新

システムデザイン基礎	コンピュータとソフトウェア基礎	1前	2			○			1					
	プログラミングⅠ	1前	2					○		1				
	データ構造と処理法	1前	2				○		1					
	オペレーティングシステム	1前		2			○				1			
	プログラミングⅡ	1後	2					○		1				
	ネットワーク技術	1後	2			○			1		1			
	オペレーティングシステム演習	1後		2			○		1					
	コンピュータアーキテクチャ	1後		2		○			1					
	ソフトウェア設計・構築	2前	2				○			1				
	データベース	2前	2				○		1					
	モバイルサービス概論	2前		2		○			1					
	情報系数学応用A	2前		2		○				1				
	情報技術演習Ⅰ	2後	2				○		1					
	システム設計演習	2後	2				○			1				
	データサイエンス	2後		2		○			2					
	情報系数学応用B	2後		2		○			1					
	情報系数学応用C	3前		2		○			1					
ネットワークセ	ネットワーク構築Ⅰ	2前		2			○			1				
	情報セキュリティ演習Ⅰ	2後		2			○		1					
	ネットワーク構築Ⅱ	2後		2			○			1				
	情報セキュリティ演習Ⅱ	3前		2			○		1					
	ネットワーク構築Ⅲ	3前		2			○			1				
	小計（66科目）	－	68	84	0	－			13	6	4	0	0	兼5
総合科目	－	総合演習	総合理論演習	3後	2				○		12	5				
			総合実践演習	4通	4				○		12	5				
			小計（2科目）	－	6	0	0	－			12	5	0	0	0	0
合計（103科目）				－	94	132	0	－			15	7	6	0	0	兼13

旧

システムデザイン基礎	コンピュータとソフトウェア基礎	1前	2			○			1					
	プログラミングⅠ	1前	2					○		1				
	データ構造と処理法	1前	2				○		1					
	オペレーティングシステム	1前		2			○				1			
	プログラミングⅡ	1後	2					○		1				
	ネットワーク技術	1後	2			○			1		1			
	（追加）													
	コンピュータアーキテクチャ	1後		2		○			1					
	ソフトウェア設計・構築	2前	2				○			1				
	データベース	2前	2				○		1					
	モバイルサービス概論	2前		2		○			1					
	情報系数学応用A	2前		2		○				1				
	情報技術演習Ⅰ	2後	2				○		1					
	システム設計演習	2後	2				○			1				
	データサイエンス	2後		2		○			2					
	情報系数学応用B	2後		2		○			1					
	情報系数学応用C	3前		2		○			1					
ネットワークセ	ネットワーク構築Ⅰ	2前		2			○			1				
	情報セキュリティ演習Ⅰ	2後		2			○		1					
	ネットワーク構築Ⅱ	2後		2			○			1				
	情報セキュリティ演習Ⅱ	3前		2			○		1					
	ネットワーク構築Ⅲ	3前		2			○			1				
	小計（64科目）	－	68	80	0	－			13	6	4	0	0	兼5
総合科目	－	総合演習	総合理論演習	3後	2				○		12	5				
			総合実践演習	4通	4				○		12	5				
			小計（2科目）	－	6	0	0	－			12	5	0	0	0	0
合計（97科目）				－	94	120	0	－			15	7	6	0	0	兼10

（新旧対照表）授業科目の概要（12 ページ）

新	旧
オペレーティングシステム演習： 情報通信技術を活用した新たなサービスの開発、実現にあたっては、コンピュータのハードウェア構成やソフトウェア制御などコンピュータに関する様々な知識が必要となる。この科目ではコンピュータの仕組みや考え方、動作原理への理解に基づき、その内部構成についてさらに理解を深めるとともに、オペレーティングシステム（以下、OS）の主な役割とその代表的な機能について学ぶ。OS の原理や仕組み、基本機能をより深く理解するために演習形式で学びを深める。あわせて、今日的な話題である OS の仮想化や IoT など有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても身に付け、情報通信技術を活用したシステム開発への応用につなげる。 なお、本授業は「オペレーティングシステム」で単純な OS 操作を学んだうえで、ICT を活用したシステ	（追加）

ム開発への応用につなげることを目的に設定されていることから、連続性をもって履修することを推奨する。	

（新旧対照表）シラバス　オペレーティングシステム演習（86～87 ページ）

新

授業科目	オペレーティングシステム演習							職業専門科目	
配当年次	1 年次	配当学期	後期	単位数	2 単位	必修・選択の別	選択	授業形態	演習
担当教員	鎌谷 修								

1．授業概要

情報通信技術を活用した新たなサービスの開発、実現にあたっては、コンピュータのハードウェア構成やソフトウェア制御などコンピュータに関する様々な知識が必要となる。この科目ではコンピュータの仕組みや考え方、動作原理への理解に基づき、その内部構成についてさらに理解を深めるとともに、オペレーティングシステム（以下、OS）の主な役割とその代表的な機能について学ぶ。OS の原理や仕組み、基本機能をより深く理解するために演習形式で学びを深める。あわせて、今日的な話題である OS の仮想化や IoT など有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても身に付け、情報通信技術を活用したシステム開発への応用につなげる。

なお、本授業は「オペレーティングシステム」で単純な OS 操作を学んだうえで、ICT を活用したシステム開発への応用につなげることを目的に設定されていることから、連続性をもって履修することを推奨する。

2．授業の目的、目標

・コンピュータの内部構成や動作について理解できる。
・OS の主な役割や機能とその設定について理解し、運用できる。
・ユーザとハードウェア、ソフトウェアとハードウェアの関係性の中で OS が果たす役割を理解し、サービス開発に生かすことができる。

3．授業計画

回数	内容
1	ソフトウェアの概要と種類 （オペレーティングシステム、ミドルウェア、応用ソフトウェアなど）
2	プロセッサの概要と種類① （基本的な特徴と要素、プロセッサの基本構造）
3	プロセッサの概要と種類② （動作原理と性能、高速化技術）
4	基本機能 （シェルとカーネル、制御プログラム、CPU による命令語の実行、コンパイラなど）
5	プロセス管理におけるジョブ管理、タスク管理① （ジョブ、スレッド、タスクの考え方とスケジューリングなど）
6	プロセス管理におけるジョブ管理、タスク管理② （マルチタスク、マルチスレッド、タスクの同期と排他制御など）
7	メモリ管理機能 （メモリ管理の概要、実記憶管理、仮想記憶機能（ページング、動的アドレス変換など））

8	OS による機能提供とファイル管理 （システムコールとファイルシステム）
9	入出力管理とインタフェース、プロセス間通信制御 （入出力制御、ハードウェアインタフェース、プロセス間通信制御など）
10	OS のセキュリティ （代表的な脅威とセキュリティ対処手法、ネットワークセキュリティと暗号化手法など）
11	OS の仮想化技術とその環境構築① （コンテナ型の概要、実行環境の構築と動作確認）
12	OS の仮想化技術とその環境構築② （ハイパーバイザ型の概要、実行環境の構築と動作確認）
13	組み込み機器用 OS と IoT① （組み込み機器用 OS の種類とその特徴）
14	組み込み機器用 OS と IoT② （組み込み機器用 OS の操作）
15	まとめ （情報通信技術を活用した新たなサービスの開発とそれらを実現する OS の役割）

４．試験および成績評価の方法と基準

各テーマごとに設定される課題の提出状況とその内容（70%）
各回の授業への参加度・貢献度（質問、発言など）（30%）

５．準備学習（予習・復習、課題等）

予習（標準学習時間：1 時間）
・事前に示す参考文献や Web サイト等を閲覧し、基本的な用語・概念について理解をしたうえで授業に臨むこと。
復習（標準学習時間：1 時間）
・各テーマごとに設定される課題に取り組む。

６．教科書／参考文献

教科書：
適宜、参考となる文献や Web サイト等を指示する。

参考文献：
『オペレーティングシステム 第 3 版』Andrew S. Tanenbaum(著) 吉澤 康文(翻訳) 木村 信二(翻訳) 永見 明久(翻訳), 峯博史(翻訳)、ピアソンエデュケーション、(2007/12/20)
『IT Text オペレーティングシステム（改訂 2 版）』野口 健一郎(著)光来 健一(著)品川 高廣(著)、オーム社(2018/1/24)
『IoT の基本・仕組み・重要事項が全部わかる教科書』八子 知礼（著)杉山 恒司(著)、竹之下 航洋（著)、松浦 真弓（著)、 土本 寛子（著)、 SB クリエイティブ（2017/10/19)

７．備考

旧

(追加)

（新旧対照表）学則　別表１

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>システムデザイン基礎
<table><tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr><tr><td>コンピュータとソフトウェア基礎</td><td>2</td></tr><tr><td>プログラミングⅠ</td><td>2</td></tr><tr><td>データ構造と処理法</td><td>2</td></tr><tr><td>オペレーティングシステム</td><td>2</td></tr><tr><td>プログラミングⅡ</td><td>2</td></tr><tr><td>ネットワーク技術</td><td>2</td></tr><tr><td>オペレーティングシステム演習</td><td>2</td></tr><tr><td>コンピュータアーキテクチャ</td><td>2</td></tr><tr><td>ソフトウェア設計・構築</td><td>2</td></tr><tr><td>データベース</td><td>2</td></tr><tr><td>モバイルサービス概論</td><td>2</td></tr><tr><td>情報系数学応用Ａ</td><td>2</td></tr><tr><td>情報技術演習Ⅰ</td><td>2</td></tr><tr><td>システム設計演習</td><td>2</td></tr><tr><td>データサイエンス</td><td>2</td></tr><tr><td>情報系数学応用Ｂ</td><td>2</td></tr><tr><td>情報系数学応用Ｃ</td><td>2</td></tr></table></td><td>システムデザイン基礎
<table><tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr><tr><td>コンピュータとソフトウェア基礎</td><td>2</td></tr><tr><td>プログラミングⅠ</td><td>2</td></tr><tr><td>データ構造と処理法</td><td>2</td></tr><tr><td>オペレーティングシステム</td><td>2</td></tr><tr><td>プログラミングⅡ</td><td>2</td></tr><tr><td>ネットワーク技術</td><td>2</td></tr><tr><td>(追加)</td><td></td></tr><tr><td>コンピュータアーキテクチャ</td><td>2</td></tr><tr><td>ソフトウェア設計・構築</td><td>2</td></tr><tr><td>データベース</td><td>2</td></tr><tr><td>モバイルサービス概論</td><td>2</td></tr><tr><td>情報系数学応用Ａ</td><td>2</td></tr><tr><td>情報技術演習Ⅰ</td><td>2</td></tr><tr><td>システム設計演習</td><td>2</td></tr><tr><td>データサイエンス</td><td>2</td></tr><tr><td>情報系数学応用Ｂ</td><td>2</td></tr><tr><td>情報系数学応用Ｃ</td><td>2</td></tr></table></td></tr>
</table>

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（57 ページ）

新	旧
[38～39 ページ] ⑦職業専門科目「システムデザイン基礎」 イノベーションを実現するために必要な情報通信技術の専門科目を配置している。各科目は主に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「IT スキル標準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠した科目を配置している。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅠ・Ⅱ」「データ構造と処理法」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を履修する。「イノベーションプロジェクト」や「インターンシップ」で情報通信技術を活用し、新たな商品やサービスを企画・開発するために必要な情報通信技術に関する知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「オペレーティングシステム」「オペレーティングシステム演習」「コンピュータアーキテクチャ」「モバイルサービス概論」を配置し、情報通信技術の基本的な技術とその成り立ちを理解できるよう設定する。あわせて「情報系数学応用 A～C」「データサイエンス」を配置し、情報系科目を発展的に学ぶために必要となる数学的な理解を深める素地を作る。	[38～39 ページ] ⑦職業専門科目「システムデザイン基礎」 イノベーションを実現するために必要な情報通信技術の専門科目を配置している。各科目は主に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめている「IT スキル標準モデルカリキュラムーレベル 2～3」に準拠した科目を配置している。必修科目として、「コンピュータとソフトウェア基礎」「プログラミングⅠ・Ⅱ」「データ構造と処理法」「ネットワーク技術」「ソフトウェア設計・構築」「データベース」「情報技術演習Ⅰ」「システム設計演習」を履修する。「イノベーションプロジェクト」や「インターンシップ」で情報通信技術を活用し、新たな商品やサービスを企画・開発するために必要な情報通信技術に関する知識・スキルを総合的に学ぶ。また、選択科目として「オペレーティングシステム」(追記)「コンピュータアーキテクチャ」「モバイルサービス概論」を配置し、情報通信技術の基本的な技術とその成り立ちを理解できるよう設定する。あわせて「情報系数学応用 A～C」「データサイエンス」を配置し、情報系科目を発展的に学ぶために必要となる数学的な理解を深める素地を作る。
[57 ページ] 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。また、2 年次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリテ	[57 ページ] 資料 12-②-1 の履修モデルでは、システムやサービスを開発するとともに、プロジェクトを管理・推進する役割を発揮するために、1～2 年次の必修科目を通じ情報通信技術の基本的な知識やスキルを習得したうえで、2 年次に解析や情報処理の考え方や技法として「情報系数学応用 A」を、プロジェクトの立ち上げ、運用や管理方法を学ぶ「情報システムのプロジェクト管理」を履修する。また、2 年次に「情報セキュリティ演習Ⅰ」を通じ情報セキュリテ

ィ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3年次は「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を習得する。また、技術の発展事例を習得するために、1年次に「オペレーティングシステム演習」を履修し仮想化やIoTなど有用なシステム開発や設計に関する知識やスキルについても身に付けたうえで、「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。	ィ全般の知識やスキルの定着を図るとともに、3年次は「ソフトウェアプロセスと品質」を通じソフトウェア開発の概念や改善手法を習得する。また、技術の発展事例として「ビッグデータ」とこれに関連する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修し、技術間の横断的な開発時に必要な技術やスキルを習得する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 12　履修モデル

新　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	1 2				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	1 2				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択	後期	オペレーティングシステム 演習	2	後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	後期	○ ビッグデータ	2				
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	26		単位数	26		単位数	28		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 多文化理解	2	前期	○ 国際情勢論	2	前期	○ 国際開発論	2	
										前期	○ 日本文化	2	後期	○ グローバルビジネスにおけるネゴシエーション	2	
										後期	○ 製造業における国際化	2				
					単位数	4		単位数	6		単位数	6		単位数	4	20
総合科目		－	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	37		合計単位数	37		合計単位数	10	128

旧　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択		（追加）		後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
										後期	○ ビッグデータ	2				
		セキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	26		単位数	30		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2				
										後期	○ 実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		－	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	39		合計単位数	39		合計単位数	8	128

（新旧対照表）別紙（設置の趣旨等を記載した書類　資料 19　カリキュラムマップ）

資料 15　時間割（後期）

新

		演習室1	演習室2	演習室1	演習室2	演習室3	演習室4	演習室5	演習室6	演習室7	演習室8	演習室9	演習室10	講義室1	講義室2	講義室3	講義室4	講義室5	講義室6	講義室7
月	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （江端）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （川上）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （鍵渡）	3年(12-1月のみ) 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）	（削除）									
	2			（削除）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）						4年 【演習】 グローバルビジネスにおけるネゴシエーション(佐伯)				3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）						
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）	（削除）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 製造業における国際化 （佐伯）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （片桐）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （芦澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （三澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （各務）	3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （各務）	4年 【演習】 国際経営と衛管 概 （嶋田）			3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）						
	4			（削除）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）							4年 【演習】 農業・林業・漁業における国際化 （小林久）				2年 【講義】 科学史 （大和）					
	5	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （阿部川）		2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （鍵渡）	4年 【演習】 総合実践演習 （江端）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）					3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）	2年 【講義】 科学史 （大和）				
	6																			
火	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （藤井）			2年 【演習】 多文化理解 （市川）									2年 【講義】 情報システムのプロジェクト管理 （平山）						
	2				1年 【演習】 オペレーティングシステム演習 （鎌谷）	2年 【演習】 問題解決と問題解決 （三澤）	2年 【演習】 比較宗教論 （中村直）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトV （川上）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトV （久米）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトV （志村）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトV （栗浜）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトV （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ （堀田）							
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		1年 【演習】 オペレーティングシステム演習 （鎌谷）	2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅱ （山内）	3年(12-1月のみ) 【演習】国際メディア論 （中村直）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （川上）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （久米）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （志村）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （栗浜）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ （堀田）	2年 【講義】 データサイエンス （磯、Adrian）	2年(12-1月のみ) 【講義】グローバル企業戦略論 （藤森）				
	4							2年 【演習】 イノベーションロジェクトIV （川上）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトIV （久米）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトIV （志村）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトIV （栗浜）	2年 【演習】 イノベーションロジェクトIV （松村）				4年 【講義】 税務会計・会計処理 （辻）				
	5				2年 【演習】 多文化理解 （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】国際メディア論 （中村直）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトII （川上）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトII （久米）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトII （志村）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトII （栗浜）	1年 【演習】 イノベーションロジェクトII （松村）			2年 【講義】 データサイエンス （磯、Adrian）						
	6				2年 【演習】 多文化理解 （市川）															
水	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	（削除）			3年(12-1月のみ) 【演習】 コーポレートファイナンス （辻）	3年(12-1月のみ) 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）					1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	2			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）						4年 【演習】 国際経営と衛管 概 （嶋田）	4年 【演習】 グローバルビジネスにおけるネゴシエーション （佐伯）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）			3年(12-1月のみ) 【演習】 システムインテグレーション （平山、桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）		4年 【演習】 国際経営と衛管 概 （嶋田）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	4			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	1年 【演習】 オペレーティングシステム演習 （鎌谷）						4年 【演習】 農業・林業・漁業における国際化 （小林久）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （阿部川）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	6						2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）	4年 【演習】 総合実践演習 （芦澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （磯）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）							
木	1			1年 【講義】 リサーチ入門 （鍵渡）					3年(12-1月のみ) 【演習】 製造業における国際化 （佐伯）		3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （井澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （久米）		1年 【講義】 スタートアップ基礎(起業論) （江端）		2年 【講義】 組織行動論 （青田）				
	2			1年 【講義】 リサーチ入門 （鍵渡）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）							1年 【講義】 スタートアップ基礎(起業論) （江端）		2年 【講義】 ファイナンス入門 （中嶋）				
	3			1年 【講義】 リサーチ入門 （鍵渡）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	2年 【演習】 比較宗教論 （中村直）	3年(12-1月のみ) 【演習】グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）	3年(12-1月のみ) 【演習】 地域創生とイノベーション （久米）		1年 【講義】 スタートアップ基礎(起業論) （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B(片桐)				
	4			1年 【講義】 リサーチ入門 （鍵渡）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	2年 【演習】 比較宗教論 （中村直）						1年 【講義】 スタートアップ基礎(起業論) （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B(片桐)				
	5			1年 【講義】 リサーチ入門 （鍵渡）			3年(12-1月のみ) 【演習】国際メディア論 （中村直）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチII （川上）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチII （久米）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチII （各務）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチII （栗浜）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチII （松村）		1年 【講義】 スタートアップ基礎(起業論) （江端）						
	6																			
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （藤井）						3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （磯）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （加藤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （堀田）		1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）				
	2							2年 【演習】 情報セキュリティ演習I （平山）						1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （藤森）			
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）					2年 【演習】 情報セキュリティ演習I （平山）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （落合）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （寺脇）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （平山）		1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （藤森）			
	4													1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインII （富澤）			
	5							2年 【演習】 情報セキュリティ演習I （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （鎌谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインII （富澤）			
	6																			
土	1						3年 【実習】 インターンシップII 事前指導(9月) 事後指導(12月) （富澤）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導(9月) 事後指導(12月) （久米）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導(9月) 事後指導(12月) （井澤）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導(9月) 事後指導(12月) （加藤）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導(9月) 事後指導(12月) （山内）								
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

資料 15　時間割（後期）

旧

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		2年 【演習】 英語ビジネスマネジメント （阿部川）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年（12-1月のみ） 【演習】英語ディスカッション・ディベート （市川）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （江端）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （川上）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （難波）	3年（12-1月のみ） 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）	4年 【演習】 英語ネゴシエーション （佐伯）								
	2				2年 【演習】 英語ビジネスマネジメント （阿部川）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）						4年 【演習】 英語ネゴシエーション （佐伯）			3年（12-1月） 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）						
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年（12-1月のみ） 【演習】 実践英語・製造業 （佐伯）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （片桐）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （志村）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （富澤）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （三澤）	3年（12-1月のみ） 【演習】 クラウド （各務）	（追加）		3年（12-1月） 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）					
	4					2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）							（追加）			2年 【講義】 科学史 （大和）					
	5	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （阿部川）			2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （難波）	4年 【演習】 総合実践演習 （江端）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）				3年（12-1月） 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）	2年 【講義】 科学史 （大和）				
	6																			
火	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （藤井）			2年 【演習】 実践英語・多文化理解 （市川）									2年 【講義】 情報システムのプロジェクト管理 （平山）					
	2				（追加）	2年 【演習】 問題形成と問題解決 （三澤）		3年（12-1月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （川上）	3年（12-1月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （久米）	3年（12-1月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （志村）	3年（12-1月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （乗浜）	3年（12-1月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ（堀田）						
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		（追加）	2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅱ （山内）	3年（12-1月のみ） 【演習】英語ディスカッション・ディベート （市川）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （川上）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （久米）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （志村）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （乗浜）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ（堀田）	2年 【講義】 データサイエンス（鐘、Adrian）	（追加）				
	4							2年 【演習】 イノベーションプロジェクトIV （川上）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトIV （久米）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトIV （志村）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトIV （乗浜）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトIV （松村）				（追加）	4年 【講義】 税務会計・会計処理 （辻）			
	5					2年 【演習】 実践英語・多文化理解 （市川）	3年（12-1月のみ） 【演習】 実践英語・製造業 （佐伯）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （川上）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （久米）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （志村）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （乗浜）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （松村）			2年 【講義】 データサイエンス（鐘、Adrian）					
	6					2年 【演習】 実践英語・多文化理解 （市川）														
水	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）			3年（12-1月のみ） 【演習】 コーポレートファイナンス （辻）	3年（12-1月のみ） 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）					1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鐘）					
	2			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英語ビジネスマネジメント （阿部川）						4年 【演習】 実践英語・イノベーション （三澤）	4年 【演習】 英語ネゴシエーション （佐伯）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鐘）					
	3	2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）		1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）			3年（12-1月のみ） 【演習】 システムインテグレーション （平山、桐谷）	3年（12-1月のみ） 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）		4年 【演習】 実践英語・イノベーション （三澤）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鐘）					
	4			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	（追加）		2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）				4年 【演習】 実践英語・イノベーション （三澤）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鐘）					
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （阿部川）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鐘）					
	6						4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）		4年 【演習】 総合実践演習 （富澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （鐘）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）								
木	1			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）				3年（12-1月のみ） 【演習】英語ディスカッション・ディベート （市川）		3年（12-1月のみ） 【演習】 クラウド （井澤）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （久米）			1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 組織行動論 （青田）				
	2			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）							1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 ファイナンス入門（中嶋）				
	3			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	3年（12-1月のみ） 【演習】 実践英語・製造業 （佐伯）	3年（12-1月のみ） 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）	3年（12-1月のみ） 【演習】 地域創生とイノベーション （久米）	（追加）		1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B（片桐）				
	4			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）				（追加）		1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B（片桐）				
	5			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			（追加）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチII （川上）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチII （久米）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチII （各務）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチII （乗浜）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチII （松村）	1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）							
	6						（追加）													
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （藤井）						3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （鐘）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （加藤）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （鎌谷）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （堀田）		1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）				
	2							2年 【演習】 情報セキュリティ演習I （平山）						1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （藤森）			
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）					2年 【演習】 情報セキュリティ演習I （平山）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （落合）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （桐谷）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （寺脇）	3年（12-1月のみ） 【演習】 総合理論演習 （平山）		1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （藤森）			
	4													1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年（12-1月） 【講義】 キャリアデザインII （富澤）			
	5							2年 【演習】 情報セキュリティ演習I （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （鎌谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 法務リテラシーI （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年（12-1月） 【講義】 キャリアデザインII （富澤）			
	6																			
土	1						3年 【実習】 インターンシップII 事前指導（9月） 事後指導（12月） （富澤）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導（9月） 事後指導（12月） （久米）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導（9月） 事後指導（12月） （井澤）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導（9月） 事後指導（12月） （加藤）	3年 【実習】 インターンシップII 事前指導（9月） 事後指導（12月） （山内）								
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
Δ5	カマタニ　オサム 鎌谷　修 ＜令和２年４月＞	オペレーティングシステム演習	１後	6	3
		情報技術演習Ⅰ	２後	10	5
		情報技術演習Ⅱ	３前	2	1
		IoT	３後	2	2
		総合理論演習	３後	2	1
		総合実践演習	４通	4	1

旧

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
⑤	カマタニ　オサム 鎌谷　修 ＜令和２年４月＞	(追加)			
		情報技術演習Ⅰ	２後	10	5
		情報技術演習Ⅱ	３前	2	1
		IoT	３後	2	2
		総合理論演習	３後	2	1
		総合実践演習	４通	4	1

（改善事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

(2) 「経営」に係る科目として、「アカウンティング入門」と「アカウンティング応用」等が掲げられているが、財務会計に関する講義内容に偏っているため、管理会計に関する教育を充実すること。

（対応）

「アカウンティング入門」と「アカウンティング応用」等が掲げられているが、財務会計に関する講義内容に偏っているため、管理会計に関する教育を充実することとのご指摘を踏まえ、「アカウンティング入門」と「アカウンティング応用」について科目内容について見直しを行った。

「アカウンティング入門」については、科目全体の内容を見直し、これまでの財務会計の基礎的な内容に加え、管理会計の基礎的な内容の充実を図るよう科目内容を修正した。具体的には、授業概要において管理会計を取り扱うことを明記し、授業計画の中で財務会計と管理会計の目的と違い、管理会計の特徴や経営とのかかわりなどを学習する内容に修正した。なお、これに伴い財務会計の内容については、関連する単元で補足説明を行うこととした。

「アカウンティング応用」についても同様に科目全体の内容を見直し、管理会計の応用領域についてエッセンスを学ぶ。具体的には、経営管理システムの構造と機能についてより理解を深める。同時に、それらの手法を実際に活用できるような知識を習得する。主に利益管理、原価管理、意思決定、および管理会計の新たな展開にかかわるテーマを中心に取り上げ、実際の事例を交えながら概説することとした。

上記の通り、「アカウンティング入門」と「アカウンティング応用」について、科目全体の内容や各回の授業計画について見直しを行うことで、管理会計に関する教育の充実を図るとともに、財務会計と管理会計をバランスよく学び、「経営」に関する理解を深める科目構成へと変更を行った。

（新旧対照表）授業科目の概要（5 ページ）

新	旧
[5 ページ] アカウンティング入門： ICT の進歩により飛躍的な発展を遂げるビジネス社会で有為な人材として活躍するためには、ビジネス社会の共通言語である会計を学ぶことが重要である。この授業では、会計を初めて学ぶ人達を対象に、会計の全般的で基礎的な内容を平易に解説する。会計といえば、一般的に企業会計を意味することが多い。会計情報は企業を取り巻く各種ステークホルダー（利害関係者）の意思決定に利用されるからである。そこで、企業において会計が果たす役割を外部報告会計（財務会計）と内部報告会計（管理会計）	[4 ページ] アカウンティング入門 ICT の進歩により飛躍的な発展を遂げるビジネス社会で有為な人材として活躍するためには、ビジネス社会の共通言語である会計を学ぶことが重要である。この授業では、会計を初めて学ぶ人達を対象に、会計の全般的で基礎的な内容を平易に解説する。会計といえば、一般的に企業会計を意味することが多い。会計情報は企業を取り巻く各種ステークホルダー（利害関係者）の意思決定に利用されるからである。同時に、会計の適用範囲は広い。ここでは、会計を網羅的に取り上げ、その時々の会計事情を事例

という２つの相互関連する視点で区別し、会計の基本的な考え方とその守備範囲についてわかりやすく説明する。	として利用しながら、会計の基本的な考え方とその守備範囲についてわかりやすく説明する。
[5 ページ] アカウンティング応用： 「アカウンティング入門」で学んだ会計の基本知識をもとに、この授業では財務会計と管理会計の応用領域についてエッセンスを学ぶ。前者では、企業の健康状態をチェックするために必要な会計情報は、カルテともいうべき財務諸表から得られる。そのため、財務諸表の体系および内容を理解し、分析できなければビジネスに役立たない。とりわけ財務 3 表とも呼ばれる貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の関連性とそれらの計算構造の仕組みを理解しておくことが重要である。 後者では、企業等の経営管理者が組織運営にあたって不可欠なシステムの構造と機能についてより理解を深め、同時に、管理会計上で直面する課題解決のために、それらの手法を実際に活用できるような知識を習得することが重要である。ここでは、主に利益管理、原価管理、意思決定、および管理会計の新たな展開にかかわるテーマを中心に取り上げ、実際の事例を交えながら概説する。 どちらの領域も相互関連的であり、また、単なる実践的な会計処理方法を学ぶだけではなく、その理論的根拠や応用事例も同時に理解することで、企業価値を高める創造力をも身につけることを目指している。	[5 ページ] アカウンティング応用： 「アカウンティング入門」で学んだ会計の基本知識をもとに、この授業では主に財務会計（外部報告会計）の応用領域について学ぶ。企業の健康状態をチェックするために必要な会計情報は、カルテともいうべき財務諸表から得られる。そのため、財務諸表の体系および内容を理解し、分析できなければビジネスに役立たない。とりわけ財務 3 表とも呼ばれる貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー・計算書の関連性とそれらの計算構造の仕組みをしっかりと理解しておくことが重要である。 また、個別企業の財務諸表だけではなく企業集団の連結財務諸表についても触れる。さらに、ICT の利用により、経済活動がボーダレス化するなかで、会計ルールの国際化への対応も考慮に入れておかなければならない。 単なる実践的な会計処理方法を学ぶだけではなく、その理論的根拠や応用事例も同時に学ぶことにで、企業価値を高める創造力をも身につけることを目指している。

（新旧対照表）シラバス　アカウンティング入門　アカウンティング応用（31～32、37～38 ページ）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>[31～32 ページ]
アカウンティング入門
１．授業概要
ICT の進歩により飛躍的な発展を遂げるビジネス社会で有為な人材として活躍するためには、ビジネス社会の共通言語である会計を学ぶことが重要である。この授業では、会計を初めて学ぶ人達を対象に、会計の全般的で基礎的な内容を平易に解説する。会計といえば、一般的に企業会計を意味することが多い。会計情報は企業を取り巻く各種ステークホルダー（利害関係者）の意思決定に利用されるからである。そこで、企業において会計が果たす役割を外部報告会計（財務会計）と内部報告会計（管理会計）という２つの相互関連する視点で区別し、会計の基本的な考え方とその守備範囲についてわかりやすく説明する。

３．授業計画
<table><tr><th>回数</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>会計の役割とは（会計の意義・目的・仕組みについて）</td></tr><tr><td>2</td><td>企業会計の２つの領域とそれらの特徴について：会計情報と報告書に関連して</td></tr><tr><td>3</td><td>財務会計の基礎（１）貸借対照表・損益計算書の構成要素とそれらの役割</td></tr><tr><td>4</td><td>財務会計の基礎（２）キャッシュフロー計算書の構成要素とその役割</td></tr><tr><td>5</td><td>簿記のルール（１）簿記の意味・役割・種類と簿記一巡の手続き（仕訳）</td></tr><tr><td>6</td><td>簿記のルール（２）簿記一巡の手続き（転記・試算表）</td></tr><tr><td>7</td><td>簿記のルール（３）簿記一巡の手続き（精算表・財務諸表の出来るまで）</td></tr><tr><td>8</td><td>財務諸表分析とは・・・財務諸表の利用の仕方と分析方法の概要</td></tr><tr><td>9</td><td>会計と各種法制度とのかかわりについて</td></tr><tr><td>10</td><td>管理会計の基礎（1）企業経営と管理会計について</td></tr><tr><td>11</td><td>管理会計の基礎（2）管理会計の歴史的変遷とその特徴</td></tr></table></td><td>[27～28 ページ]
アカウンティング入門
１．授業概要
ICT の進歩により飛躍的な発展を遂げるビジネス社会で有為な人材として活躍するためには、ビジネス社会の共通言語である会計を学ぶことが重要である。この授業では、会計を初めて学ぶ人達を対象に、会計の全般的で基礎的な内容を平易に解説する。会計といえば、一般的に企業会計を意味することが多い。会計情報は企業を取り巻く各種ステークホルダー（利害関係者）の意思決定に利用されるからである。同時に、会計の適用範囲は広い。ここでは、会計を網羅的に取り上げ、その時々の会計事情を事例として利用しながら、会計の基本的な考え方とその守備範囲についてわかりやすく説明する。

３．授業計画
<table><tr><th>回数</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>会計の役割とは（会計の意義・目的・仕組みについて）</td></tr><tr><td>2</td><td>財務会計の基礎（１）企業外部者のための会計情報と財務諸表</td></tr><tr><td>3</td><td>財務会計の基礎（２）財務諸表の構成要素とその役割・・貸借対照表・損益計算書</td></tr><tr><td>4</td><td>財務会計の基礎（３）財務諸表の構成要素とその役割・・キャッシュフロー計算書</td></tr><tr><td>5</td><td>簿記のルール（１）簿記の意味・役割・種類と簿記一巡の手続き（仕訳）</td></tr><tr><td>6</td><td>簿記のルール（２）簿記一巡の手続き（転記・試算表）</td></tr><tr><td>7</td><td>簿記のルール（３）簿記一巡の手続き（精算表・財務諸表の出来るまで）</td></tr><tr><td>8</td><td>財務分析とは・・・財務諸表の利用の仕方と分析方法の概要</td></tr><tr><td>9</td><td>会計と法制度・・・日本の会計制度（中小企業の会計制度を含む）の体系</td></tr><tr><td>10</td><td>監査とは・・監査の基本とその必要性</td></tr><tr><td>11</td><td>管理会計の基礎・・企業内部者のための会計とは</td></tr></table></td></tr>
</table>

12	管理会計の基礎（3）管理会計の体系
13	原価計算の必要性・・・製造業で行われる原価計算
14	会計領域の拡大（1）・・・財務会計の視点から
15	会計領域の拡大（2）・・・管理会計の視点から

12	原価計算の必要性(追記)
13	税務会計とは・・企業会計と税務会計の相違について
14	会計領域の拡大（1）グローバル社会の会計ルール・・国際会計基準とは
15	会計領域の拡大（2）環境会計・公会計等への応用の現状

6．教科書／参考文献

教科書：オリジナルのレジュメ形式で毎回配布する。

参考文献：

『会計学基礎論　第五版』神戸大学会計学研究室、同文館出版、2016 年

『会計学入門（第 5 版）』櫻井久勝、日経文庫、2018 年 7 月。

『管理会計入門〈第 2 版〉』加登豊、梶原武久（共著）、日経文庫、2017 年 6 月。

『管理会計・入門（第 4 版）』浅田孝、頼誠、鈴木研一、中川優、佐々木郁子（共著）、有斐閣アルマ、2017 年 5 月。

その他テーマごとに適宜提示する。

6．教科書／参考文献

教科書：オリジナルのレジュメ形式で毎回配布する。

参考文献：

『会計学基礎論　第五版』神戸大学会計学研究室、同文館出版、2016 年

『スタートアップ会計学　第 2 版』上野清貴編著、同文館出版、2018 年 2 月。

『新版　会計学入門　第 5 版』千代田邦夫著、中央経済社、2018 年 2 月

『会計学入門（第 5 版）』櫻井久勝、日経文庫、2018 年 7 月。

その他テーマごとに適宜提示する。

[37～38 ページ]

アカウンティング応用

1．授業概要

「アカウンティング入門」で学んだ会計の基本知識をもとに、この授業では財務会計と管理会計の応用領域についてエッセンスを学ぶ。前者では、企業の健康状態をチェックするために必要な会計情報は、カルテともいうべき財務諸表から得られる。そのため、財務諸表の体系および内容を理解し、分析できなければビジネスに役立たない。とりわけ財務 3 表とも呼ばれる貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書の関連性とそれらの計算構造の仕組みを理解しておくことが重要である。

後者では、企業等の経営管理者が組織運営にあたって不可欠なシステムの構造と機能についてより理解を深め、同時に、管理会計上で直面する課題解決

[33～34 ページ]

アカウンティング応用

1．授業概要

「アカウンティング入門」で学んだ会計の基本知識をもとに、この授業では主に財務会計（外部報告会計）の応用領域について学ぶ。企業の健康状態をチェックするために必要な会計情報は、カルテともいうべき財務諸表から得られる。そのため、財務諸表の体系および内容を理解し、分析できなければビジネスに役立たない。とりわけ財務 3 表とも呼ばれる貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー・計算書の関連性とそれらの計算構造の仕組みをしっかりと理解しておくことが重要である。

また、個別企業の財務諸表だけではなく企業集団の連結財務諸表についても触れる。さらに、ICT の利用により、経済活動がボーダレス化するなかで、

のために、それらの手法を実際に活用できるような知識を習得することが重要である。ここでは、主に利益管理、原価管理、意思決定、および管理会計の新たな展開にかかわるテーマを中心に取り上げ、実際の事例を交えながら概説する。

どちらの領域も相互関連的であり、また、単なる実践的な会計処理方法を学ぶだけではなく、その理論的根拠や応用事例も同時に理解することで、企業価値を高める創造力をも身につけることを目指している。

３．授業計画

回数	内容
1	企業環境の変化と会計情報
2	資産会計（1）資産の分類と評価基準
3	資産会計（2）個別テーマの検討
4	負債会計：負債の分類と構成内容,個別テーマの検討
5	資本会計:資本の分類と構成内容、個別テーマの検討
6	損益会計:損益項目の分類と構成内容、個別テーマの検討
7	企業評価とキャッシュ・フロー計算書
8	連結グループの会計:意義と目的および作成方法
9	企業経営:管理システムと財管一致の問題について
10	利益管理:中長期の経営計画、損益分岐点分析・CVP 分析の活用方法等について
11	原価管理:原価計算と原価の関係、ABC 等について
12	経営意思決定と管理会計（1）業務的意思決定
13	経営意思決定と管理会計（2）戦略的意思決定・・BSC の活用
14	管理会計における IT の役割、AI の適用等について
15	管理会計の新たな展開（組織の問題、IFRS と研究開発費の問題等）

６．教科書／参考文献

教科書：オリジナルのレジュメ形式で毎回配布する。

会計ルールの国際化への対応も考慮に入れておかなければならない。

単なる実践的な会計処理方法を学ぶだけではなく、その理論的根拠や応用事例も同時に学ぶことにで、企業価値を高める創造力をも身につけることを目指している。

３．授業計画

回数	内容
1	会計の意義と役割
2	企業会計の仕組み
3	企業会計制度の体系
4	資産会計（1）資産の分類と評価基準
5	資産会計（2）個別テーマの検討
6	資産会計（3）個別テーマの検討
7	負債会計（1）負債の分類と構成内容
8	負債会計（2）個別テーマの検討
9	資本会計（1）資本の分類と構成内容
10	資本会計（2）個別テーマの検討
11	損益会計：損益項目の分類と内容
12	財務諸表の作成:法体系とのかかわりと財務３表の関連性について
13	連結財務諸表:意義と目的および作成方法の基本
14	財務分析：分析目的と分析方法の概要
15	会計の国際化：国際会計基準への対応

６．教科書／参考文献

教科書：

新井清光・川村義則著『新版　現代会計学　第

参考文献： 桜井久勝著『財務会計講義　第 19 版』中央経済社 2018 年。 伊藤邦雄著『新・現代会計入門　第３版』日本経済新聞社 2018 年。 岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計　第２版』中央経済社、2008 年。 櫻井通晴著『管理会計　第七版』同文館出版、2019 年。 その他必要に応じ適宜参考文献を紹介する。	２版』、中央経済社、2018 年。 参考文献： 桜井久勝著『財務会計講義　第 19 版』中央経済社 2018 年。 伊藤邦雄著『新・現代会計入門　第３版』日本経済新聞社 2018 年。 橋本尚・山田善隆『IFRS　会計学基本テキスト第５版』中央経済社 2018 年。 その他必要に応じ適宜参考文献を紹介する。

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
△1	ﾅｶｼﾞﾏ(ｶﾜﾑﾗ)ﾘｭｳｲﾁ 中嶋(川村)隆一 ＜令和２年４月＞	アカウンティング入門	１後	10	5
		アカウンティング応用	２前	4	2
		ファイナンス入門	２後	2	1
		総合理論演習	３後	2	1
		総合実践演習	４通	4	1

旧

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
2	ﾅｶｼﾞﾏ(ｶﾜﾑﾗ)ﾘｭｳｲﾁ 中嶋(川村)隆一 ＜令和２年４月＞	アカウンティング入門	１後	10	5
		アカウンティング応用	２前	4	2
		ファイナンス入門	２後	2	1
		総合理論演習	３後	2	1
		総合実践演習	４通	4	1

（改善事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

(3) カリキュラム・ポリシーに掲げられている、企業の戦略と組織に関する理論として、経営戦略に関する教育を充実すること。

（対応）

企業の戦略と組織に関する理論として、経営戦略に関する教育を充実することとのご指摘を踏まえ、経営に関する科目配置を再度見直し、「マネジメント（経営学概論）」「スタートアップ基礎（起業論）」の内容を修正するとともに、新たに科目を設置することとした。

具体的には、1年次前期に配置されている必修科目「マネジメント（経営学概論）」および1年次後期に設置されている必修科目「スタートアップ基礎（起業論）」の内容に、経営戦略に関する内容を充実させる。具体的には、「マネジメント（経営学概論）」では経営学の概論に加え、経営戦略に関する考え方の基礎を学習し戦略的にビジネスを進めるうえでの素地となる知識や具体的な手法を習得する。そのうえで、「スタートアップ基礎（起業論）」で成功したとされる企業や事業戦略を、事例研究やグループワークを通じ検討することで、経営戦略のフレームワークを身に着ける。あわせて自分自身のビジョンや現状把握する資産を明確にすることで、自己や自分の描く事業の戦略を明確に提示できることを目指す。

あわせて2年次後期に「グローバル企業戦略論」を新たに配置する。本科目では事業の多角化マネジメント、外部成長性（M&Aや戦略的提携）、企業の存続可能性など全社戦略の考え方、多角化・多国籍化にともなうグローバル戦略についてを学ぶ内容を配置する。実際の企業経営における意思決定のメカニズムとその際に用いられるツールやフレームワークをもとに、企業の成長と多角化に関するさまざまな戦略論やマネジメント手法についての考察を行う。あわせて、多角化の一形態であるグローバル展開を推進するために必要な組織管理や企業統治の考え方についても、具体的な企業を取り上げつつ理解を深めることとし、経営戦略に関する教育の充実を図った。

なお企業の戦略と組織に関する理論を学ぶ教育課程として、その科目配置と目的を以下の通り整理した。まず、入門的な内容については、1年前期の「マネジメント（経営学基礎）」で必修科目として履修する。これにより、戦略や組織・プロセスの考え方の基礎、戦略検討や組織運営の具体的な手法を学習する。次に1年後期の必修科目として「スタートアップ基礎（起業論）」を履修し、特に起業・イノベーション関連の戦略と理念・ビジョンとの関連性について学習する。上記2科目の履修を通じ習得した戦略論や組織論の基本的な内容や手法については、2年前期・後期でそれぞれ必修科目として設定される「ビジネスフィールドリサーチⅠ」「ビジネスフィールドリサーチⅡ」において、具体的事例への応用を演習形式で学習する。国内外の企業の事例検討に加え、本学が連携する企業から提示された事例に基づき、調査、仮説形成、分析と課題解決策の提案までの一連の流れを通じ、事業や企業の戦略について理解を深める。上記のように必修科目を通じ、企業の戦略と組織に関する理論の学習とその実践を行ったうえで、さらに学びを深めたい学生については、2年次以降では選択科目として「オペレーションズマネジメント」「問題形成と問題解決」「イノベーション特論」が配置されており、それぞれ生産や組織、技術など共通機能ごとの戦略論について基本的な内容を取得することができる。あわせて今回新たに設ける「グローバル企業戦略論」では

全社戦略論やグローバル戦略論を中心に学習を進め、より高いレベルで持続的な競争上の優位性を確立するための施策検討に生かす。

「マネジメント（経営学概論)」「スタートアップ基礎（起業論)」の内容を見直すとともに、「グローバル企業戦略論」を新たに配置し、従来から配置される戦略や組織に関する科目と理論を整理することで、経営戦略に関する教育の充実を図った。

（新旧対照表）教育課程等の概要

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>

ビジネス応用	マーケティング応用	2前		2		○			1						
	アカウンティング応用	2前		2		○			1						
	法務リテラシーⅡ	2前		2		○				1					
	ファイナンス入門	2後		2		○			1						
	問題形成と問題解決	2後		2			○		1						
	組織行動論	2後		2		○									兼1
	ビジネスゲームによる経営意思決定	3前		2		○									兼1
	人的資源管理論	3前		2		○									兼1
	地域創生とイノベーション	3後		2			○		1						
	イノベーション特論	3後		2		○			1						
	コーポレートファイナンス	3後		2		○									兼1
	グローバル企業戦略論	3後		2		○									兼1
	新興市場における事業開発	4前		2		○			1						
	クロステックビジネスデザイン	4前		2		○									兼1
	デザインと経営	4前		2		○									兼1
	税務会計・会計処理	4後		2		○									兼1

総合科目	―	総合演習	総合理論演習	3後	2				○		12	5				
			総合実践演習	4通	4				○		12	5				
			小計（2科目）	―	6	0	0	―			12	5	0	0	0	0
合計（103科目）				―	94	132	0	―			15	7	6	0	0	兼13

【卒業要件】

次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。

・基礎科目 20 単位

－必修 12 単位

選択必修 8 単位

・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上

・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上

・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

</td><td>

ビジネス応用	マーケティング応用	2前		2		○			1						
	アカウンティング応用	2前		2		○			1						
	法務リテラシーⅡ	2前		2		○				1					
	ファイナンス入門	2後		2		○			1						
	問題形成と問題解決	2後		2			○		1						
	組織行動論	2後		2		○									兼1
	ビジネスゲームによる経営意思決定	3前		2		○									兼1
	人的資源管理論	3前		2		○									兼1
	地域創生とイノベーション	3後		2			○		1						
	イノベーション特論	3後		2		○			1						
	コーポレートファイナンス	3後		2		○									兼1
	（追加）														
	新興市場における事業開発	4前		2		○			1						
	クロステックビジネスデザイン	4前		2		○									兼1
	デザインと経営	4前		2		○									兼1
	税務会計・会計処理	4後		2		○									兼1

総合科目	―	総合演習	総合理論演習	3後	2				○		12	5				
			総合実践演習	4通	4				○		12	5				
			小計（2科目）	―	6	0	0	―			12	5	0	0	0	0
合計（97科目）				―	94	120	0	―			15	7	6	0	0	兼10

【卒業要件】

次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。

・基礎科目 20 単位

－必修 12 単位

選択必修 8 単位

・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上

・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上

・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

</td></tr>
</table>

・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) －必修 68 単位 選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論、グローバル企業戦略論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・グローバルビジネスと通訳、グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート、グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション、グローバルビジネスにおけるネゴシエーションから 2 単位以上 ・製造業における国際化、ファイナンス業における国際化、サービス業における国際化、農業・林業・漁業における国際化から 2 単位以上 ・多文化理解、比較宗教論、国際情勢論、日本文化、国際開発論、国際メディア論、国際経営と商習慣から 8 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修)	・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) －必修 68 単位 選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論（追記）から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修) 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を

実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む (履修科目の登録の上限：1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間))	含む (履修科目の登録の上限：1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間))

（新旧対照表）授業科目の概要（4、7、9 ページ）

新	旧
[4 ページ] マネジメント（経営学基礎）: イノベーションは、科学・技術に関する革新的な発明や発見だけでなく、コンビニエンスストアや宅急便のような新しいビジネスのしくみを生み出すこともその一つである。近年は、日々、進歩する ICT（インターネット、人工知能、仮想・拡張現実、ロボット、など）を効果的に活用することで、ますます、イノベーションを起こし易くなっている。 本授業では、経営学における戦略論や組織論の観点から、イノベーションを（偶発ではなく）体系的に生み出す戦略（狙い）や組織・プロセス（進め方）の考え方の基礎を学習する。具体的には、経営論の構成要素を概観するとともに、戦略の策定や具体化に必要な理論やフレームワーク、将来予測、成長戦略など経営戦略に関する事項や、組織や個人のマネジメントに関する諸理論について、各回毎提示される事例の分析や課題の検証を通じ修得する。これらの学習を通じ、ビジネスの実践を効果的、効率的に行えるよう、学習を深める。	[4 ページ] マネジメント（経営学基礎）: イノベーションは、科学・技術に関する革新的な発明や発見だけでなく、コンビニエンスストアや宅急便のような新しいビジネスのしくみを生み出すこともその一つである。近年は、日々、進歩する ICT（インターネット、人工知能、仮想・拡張現実、ロボット、など）を効果的に活用することで、ますます、イノベーションを起こし易くなっている。 本授業では、経営学における戦略論や組織論の観点から、イノベーションを（偶発ではなく）体系的に生み出す戦略（狙い）や組織・プロセス（進め方）の考え方の基礎を学習する。具体的には、将来動向の予測方法、事業環境の分析手順、ビジネス戦略の計画方法、組織やチームのつくり方、などを学習する。

[7 ページ] グローバル企業戦略論： 企業は単にその事業を成功させるだけでなく、株主に対してその利益の還元や企業のもつ価値をより高める必要がある。特に、ICT やグローバル化が進む今、従来の枠組みにとらわれず、企業の内外から経営資源を獲得し活用することが求められている。これは企業のイノベーションや成長を導くためにも不可欠なものとなっている。 本授業では、こうした観点から、実際の企業経営における意思決定のメカニズムとその際に用いられるツールやフレームワークを検討することを目的とする。具体的には、企業価値の定義とその向上策に関してどのような議論や取り組みがされたか、また、企業の成長と多角化に関してどんな戦略やマネジメント手法が考えられるかを具体的な事例を用いて学ぶ。あわせて、グローバル展開についてもとりあげ、これをすすめるために必要な組織管理、ルール、考え方についても、具体的な企業を取り上げ、理解を深める。	（追加）
[9 ページ] スタートアップ基礎（起業論）： 新しい領域が確立され、技術革新が著しく、新しい価値が世の中に多数提供されるときには既存の価値提供モデル（ビジネス制度、社会制度、生活様式など）を進展させることよりも、新しいモデルを確立することが必要であろう。まさに現代はその時期にあたり IT 革命（デバイス、通信技術、AI、 IoT、Big Data 活用など）や多様な価値観（働き方改革、Diversity & Inclusion、SDGs など）に基づく多様な変化が数多く起こっている。 本授業では、これまで成功した企業やビジネスモデル、起業家が輩出された背景やそれぞれの想いや取ってきた手法をもとに、起業に必要な要素にわけて学びを深めることで、今、起業家に必要と思われる	[8 ページ] スタートアップ基礎（起業論）： 新しい領域が確立され、技術革新が著しく、新しい価値が世の中に多数提供されるときには既存の価値提供モデル（ビジネス制度、社会制度、生活様式など）を進展させることよりも、新しいモデルを確立することが必要であろう。まさに現代はその時期にあたり IT 革命（デバイス、通信技術、AI、 IoT、Big Data 活用など）や多様な価値観（働き方改革、Diversity & Inclusion、SDGs など）に基づく多様な変化が数多く起こっている。 新しい動きではあるがそれは決して初めてではない。過去に人類が経験してきた各種の価値提供モデルの進化の動きとそれに呼応する起業家（Entrepreneur）が多数存在したのである。本授業

要素を推測し実証する。そのうえで、自らの想いを形にするためのビジネスモデルやパッション・ビジョン・ミッションを作り、今後の自分自身の成長計画につなげる。	では過去の起業家が輩出された背景やそれぞれの想いや取ってきた手法を分析し、起業に必要な要素分析をした上で現代の社会を鑑みて、今、起業家に必要と思われる要素を推測し実証することにある。

（新旧対照表）シラバス　スタートアップ基礎（起業論）、マネジメント（経営学基礎）

（25～26、55～56 ページ）

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>[25～26 ページ]
マネジメント（経営学基礎）
１．授業概要
イノベーションは、科学・技術に関する革新的な発明や発見だけでなく、コンビニエンスストアや宅急便のような新しいビジネスのしくみを生み出すこともその一つである。近年は、日々、進歩する ICT（インターネット、人工知能、仮想・拡張現実、ロボット、など）を効果的に活用することで、ますます、イノベーションを起こし易くなっている。
本授業では、経営学における戦略論や組織論の観点から、イノベーションを（偶発ではなく）体系的に生み出す戦略（狙い）や組織・プロセス（進め方）の考え方の基礎を学習する。具体的には、経営論の構成要素を概観するとともに、戦略の策定や具体化に必要な理論やフレームワーク、将来予測、成長戦略など経営戦略に関する事項や、組織や個人のマネジメントに関する諸理論について、各回毎提示される事例の分析や課題の検証を通じ修得する。これらの学習を通じ、ビジネスの実践を効果的、効率的に行えるよう、学習を深める。

３．授業計画
<table><tr><th>回数</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>イントロダクション
なぜ経営学を学ぶ必要があるのか？本授業で学習する方法論の概要など</td></tr><tr><td>2</td><td>経営学とは、企業と経営：
経営学概論、歴史、これからのデジタル</td></tr></table></td><td>[21～22 ページ]
マネジメント（経営学基礎）
１．授業概要
イノベーションは、科学・技術に関する革新的な発明や発見だけでなく、コンビニエンスストアや宅急便のような新しいビジネスのしくみを生み出すこともその一つである。近年は、日々、進歩する ICT（インターネット、人工知能、仮想・拡張現実、ロボット、など）を効果的に活用することで、ますます、イノベーションを起こし易くなっている。
本授業では、経営学における戦略論や組織論の観点から、イノベーションを（偶発ではなく）体系的に生み出す戦略（狙い）や組織・プロセス（進め方）の考え方の基礎を学習する。具体的には、将来動向の予測方法、事業環境の分析手順、ビジネス戦略の計画方法、組織やチームのつくり方、などを学習する。

３．授業計画
<table><tr><th>回数</th><th>内容</th></tr><tr><td>1</td><td>イントロダクション(本授業で学習する方法論の概要、アップルの成功事例、など)</td></tr><tr><td>2</td><td>経営学とは、企業と経営：
経営学概論、歴史（追記）</td></tr></table></td>
</tr>
</table>

	経営、日本企業とグローバル企業の経営		
3	経営論の構成要素 経営資源（人・もの・金、時間、ブランドなど）管理、技術、 マーケティング・営業、財務・会計、調達・物流、法務、サービス、他	3	経営論の構成要素 ヒトモノカネ、マネジメント、マーケティング、アカウンティング・ファイナンス
4	経営戦略１： 現状把握（市場の成熟度分析、事業の競争環境分析、セグメンテーションなど） ターゲット分野の絞り込み（事業の価値連鎖分析、ベンチマーク分析など）	4	経営戦略１： 現状把握（追記）、ターゲット分野の絞り込み（追記）
5	経営戦略２： 将来予測（事業環境分析、技術変化予測、将来シナリオ作成など） 基本戦略の策定（成功要因の分析、差別化・集中化、ブルーオーシャン戦略、など）	5	経営戦略２： 将来予測（追記）、基本戦略の策定（追記）
6	経営戦略３： 戦略の具体化、計画の策定（SWOT 分析、事業ポートフォリオ、アジャイル、など）	6	経営戦略３： 戦略の具体化、計画の策定（追記）
7	経営戦略４： 成長戦略の策定（多角化戦略、提携・買収戦略、標準化戦略、データ活用戦略、など） 戦略論まとめ	7	経営戦略４： 成長戦略の策定（追記）、 戦略論まとめ
8	中間グループワーク（１～７の内容に関するグループワーク、クラス討議）	8	中間グループワーク（１～７の内容に関するグループワーク、クラス討議）
9	経営組織１： 組織論、組織設計、組織文化（コアコンピタンス、サステナビリティ、創造的組織の創り方、など）	9	経営組織１： 組織論、組織設計、組織文化（追記）
10	経営組織２： 組織管理法（科学的管理法、マッキンゼー7S、組織マネジメントの諸理論、など）	10	経営組織２： 組織管理法（追記）
11	経営組織３： 個人と組織（モチベーション論、リーダーシップ論、チェンジ・マネジメント論、など）	11	経営組織３： 個人と組織（追記）
12	中間グループワーク （9～11 の内容に関するグループワーク、クラス討議）	12	オペレーションと経営 （ビジネスプロセス設計、アウトソーシングなど）
13	オペレーションと経営 ビジネスプロセス設計、アウトソーシング、デジタル技術活用のオペレーション・トランスフォーメーション、など	13	中間グループワーク（9～10 の内容に関するグループワーク、クラス討議）
14	グループワーク（1～13 をもとにグループワーク）	14	グループワーク（1～13 をもとにグループワーク）
15	期末発表・フィードバック	15	期末発表・フィードバック

６．教科書／参考文献

６．教科書／参考文献

教科書：プリントを毎回の授業の前に配布 参考文献： 『経営学入門（上・下)』 榊原　清則（著）日本経済新聞出版社、2002 年 『技術マネジメント入門』 三澤 一文（著)、日本経済新聞出版社、2007 年 『コア・テキスト　イノベーション・マネジメント』 近能 善範（著) 高井 文子（著)、新世社、2011 年	教科書：プリントを毎回の授業の前に配布 参考文献： 『【経営学イノベーション】1 経営学入門(第 2 版)』 十川廣國（著)中央経済社; 第 2 版（2013/4/20) 『1 からの経営学』 加護野忠男(著),吉村典久(著)碩学舎（2012/4/1) 『技術マネジメント入門』 三澤 一文（著)、日本経済新聞出版社、2007 年 『コア・テキスト　イノベーション・マネジメント』 近能 善範（著) 高井 文子（著)、新世社、2011 年
[55～56 ページ] スタートアップ基礎（起業論） １．授業概要 新しい領域が確立され、技術革新が著しく、新しい価値が世の中に多数提供されるときには既存の価値提供モデル（ビジネス制度、社会制度、生活様式など）を進展させることよりも、新しいモデルを確立することが必要であろう。まさに現代はその時期にあたり IT 革命（デバイス、通信技術、AI、 IoT、Big Data 活用など）や多様な価値観（働き方改革、Diversity & Inclusion、SDGs など）に基づく多様な変化が数多く起こっている。 本授業では、これまで成功した企業やビジネスモデル、起業家が輩出された背景やそれぞれの想いや取ってきた手法をもとに、起業に必要な要素にわけて学びを深めることで、今、起業家に必要と思われる要素を推測し実証する。そのうえで、自らの想いを形にするためのビジネスモデルやパッション・ビジョン・ミッションを作り、今後の自分自身の成長計画につなげる。	[51～52 ページ] スタートアップ基礎（起業論） １．授業概要 新しい領域が確立され、技術革新が著しく、新しい価値が世の中に多数提供されるときには既存の価値提供モデル（ビジネス制度、社会制度、生活様式など）を進展させることよりも、新しいモデルを確立することが必要であろう。まさに現代はその時期にあたり IT 革命（デバイス、通信技術、AI、 IoT、Big Data 活用など）や多様な価値観（働き方改革、Diversity & Inclusion、SDGs など）に基づく多様な変化が数多く起こっている。 新しい動きではあるがそれは決して初めてではない。過去に人類が経験してきた各種の価値提供モデルの進化の動きとそれに呼応する起業家（Entrepreneur）が多数存在したのである。本授業では過去の起業家が輩出された背景やそれぞれの想いや取ってきた手法を分析し、起業に必要な要素分析をした上で現代の社会を鑑みて、今、起業家に必要と思われる要素を推測し実証することにある。

３．授業計画

回数	内容
1	イントロダクション:本授業に必要な心構えと授業の目標の明確化。
2	現代の社会・経済環境:戦後に起業した日本や海外の事例研究
3	グループワークショップ:現代の日本企業の立ち位置、経営や技術のトレンド
4	ビジネスモデルⅠ:成功したビジネスのビジネスモデルの事例研究
5	ビジネスモデルⅡ： よいビジネスモデルの条件
6	グループワークショップ:ビジネスモデル発表・ディスカッション
7	競争ルールと成長戦略:事業ドメインなど環境の把握、競争ルールとその検討方法
8	経営資源とマネジメント:活用できる資源、特に資金調達の手段と特徴
9	ビジョン・ミッション:ビジョナリーカンパニーとは?継続に必要な要素
10	グループワークショップ:ビジョナリーカンパニー発表・ディスカッション
11	起業に於ける諸問題Ⅰ:現代社会における価値創造、環境変化、ビジネス状況など
12	起業に於ける諸問題Ⅱ:マナー、モラルハザード、リスク管理など
13	パッション・ビジョン・ミッションⅠ　レポート　およびディスカッション
14	パッション・ビジョン・ミッションⅡ　レポート　およびディスカッション
15	総括:起業家としての要素およびそれを活かす方法　ディスカッションなど

６．教科書／参考文献

教科書：プリントを適宜配布します

参考文献：

『ビジョナリー・カンパニー ― 時代を超える生存の原則』

ジム・コリンズ（著）山岡洋一（翻訳）、日経BP社、1995年

『[新版]競争戦略論Ⅰ』単行本 - 2018/7/19

マイケル E. ポーター（著）竹内弘高（翻訳),、ダイヤモンド社、1999年

３．授業計画

回数	内容
1	イントロダクション:本授業に必要な心構えと授業の目標の明確化。
2	歴史から学ぶ起業論Ⅰ:第一次産業革命以前の価値創造と起業家像
3	歴史から学ぶ起業論Ⅱ:第二次産業革命の価値創造と起業家像
4	グループワークショップ:歴史起業家シミュレーションをグループで実践
5	現代の社会・経済環境Ⅰ:戦後に起業した日本の起業家企業の事例研究
6	現代の社会・経済環境Ⅱ:戦後に起業した海外の起業家企業の事例研究
7	グループワークショップ:現代の日本企業の立たされている立ち位置
8	ビジョン・ミッションⅠ:ビジョナリーカンパニーとは?継続に必要な要素。
9	ビジョン・ミッションⅡ:現代のビジョナリーカンパニーの研究
10	グループワークショップ:ビジョナリーカンパニー発表・ディスカッション
11	起業に於ける諸問題Ⅰ:現代社会における価値創造、環境変化、ビジネス状況など
12	起業に於ける諸問題Ⅱ:マナー、モラルハザード、リスク管理など
13	パッション・ビジョン・ミッション　レポート1　およびディスカッション
14	パッション・ビジョン・ミッション　レポート2　およびディスカッション
15	総括:起業家としての要素およびそれを活かす方法　ディスカッションなど

６．教科書／参考文献

教科書：プリントを適宜配布します

参考文献：

『ビジョナリー・カンパニー ― 時代を超える生存の原則』

ジム・コリンズ（著）山岡洋一（翻訳）、日経BP社、1995年

(追記)

『プラットフォーム戦略』 平野 敦士 カール (著),アンドレイ・ハギウ (著)、東洋経済新報社 、2010 年	

（新旧対照表）学則　別表１

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>ビジネス応用
<table><tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr><tr><td>マーケティング応用</td><td>2</td></tr><tr><td>アカウンティング応用</td><td>2</td></tr><tr><td>法務リテラシーⅡ</td><td>2</td></tr><tr><td>ファイナンス入門</td><td>2</td></tr><tr><td>問題形成と問題解決</td><td>2</td></tr><tr><td>組織行動論</td><td>2</td></tr><tr><td>ビジネスゲームによる経営意思決定</td><td>2</td></tr><tr><td>人的資源管理論</td><td>2</td></tr><tr><td>コーポレートファイナンス</td><td>2</td></tr><tr><td>グローバル企業戦略論</td><td>2</td></tr><tr><td>地域創生とイノベーション</td><td>2</td></tr><tr><td>イノベーション特論</td><td>2</td></tr><tr><td>新興市場における事業開発</td><td>2</td></tr><tr><td>クロステックビジネスデザイン</td><td>2</td></tr><tr><td>デザインと経営</td><td>2</td></tr><tr><td>税務会計・会計処理</td><td>2</td></tr></table></td><td>ビジネス応用
<table><tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr><tr><td>マーケティング応用</td><td>2</td></tr><tr><td>アカウンティング応用</td><td>2</td></tr><tr><td>法務リテラシーⅡ</td><td>2</td></tr><tr><td>ファイナンス入門</td><td>2</td></tr><tr><td>問題形成と問題解決</td><td>2</td></tr><tr><td>組織行動論</td><td>2</td></tr><tr><td>ビジネスゲームによる経営意思決定</td><td>2</td></tr><tr><td>人的資源管理論</td><td>2</td></tr><tr><td>コーポレートファイナンス</td><td>2</td></tr><tr><td>(追加)</td><td></td></tr><tr><td>地域創生とイノベーション</td><td>2</td></tr><tr><td>イノベーション特論</td><td>2</td></tr><tr><td>新興市場における事業開発</td><td>2</td></tr><tr><td>クロステックビジネスデザイン</td><td>2</td></tr><tr><td>デザインと経営</td><td>2</td></tr><tr><td>税務会計・会計処理</td><td>2</td></tr></table></td></tr>
</table>

（新旧対照表）学則　別表２

新	旧
※２ ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論、	※２ ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論（追

グローバル企業戦略論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位以上	記）から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（37、53～54 ページ）

新	旧
[37 ページ] ⑤職業専門科目「ビジネス応用」 ビジネス基礎で学んだ基礎理論を土台に、「マーケティング応用」「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「法務リテラシーⅡ」「問題形成と問題解決」「人的資源管理論」「コーポレートファイナンス」「ビジネスゲームによる意思決定」「組織行動論」「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「イノベーション特論」「グローバル企業戦略論」「クロステックビジネスデザイン」「税務会計・会計処理」のビジネスにおける応用的な知識・スキルを取得する選択科目を設定し、ビジネスを起こすだけではなく、発展・伸張させるために必要な知識・スキルを学び、ビジネスにおいて成果を出す技法を学ぶ。 [53～54 ページ] (5)卒業要件 （中略） ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) （中略）	[37 ページ] ⑤職業専門科目「ビジネス応用」 ビジネス基礎で学んだ基礎理論を土台に、「マーケティング応用」「アカウンティング応用」「ファイナンス入門」「法務リテラシーⅡ」「問題形成と問題解決」「人的資源管理論」「コーポレートファイナンス」「ビジネスゲームによる意思決定」「組織行動論」「地方創生とイノベーション」「新興市場における事業開発」「イノベーション特論」（追記）「クロステックビジネスデザイン」「税務会計・会計処理」のビジネスにおける応用的な知識・スキルを取得する選択科目を設定し、ビジネスを起こすだけではなく、発展・伸張させるために必要な知識・スキルを学び、ビジネスにおいて成果を出す技法を学ぶ。 [53～54 ページ] (5)卒業要件 （中略） ・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む) （中略）

選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論、グローバル企業戦略論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上	選択必修 14 単位 ・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論（追記）から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上

（新旧対照表）別紙（設置の趣旨等を記載した書類　資料 19　カリキュラムマップ）

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
⑤	エバタ　ヒロト 江端　浩人 ＜令和２年４月＞	スタートアップ基礎（起業論）	１後	10	5
		総合理論演習	３後	2	1
		総合実践演習	４通	4	1

旧

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
⑤	エバタ　ヒロト 江端　浩人 ＜令和２年４月＞	スタートアップ基礎（起業論）	１後	10	5
		総合理論演習	３後	2	1
		総合実践演習	４通	4	1

調書番号	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
④	ﾐｻﾜ　ｶｽﾞﾌﾐ 三澤　一文 ＜令和２年４月＞	マネジメント（経営学基礎）	１前	10	5
		オペレーションズマネジメント	２前	２	１
		問題形成と問題解決	２後	２	１
		イノベーション特論	３後	２	１
		(削除)			
		総合理論演習	３後	２	１
		総合実践演習	４通	４	１

調書番号	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
14	ﾐｻﾜ　ｶｽﾞﾌﾐ 三澤　一文 ＜令和２年４月＞	マネジメント（経営学基礎）	１前	10	5
		オペレーションズマネジメント	２前	２	１
		問題形成と問題解決	２後	２	１
		イノベーション特論	３後	２	１
		実践英語：イノベーション	４後	６	３
		総合理論演習	３後	２	１
		総合実践演習	４通	４	１

調書番号	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
⑫	ﾌｼﾞﾓﾘ　ｼﾎ 藤森　志保 ＜令和３年４月＞	ICT と人間	２後	４	２
		(追加)			
		クロステックビジネスデザイン	４前	２	１

調書番号	フリカ゛ナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
22	ﾌｼﾞﾓﾘ　ｼﾎ 藤森　志保 ＜令和３年４月＞	ICT と人間	２後	４	２
		グローバル企業戦略論	３後	２	１
		クロステックビジネスデザイン	４前	２	１

（是正事項）情報経営イノベーション学部　情報経営イノベーション学科

2. 【第一次審査意見４の回答について】

＜展開科目の内容が不十分＞

展開科目におけるグローバルコミュニケーション科目群について、ディプロマ・ポリシー等で掲げた「外国人と協働して仕事をするための能力」を身に付けることができるよう、「特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なもの」という展開科目の趣旨を踏まえ、語学以外の授業科目を充実すること。なお、選択必修科目が 4 つの区分に分類されたが、「文化の理解に関する区分」にも「実践英語」の名称の科目があるため、「実践英語に関する区分」の科目と混同しないよう、適切に改めること。

（対応）

今回いただいたご指摘を厳粛に受け止め、ディプロマ・ポリシー等で掲げた「外国人と協働して仕事をするための能力」をより一層習得することができるよう、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの表記も考慮しつつ、展開科目における語学以外の授業科目を新設し充実を図るとともに、語学に関する科目の位置づけも見直し、科目を減じるなどして、本学の展開科目として相応しい配置とした。

さらに、展開科目内の区分に関しても、ご指摘を踏まえ、科目設定・科目名称等について複数箇所を見直し、適切に改めた。

１．語学以外の授業科目の充実と区分の整理

・語学以外の授業科目の充実

選択必修科目として、「多文化理解」「日本文化」「国際情勢論」「比較宗教論」「国際メディア論」「国際開発論」「国際経営と商習慣」「製造業における国際化」「ファイナンス業における国際化」「サービス業における国際化」「農業・林業・漁業における国際化」の 11 科目を新たに追加し、充実をした。

・科目区分の整理

より適切にカリキュラム・ポリシーと整合させるため、「文化の理解に関する区分」と「実践英語に関する区分」をそれぞれ「国際・文化の理解に関する区分」「各業界における国際化の理解に関する区分」とし、混同しないよう、改めた。具体的には、「国際・文化の理解に関する区分」では、「多文化理解」「日本文化」「国際情勢論」「比較宗教論」「国際メディア論」「国際開発論」「国際経営と商習慣」の全 7 科目から 4 科目以上を選択必修科目として履修することとした。また、「各業界における国際化の理解に関する区分」では、「製造業における国際化」「ファイナンス業における国際化」「サービス業における国際化」「農業・林業・漁業における国際化」の全 4 科目から 1 科目以上を選択必修科目として履修することとした。

２．科目区分移動、科目内容変更、科目削除等

展開科目の趣旨を踏まえ、以下の授業科目について、科目区分移動、科目内容変更、削除等をした。

○「英語アカデミックリテラシー」は、教養として語学を学ぶ科目であり、学術的な英語の理解を図るこ

とを目的とする科目であるため、基礎科目に移動をした。

○「英米文学演習」は、英米文学の解釈を通じ英語と教養を身に付けることを目的とする科目であるため、基礎科目に移動をした。

○「英語通訳論」「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」は、語学習得が目的ではなく、文化的背景の異なる相手の立場に立ち、外国人とのコミュニケーションにおけるルールや手法が異なるケースを理解した上でプレゼンテーションやディスカッション、交渉術を身につけグローバルビジネスの現場で応用的に活用することを目的とする科目内容に変更した。また、それに伴い「グローバルビジネスと通訳」「グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート」「グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション」「グローバルビジネスにおけるネゴシエーション」に科目名称を変更した。

○「英語ビジネスマネジメント」では、習得するビジネス理論やスキルに関し、職業専門科目やビジネス英語実習Ⅰ～Ⅳにて習得することが可能であると判断し、削除した。

○「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」は、主に文化理解を通した語学力の向上が目的であるため削除し、文化の違いを受容し、多様な価値観を持つ人々とビジネスを展開するための知識を学ぶ「多文化理解」と、時代ごとの日本文化とその背景、海外文化との差異やつながりについて学ぶ「日本文化」を新設した。

○「実践英語：製造業」「実践英語：ファイナンス」については、特定職業の実践の中での語学力の向上が目的であるため削除し、各業界において外国人と協働し、創造的な事業やサービス・ビジネスを展開するための知識や方法論を身につけられるよう、「製造業における国際化」「ファイナンス業における国際化」として新設をした。また、変更した「各業界における国際化の理解に関する区分」と科目内容との整合性を踏まえ、主に語学の習得を目的とした「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」は削除した。

展開科目のカリキュラム構成図　新旧比較

新

DP④国際的コミュニケーション能力

1）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
2）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

●＝必修科目
○＝選択必修科目※CP④１
枠内から１科目以上を修得する
○＝選択必修科目※CP④２）◆国際・文化の理解
枠内から４科目以上を修得する
○＝選択必修科目※CP④２）
◆各業界における国際化の理解
枠内から１科目以上を修得する

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

１年次	２年次	３年次	４年次

１）　グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

●ビジネス英語実習Ⅰ　●ビジネス英語実習Ⅱ　●ビジネス英語実習Ⅲ　●ビジネス英語実習Ⅳ

○グローバルビジネスと通訳　○グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート　○グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション　○グローバルビジネスにおけるネゴシエーション

２）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ

◆国際・文化の理解

○多文化理解　○比較宗教論　○国際情勢論　○日本文化　○国際メディア論　○国際開発論　○国際経営と商習慣

◆各業界における国際化の理解

○製造業における国際化　○ファイナンス業における国際化　○サービス業における国際化　○農業・林業・漁業における国際化

旧

DP④国際的コミュニケーション能力

1）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
2）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

●＝必修科目
○＝選択必修科目　枠内から１科目以上を修得する
＝選択科目

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

１年次	２年次	３年次	４年次

１）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

●ビジネス英語実習Ⅰ　●ビジネス英語実習Ⅱ　●ビジネス英語実習Ⅲ　●ビジネス英語実習Ⅳ

○英語アカデミッククリテラシー　○英語ビジネスマネジメント　○英語通訳論

○英語ディスカッション・ディベート　○英語プレゼンテーション　○英語ネゴシエーション

２）文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ

◆文化の理解

○実践英語：多文化理解　○英米文学演習　○実践英語：日本文化

◆実践英語（ビジネス、ICT）

○実践英語：製造業　○実践英語：ファイナンス　○実践英語：IoT　○実践英語：イノベーション

各区分ごとの授業計画(案)

CP４-①

１）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう、英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

科目名	グローバルビジネスと通訳	教員	阿部川 久広	期	3年前期

授業概要

ビジネスの現場では、語学や専門知識に関する理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。

グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、ビジネスや会議の内容をその場でまとめ、共有する場面や、相手の反応に応じて理解できるスキルやコミュニケーション力が求められる。本授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の１つとして、通訳を取り上げ、ビジネスの現場で多方面に展開できる通訳スキルとコミュニケーション力を修得する。

授業の目的・到達目標

「通訳」の行為やその役割を理解する。通訳訓練の題材を通じて、教養やコミュニケーションを身に付ける。

授業計画

1	オリエンテーション、通訳とは	9	場面別通訳①　スピーチ、プレゼンテーションなど
2	通訳に必要な技能と運用能力	10	場面別通訳②　時事の話題、コミュニケーションなど
3	通訳の種類、内容とその理論	11	場面別通訳③　会議や打ち合わせなど
4	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力①　理解力、記憶力、語彙力	12	場面別通訳④　ビジネスなど
5	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力②　表現力	13	場面別通訳⑤　情報通信技術やサービスなど
6	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力③　通訳としての総合的な語学力	14	まとめ②
7	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力④　通訳の役割、通訳技法	15	全体のまとめと振り返り
8	まとめ①		

科目名	グローバルビジネスにおける ディスカッション・ディベート	教員	市川　ヴィヴェカ	期	3年後期

授業概要

グローバルにおける会議や交渉の場では、参加者が意見を伝え、対話するという、よりよい答えを導くプロセスを全員で形成する必要がある。本授業ではそういった場面での対話手法として、ディスカッションやディベートのスキルを身に付けることを目的とする。ディスカッションでは提示されるテーマをもとに、資料、調査、質問事項など準備をおこない、発表や討議を行なう。あわせて自身の意見や討議をエッセーにまとめる。ディベートでも同様に事前準備のうえ、賛否に分かれ議論し、ジャッジを行なうとともに議論の要点、強みと弱み、改善点などをグループでまとめ、次の学びにつなげる。一連の流れの中で、グローバルビジネス現場での会議など、文化的背景の異なる人々と協業や実践の場で応用できるディスカッション力、ディベート力を養う。なお授業では国内の事例だけでなく、海外でのテレビ会議を想定した実践やオンラインの英文記事なども活用する。

授業の目的・到達目標

グローバルビジネス現場での会議や交渉の場などで、文化的背景の異なる人々に対して、自身の意見を伝え、討議を行うために必要となるディスカッションやディベートの技法を学ぶことで、円滑に交渉を進め自身のビジネスをよりよい方向に展開するための技術やスキルを実践を通じて習得する。

授業計画

1	オリエンテーション	9	中間ふりかえり
2	議論・討論・対話・雑談の違いとスキル	10	場面別実践①　情報交換
3	ディスカッション実践①　タイプと表現	11	場面別実践②　課題解決
4	ディスカッション実践②　テクニック、伝え方	12	場面別実践③　利害の対立する話題
5	ディスカッション実践③　効果的な議論進行	13	場面別実践④　自由論題
6	ディベート実践①　統合的な言語能力、表現力	14	実践ふりかえり
7	ディベート実践②　クリティカルシンキング	15	全体のまとめと振り返り
8	ディベート実践③　効果的なリフレクション		

科目名	グローバルビジネスにおける プレゼンテーション	教員	佐伯　玲奈	期	4年前期

授業概要

自身の事業やビジネスのアイディアや企画を周囲に説明し採用されるためには、内容だけでなく効果的に説得するための情報伝達技法が必要とされる。本授業では提示されるテーマをもとに日本語・英語双方でプレゼンテーションに必要な内容や資料の準備、場面に応じたパフォーマンスや技法等を学ぶ。あわせて、質疑応答やジャッジ等一連のやり取りを行いプレゼンテーションの目的、役割、手法について理解を深める。プレゼンテーション力だけでなく、文化的背景の異なる人々に対し日本語・英語問わずビジネスプランやアイディアを伝え、グローバルな場での実践に直結させるためのスキルを習得する。

授業の目的・到達目標

国内外問わず、自らのビジネスプランやアイディアをグローバルな場での実践に直結させるために文化的背景の異なる人々の理解と行動を引き出すことができるよう、必要なプレゼンテーションスキルやそれに付随するやり取りの必要な技法を実践を通じて習得する。

授業計画

1	オリエンテーション	9	場面別①　自己プレゼン（日本語・英語）
2	異文化理解とプレゼンテーション	10	場面別②　商品、サービスの紹介（国内）
3	技能、技法①　目的、設定、内容	11	場面別③　商品、サービスの紹介（海外）
4	技能、技法②　構成と表現	12	場面別④　カンファレンス・発表会（国内外）
5	技能、技法③　ビジュアルエイド、ボディランゲージ	13	場面別⑤　記者会見、マスコミ対応（国内外）
6	技能、技法④　効果的な質疑応答	14	まとめ②
7	技能、技法⑤　フィードバック、評価	15	全体のまとめと振り返り
8	まとめ①		

科目名	グローバルビジネスにおける ネゴシエーション	教員	佐伯　玲奈	期	4年後期

授業概要

ビジネス交渉は世界中のあらゆる場面で生まれ、最も重要視されるべきものの1つである。本演習では、相手がどのようなタイプの交渉を行うネゴシエーターかを把握し、文化的背景の異なる人々に対して場面にあわせた様々な交渉手順や戦略を取り入れながら最善の交渉術を見出すことを目標とする。文化が交渉に与える影響力や感情の働き、人種・性差別、緊急を要する困難な状況における交渉場面を取り扱う。学生はグローバルビジネスの現場で活躍できるよう英語でも交渉理論・戦略方法を学び、幅広いテーマによるロープレー形式で実践演習を行う。

授業の目的・到達目標

世界のあらゆる場面で生まれるビジネス交渉について、交渉理論や戦略方法などの技法を学ぶことで、文化的背景の異なる人々に対して場面にあわせた最善の交渉術を見出すことができる。

授業計画

1	オリエンテーション	9	場面別実践①　日常生活における交渉
2	世界のネゴシエーションと日本の比較	10	場面別実践②　文化の違いを考慮した交渉
3	技能、技法①コンフリクトマネジメント	11	場面別実践③　人種･性別の違いを考慮した交渉
4	技能、技法②　交渉の基本構造、手順	12	場面別実践④　国際ビジネス
5	技能、技法③　交渉の基本的な戦略	13	場面別実践⑤　緊急を要する困難な状況
6	技能、技法④　論理術、伝え方、駆け引き	14	まとめ②
7	技能、技法⑤　フィードバック	15	全体のまとめと振り返り
8	まとめ①		

CP４-②

２）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

◆国際・文化の理解

科目名	多文化理解	教員	市川　ヴィヴェカ	期	２年後期

授業概要

本授業では、日本のみならず世界中の事例をとりあげ、複数の異文化が混在する「多文化社会」の中で知っておきたい人種・文化・宗教、価値観と、学んだ知識をもとに適切に行動し、異文化を受容する素地を養う。具体的には、多文化の中でのキーワードや事例を取り合げグループでの調査やプレゼンテーションを行い、相互理解を深める。多様性が入り混じる社会やビジネスの現場において、様々な考え方や文化を受け止め、最大限のパフォーマンスを引き出せるリーダーとしての素養を、講義やディスカッション、ロールプレイを通じ、実務を支える理論や知識を習得する。

授業の目的・到達目標

多様な人種・文化・宗教・価値観が入り混じるグローバル社会について、ロールプレイを通じ体感しながら知識を習得し、文化の違いを受容しつつ、リーダーシップを発揮し多方面にわたり円滑にビジネスを展開していくことができるようになる。

授業計画

1	オリエンテーション	9	日本における多文化がみられる事例
2	異文化体験－シミュレーション	10	世界における多文化がみられる事例
3	異文化体験－クリティカルインシデント	11	多文化におけるビジネスコミュニケーション①
4	文化の受容と共生プロセス	12	多文化におけるビジネスコミュニケーション②
5	文化とコミュニケーション①	13	多様性の理解と共生
6	文化とコミュニケーション②	14	まとめ②
7	まとめ①	15	全体のまとめと振り返り
8	文化と価値観、自己理解		

科目名	比較宗教論	教員	中村　真鈴	期	2年後期

授業概要

本授業では、宗教の定義や歴史、世界の主要な宗教の基本的な概念の理解とその比較を通して、宗教と人間、文化、社会の関係性について検討を行なう。これまでの歴史において、宗教と無関係の社会や文化はない。諸宗教の理解を通じて、グローバル時代にふさわしい宗教についての中立的で幅広い知識を身に付ける。あわせて、人間の生活や文化、生き方に大きな影響をもたらす宗教が、それぞれどのような理念体系を持ち、また人々や社会にどのように受け入れられているのかを知ることで、より深く人間を理解することを目標とする。ビジネスの場面において、宗教や社会を理解した発想や応用ができるよう、理論や知識を習得する。

授業の目的・到達目標

主要な宗教とこれを根幹とする生活や文化への理解を通じ、グローバル社会がどのような理念体系に基づき形成されているのか理解を深めることで、経営や情報通信技術分野での応用、活用を検討する際の見識を広める。

授業計画

1	イントロダクション	9	宗教の役割：日本における宗教観、役割
2	比較宗教学の考え方	10	宗教の役割：世界における宗教観、役割
3	世界の諸宗教：　ユダヤ教	11	宗教と心理学
4	世界の諸宗教：　キリスト教	12	宗教と社会学
5	世界の諸宗教：　イスラム教	13	宗教と現代社会
6	世界の諸宗教：　仏教	14	宗教と今後の展望
7	世界の諸宗教：　その他の宗教	15	まとめ
8	世界の諸宗教まとめ		

科目名	国際情勢論	教員	上野　拓朗	期	3年前期

授業概要

世界で起こっている出来事と、それに伴う各国の変化や動きなどを、地政学・歴史・地理・経済などの観点から読み解く視点を養う。具体的には、各回ごとにこれまで起こった国際情勢の変化の代表的な出来事や、時事の話題を取り上げ、その背景と結果を分析、解説する。また現在起こっているグローバリゼーションについて、これまでの事例から日本の社会や私たちの生活、ビジネスにどのような影響を及ぼすのかを検討する。本講義を通じ、国際情勢を分析する視点を養い、グローバル化が進む現代でビジネスや事業を展開する上で必要な判断力や応用力を養う。

授業の目的・到達目標

国際社会の情勢とその背景を読み解く視点を事例を通じて習得することで、グローバリゼーションのなかでビジネスを展開する際の判断基準や応用力を養う。

授業計画

1	イントロダクション	9	国際情勢とその構造⑦　まとめ
2	世界地図から見る国際情勢	10	グローバリゼーション①　概説
3	国際情勢とその構造①　東アジア	11	グローバリゼーション②　世界システム
4	国際情勢とその構造②　その他アジア	12	グローバリゼーション③　ビジネス
5	国際情勢とその構造③　中東	13	グローバリゼーション④　社会運動
6	国際情勢とその構造④　アフリカ	14	国際社会の潮流と読み解く視点
7	国際情勢とその構造⑤　ヨーロッパ・EU	15	まとめ
8	国際情勢とその構造⑥　南北アメリカ		

科目名	日本文化	教員	市川　ヴィヴェカ	期	3年前期

授業概要

現在、世界ではゲームやアニメなどのポップカルチャーを中心にクール・ジャパン現象への関心が寄せられているが、これはジャポニズムから始まる近現代の日本文化ブームの一連の流れの１つである。本講義では、近現代も含めた時代ごとの「日本文化論」とそれを構成する要素、またそれらの国内外での評価をもとに「日本文化」自体の形成過程を論じる。様々な文献や映像、絵画、マンガ等を教材とし、日本独自の文化の歴史的な変遷や海外の文化との関係性についても理解を深める。日本文化への理解を通じ、文化や社会の形成の観点からもビジネスの思想や発想ができるよう、理論や知識を習得する。

授業の目的・到達目標

時代ごとの「日本文化」とその背景、海外文化との差異やつながりについて学習することで、日本社会の形成や変容について理解し、グローバル化の中での日本の位置づけや役割だけでなく、文化の形成まで考慮したビジネス応用の視点を持つ。

授業計画

1	イントロダクション	9	社会構造の変化と文化の変容
2	日本の伝統文化①	10	クールジャパンと日本文化①
3	日本の伝統文化②	11	クールジャパンと日本文化②
4	近代における日本文化	12	日本文化とグローバル化①
5	戦後における日本文化	13	日本文化とグローバル化②
6	海外から見た日本文化とジャポニズム	14	日本社会とクールジャパン
7	中間まとめ	15	全体まとめ
8	文化形成のプロセス		

科目名	国際メディア論	教員	中村　真鈴	期	3年後期

授業概要

グローバル化とデジタル化の進展により、新たなメディア・コミュニケーションを基盤とした社会が生まれつつある。本講義ではグローバル社会におけるメディア・コミュニケーションについての学びを進める。講義内容は、グローバルなメディアが成立するまでの、起源、発展プロセス、文化産業論の展開、戦後の発展概略、マスコミ産業からグローバルメディア、IT 産業とソーシャルメディア、グローバルメディア体制とその問題点や可能性等について具体的事例を挙げながら、学習する。

授業の目的・到達目標

多様なメディアコミュニケーションの事例や発展のプロセス、技術的要素への理解を通じ、グローバル化とビジネスに欠かせないメディアの役割と展開、その活用方法について検討できるようになる。

授業計画

1	イントロダクション	9	日本とメディア環境
2	メディアの概念、役割	10	世界とメディア環境
3	メディアの始まりと変遷	11	デジタルネイティブ
4	マスコミュニケーションとメディア	12	パーソナルメディアと情報リテラシー
5	マスコミュニケーションとグローバル化	13	グローバル社会におけるメディアの役割
6	中間まとめ	14	今後の社会発展と未来のメディア
7	IT 革命、情報革命とメディア	15	全体まとめ
8	ソーシャルメディアとマスメディア		

科目名	国際開発論	教員	上野　拓朗	期	4年前期

授業概要

国際開発の分野で注目されている論点を取り上げ、開発途上国の現状と課題を外観し、経営や情報通信技術の観点からの開発援助や、持続可能な開発目標（SDGs）など国際開発の動向を理論と事例から検討する。具体的には国内外の貧困問題、地域紛争、こども、教育、資源など様々な問題に対して理解を深めるとともに、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカなどへの具体的な開発・協力事例を取り上げる。国際開発や協力の手法への理解を深め、ビジネスや情報通信技術など専門分野の観点からの課題解決について検討することで、グローバル化が進む現代でビジネスや事業を展開する上で必要な判断力や応用力を養う。

授業の目的・到達目標

国際的な開発や協力の手法だけでなく、グローバル社会を取り巻く様々な課題とその解決事例を学ぶことで、グローバリゼーションのなかでビジネスや情報通信技術を通じ課題解決や社会発展の一助となるアプローチの展開と手法を身に付ける

授業計画

1	イントロダクション	9	開発援助と役割⑤　その他
2	日本の国際協力・取り組みの事例	10	国際開発と国際協力・援助
3	国際開発の理論・変遷①	11	国際協力を担うアクターとその連携
4	国際開発の理論・変遷②	12	SDGs と国際開発①
5	開発援助と役割①　アジア	13	SDGs と国際開発②
6	開発援助と役割②　中東	14	イノベーションと国際開発
7	開発援助と役割③　アフリカ	15	全体まとめ
8	開発援助と役割④　ラテンアメリカ		

科目名	国際経営と商習慣	教員	嶋田　崇孝	期	4年後期

授業概要

企業が海外進出するとはどのようなことなのか。海外に進出しない企業でもグローバル競争に巻き込まれるのはなぜなのか。国際経営と国内経営は何がどう違うのか。グローバル化以前と以後のビジネスでは何がどう変わったのか。ビジネスにとって，商習慣が各国・各地域によって異なることで何が問題となるのか。これらの疑問をきっかけに，ビジネスを国際的に展開するために何が必要かについて具体的な事例と理論的な枠組みを学びながら考えることで、ビジネスの国際展開や協働を考える上で必要な理論や知識、考え方を修得する。

授業の目的・到達目標

ビジネスを行う上で前提となる商習慣の違いや背景への理解を具体的な事例や理論を通じて学ぶことで、ビジネスを国際的に展開する、あるいは海外とのやり取りを行う際の判断基準や応用力を養う。

授業計画

1	イントロダクション	9	各国・地域の商習慣②　アメリカ・EU
2	経済発展とビジネスの国際化①	10	各国・地域の商習慣③　アジア・中東
3	経済発展とビジネスの国際化②	11	海外進出①　海外から日本へ
4	商習慣①　商習慣とは何か	12	海外進出②　日本から海外へ
5	商習慣②　商取引形態、インコタームズ	13	グローバリゼーションと国際展開
6	商習慣③　CISG など国際法	14	グローバリゼーションと協働
7	中間まとめ	15	全体まとめ
8	各国・地域の商習慣①　日本		

◆各業界における国際化の理解

科目名	製造業における国際化	教員	佐伯　玲奈	期	3年後期

授業概要

情報通信技術関連(IoT, IIoT, Security, Cloud, Virtualization など)はもちろんのこと、広く製造業全般(自動車など機械、半導体など精密機器、その他製品製造業など)のテーマを扱い、製造業におけるグローバル化やイノベーションの事例を通じ、ビジネスの特性や専門性の理解を図る。具体的には、製造業の現場で用いられている技術文書に加え、製造業系のグローバルメディアである EETimes や EDN などの記事や各企業のホワイトペーパーなどを利用し、技術や戦略等への理解を深める。日本語だけでなく英語でも事例を検討し、業界内の専門的なビジネスについて理解するとともに、経営や情報通信技術の専門知識をもとに製造業における新たなビジネス展開やイノベーションに活用できる応用力を身に付ける。

授業の目的・到達目標

製造業におけるグローバル化やイノベーションの事例を日本語だけでなく英語でも学び、製造業のビジネスとしての特性や専門性への理解を図り、経営や情報通信技術のスキルや知識の応用し製造業における新たなビジネス展開やイノベーションに活用できる応用力を身に付ける。

授業計画

1	イントロダクション	9	国際化と海外からみた日本のものづくり
2	製造業の定義と構成、分類	10	中小企業とグローバル化
3	製造業の産業特性とビジネスプロセス	11	地域産業とイノベーション
4	日本における製造業の変遷	12	技術移転でのグローバル化､イノベーションの役割
5	製造業の専門性、技術理解①　技術文書から	13	国際化における製造業とイノベーションの今後①
6	製造業の専門性、技術理解②　技術文書から	14	国際化における製造業とイノベーションの今後②
7	製造業の専門性、技術理解③　海外事例から	15	まとめ
8	製造業の専門性、技術理解④　海外事例から		

科目名	ファイナンス業における国際化	教員	佐伯　玲奈	期	4年前期

授業概要

グローバル化が進んでいる分野の１つとしてファイナンスやこれに付随する業界、ビジネスモデルを取り上げる。例えば、サブプライム問題や金融の仮想化などファイナンス業に関する出来事は、一国だけでなく世界中の国と産業に大きな影響を及ぼしてきた。グローバル化の進展やこれに付随するファイナンス業の発展はビジネスや情報通信技術の変化と切り離せない。本授業では制度、歴史、政策などの側面から多面的に展開することで、現在も進むファイナンスのグローバル化の本質と意味を理解するとともに、他分野に考え方を活かし新規ビジネスや既存事業のイノベーションに繋げる方法を検討する応用力を身に付ける。なおファイナンス業の今日的な話題を捉えるため、授業では日本語・英語両方を用いて進行する。

授業の目的・到達目標

経営や情報通信技術のグローバル化が進んでいる分野の１つであるファイナンス業に着目し、理論や歴史等から多面的にアプローチすることでビジネスプランや他分野への展開方法が検討できるようになる。

授業計画

1	イントロダクション	9	国際化②　先進国とファイナンス業
2	ファイナンス業の定義と構成、分類	10	国際化③　開発途上国とファイナンス業
3	ファイナンス業の産業特性	11	情報通信技術の発展とファイナンス業①
4	ファイナンス業のビジネスモデル	12	情報通信技術の発展とファイナンス業②
5	歴史的変遷・政策①　近代～第二次世界大戦	13	ファイナンス業と国際化の今後
6	歴史的変遷・政策②　戦後～20 世紀	14	ファイナンス業とイノベーションの今後
7	歴史的変遷・政策③　21 世紀	15	まとめ
8	国際化①　国際化の概論		

科目名	サービス業における国際化	教員	嶋田　崇孝	期	4年前期

授業概要

産業構造のシフトによって日本だけでなく世界中で、医療・福祉、教育、接客業などサービス業の需要や経済に与える影響が高まっている。その一方、高まるニーズに対し人材不足や専門性に対するスキル不足など、課題は多く存在する。本授業ではサービス業の構成や特性、サービスモデルなどを理解するとともに、グローバル化やイノベーションがどのように推進されているか、国内外の具体的な事例に基づいて検討する。これらを通じ、グローバルビジネスにおけるサービス業のあり方や、ビジネスや情報通信技術の観点からサービス業と特性に応じた課題解決やイノベーションをおこすことができるよう理論や知識を習得する。なお本授業では日本語だけでなく、原著（英語）の講読や英語でのディスカッションも行う。

授業の目的・到達目標

サービス業におけるグローバル化や情報通信技術を活用したイノベーションなど事例を通じて学び、社会問題に対しビジネスや情報通信技術の観点から課題解決ができるようになる。

授業計画

1	イントロダクション	9	サービス業の発展とグローバル化事例①
2	サービス業の定義と構成	10	サービス業の発展とグローバル化事例②
3	サービス業の特性と分類	11	課題解決実践①　リサーチ
4	サービス分類ごとの産業特性	12	課題解決実践②　分析
5	サービス分類ごとのサービスモデル	13	課題解決実践③　課題解決提案
6	中間まとめ	14	サービス業におけるイノベーションと国際化の今後
7	サービス業の発展とイノベーション事例①	15	全体まとめ
8	サービス業の発展とイノベーション事例②		

科目名	農業・林業・漁業における国際化	教員	小林　久美子	期	4年後期

授業概要

産業の最も基本である第一次産業（農業、林業、漁業）におけるグローバル化やイノベーション実例を学ぶ。具体的には、農業を取り巻く環境や資源、政策などをビジネスの観点から基本的な理解を深める。同様に林業や漁業について環境とあわせて、基本的な理解を図る。また、情報通信技術を駆使したマネジメント手法や新たなビジネスモデルを活用した事例や、農林漁業の6次産業化など、日本に限らず世界の事例をもとに検討し、産業の発展と課題解決について理解を深める。これらを通じ、一次産業でのビジネスや、経営や情報通信技術を活用した新たなビジネスモデルを構築する応用力を身に付ける。なお、海外の事例検討などを行うことを考慮し、授業は日本語・英語両方を用いて進行する。

授業の目的・到達目標

既存産業においてテクノロジーを駆使した経営管理や情報通信技術の活用事例について、産業の最も基本である第一次産業から学び、自身のビジネスプランや他分野への展開方法について検討できる。

授業計画

1	イントロダクション	9	林業①　環境と政策
2	第一次産業の現状と課題	10	林業②　ビジネスモデルとイノベーション事例
3	農業①　現状と取り巻く環境、資源	11	第一次産業における技術イノベーション事例
4	農業②　政策	12	農林漁業の6次産業化
5	農業③　地域社会とビジネスモデル	13	農林漁業の国際化
6	農業④　農業におけるイノベーション事例	14	第一次産業における新たなビジネスモデル
7	漁業①　環境と政策	15	まとめ
8	漁業②　ビジネスモデル･イノベーション事例		

３．語学以外の授業科目の充実に係る新設科目等の配置経緯と理由

本学の養成する人材像である「変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材(イノベーション人材)」を輩出するため、展開科目において、「特定の職業の分野に関連する分野における応用的な能力であって、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なもの」がどのような体系・構成とする必要があるか、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーとの整合性や本学設置の背景から改めて検討し教育課程等を見直した。

(ディプロマ・ポリシー：④国際的コミュニケーション能力)　※説明のため１）、２）の番号を付す。

１）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。

２）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

見直しにあたっては、本学の養成する人材にかかわる特定の職業の分野である「経営、情報通信技術」に関連する分野における応用的な能力を国際的コミュニケーション能力と考え、展開科目にディプロマ・ポリシー④として位置付けた。ディプロマ・ポリシー④は、語学の習得ではなく、様々な国の人々とグローバルビジネスの現場で必要なコミュニケーションをとる力を身に付けることを卒業認定・学位授与に関する方針としているため、上記の様に一部を適切に改めた。

(カリキュラム・ポリシー：④)　※説明のため１）、２）の番号を付す。

展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやグローバルビジネスのルールなどを身に付けるための教育内容で構成する。

１）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう、英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

２）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

また、当該職業の分野において創造的な役割を果たすために必要なものも考慮し、カリキュラム・ポリシー④に掲げ、科目設定して配置した。なお、ディプロマ・ポリシー④の一部を改めたため、整合するようカリキュラム・ポリシーの一部を適切に改めた。

(見直しの背景)

＜コミュニケーション能力の必要性＞

人口減少、少子高齢化が進む日本において、今後さらに海外人材の流入が必然となってくる。厚生労働省公表の「外国人雇用についての届出状況」「情報通信業に就労している外国人の推移」によれば、平成

30 年 10 月末現在の外国人労働者数は 1,460,463 人､外国人労働者を雇用する事業所数は 216,348 カ所で、前年同期比 11.2%増加している。平成 19 年に届出が義務化されて以降、外国人労働者数及び外国人を雇用している事業所数は過去最高の数値を更新した。情報通信技術分野の人材に関しては、平成 30 年 10 月末現在、57,620 人存在しており、前年同期比 10.7%増加している。また、総務省情報通信政策局情報通信経済室公表の「我が国企業の海外企業活用の実態把握に関する調査」によれば、ソフトウェア開発業務を行っている日本企業の 36.8%が既にオフショア開発(システム開発などの業務を海外企業、または海外の現地法人などに委託すること)を実施しており、今後行う予定の企業を含めると、40.6%となっていることがわかる。同時に、サービス業や金融業などその他の産業においても、人材や技術、ノウハウなどの連携やこれに伴う海外とのやり取りを中心にグローバル化が進んでいる。以上のことから、産業界のグローバル化の進展に伴い、今後、多様な国の人々とコミュニケーションをとりながら協働して仕事をする力が求められると予測される。

こうした国内外における環境の変化を踏まえ、本学の展開科目では、職業専門科目に配置した特定の職業（経営、情報通信技術）に関連する分野における応用的な能力を「グローバルコミュニケーション能力」と位置づけ、外国人と協働し、創造的な事業やサービス・ビジネスを生み出すために、高いコミュニケーション能力を持ち、多様な価値観を持つ人々と協働する中でビジネスを進める能力が身につくよう、科目を配置した。

＜文化的背景の異なる人々との協働と理解＞

昨今の国際化の急速な動きの中で「グローバルコミュニケーション能力」の向上が不可欠とされている。しかし、外国語として語学を習得しただけでは国際社会で十分なコミュニケーションを図ることはできない。そのため、「外国語による専門知識・スキルの学修」「外国人と協働して、創造的な事業やサービス・ビジネスを生み出すための学修」が肝要と考えた。

・外国語による専門知識・スキルの学修

展開科目では、外国語として語学を習得するだけではなく、例えば、最先端技術やサービストレンドの理解、開発した商品・サービスの展示会企画等の専門知識・スキルを外国語で習得することも必要である。基礎科目に配置する外国語としての語学習得に加え、外国語による専門知識・スキルの習得は、グローバルビジネスの現場において事業を展開する応用的なスキルと捉え、展開科目を構成した。

・外国人と協働して、創造的な事業やサービス・ビジネスを生み出すための学修

多様な価値観を持つ人々と協働するためには、文化的背景の異なる相手の立場に立つこと、さらに、外国人とのコミュニケーションにおけるルールや手法が異なるケースを理解した上でプレゼンテーションやディスカッション、交渉術を身につけ、グローバルビジネスの現場で活用・応用する必要がある。また、諸外国における文化的背景の理解、宗教と文化、日本文化等を理解することや、国際情勢、国際開発・協力、ビジネスにおける商習慣等を学び、外国人と外国人の置かれている状況や生活様式、宗教、思考、慣習等を理解することで、相手を理解し創造的なビジネスに繋がるコミュニケーションが可能である。加えて、世界の人口増大やアジアやラテンアメリカなど新興国での急速な経済発展に伴い、世界的に各種資源の獲得競争が激化することが予測される。そのため、ボーダレス化、グローバル化するビ

ジネスの各業界について学び、各業界において、経営に関する諸理論や情報通信技術を活用し、外国人と協働し、創造的な事業やサービス・ビジネスを展開する知識や方法論を身に付ける。

上記のように、展開科目では、1年次から、グローバルビジネスにおいて十分なコミュニケーションを図ることができるよう、必要な専門知識・応用スキルを、実習・演習形式で学ぶ。また、主に2年次からは、文化的背景の異なる人々と協働するために必要な専門知識、国際社会の動向・潮流等を学び、外国人と協働して仕事を進める能力を身につける。

以上、本学が養成する人材像、展開科目の趣旨、社会動向、外国人と協働して仕事をするための能力等を踏まえ、学生が卒業し10年後20年後に経営と情報通信技術の知識・スキルを活用し、国際社会で活躍する人材となるよう、展開科目における、科目内容や配置、名称など、複数の箇所を見直した。その上で、語学以外の授業科目の新設と語学科目の移動・削減により展開科目の充実をはかり、あわせてポリシーや教育課程全体の整合性に配慮し区分等も整理した。

（新旧対照表）教育課程等の概要

新

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
基礎科目	現代社会基礎	―	イノベーションの志	1前	2			○			1					
			スタディスキル	1前	2			○			1					
			英語コア・スキルズⅠ	1前	2				○				1			
			数学基礎A	1前		2		○			1					
			リサーチ入門	1後	2			○				1				
			英語コア・スキルズⅡ	1後	2				○				1			
			数学基礎B	1後		2		○				1				
			数学基礎C	1後		2		○			1					
			キャリアデザインⅠ	2前	1			○			1					
			職業倫理	2前		2		○								兼1
			先端グローバル社会	2前		2		○								兼1
			英語アカデミックリテラシー	2前		2			○				1			
			科学史	2後		2		○								兼1
			ICTと人間	2後		2		○								兼1
			英米文学演習	2後		2			○		1					
			キャリアデザインⅡ	3後	1			○			1					
			小計（16科目）	―	12	18	0	―			5	2	1	0	0	兼4

旧

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
基礎科目	現代社会基礎	―	イノベーションの志	1前	2			○			1					
			スタディスキル	1前	2			○			1					
			英語コア・スキルズⅠ	1前	2				○				1			
			数学基礎A	1前		2		○			1					
			リサーチ入門	1後	2			○				1				
			英語コア・スキルズⅡ	1後	2				○				1			
			数学基礎B	1後		2		○				1				
			数学基礎C	1後		2		○			1					
			キャリアデザインⅠ	2前	1			○			1					
			職業倫理	2前		2		○								兼1
			先端グローバル社会	2前		2		○								兼1
			(追加)													
			科学史	2後		2		○								兼1
			ICTと人間	2後		2		○								兼1
			(追加)													
			キャリアデザインⅡ	3後	1			○			1					
			小計（14科目）	―	12	14	0	―			4	2	1	0	0	兼4

展開科目	グローバルコミュニケーション	―	ビジネス英語実習Ⅰ	1前	2						○	1		1				兼1
			ビジネス英語実習Ⅱ	1後	2						○	1		1				兼1
			ビジネス英語実習Ⅲ	2前	2						○	1		1				兼1
			(削除)															
			ビジネス英語実習Ⅳ	2後	2						○	1		1				兼1
			(削除)															
			(削除)															
			多文化理解	2後		2			○									兼1
			(削除)															
			比較宗教論	2後		2			○									兼1
			グローバルビジネスと通訳	3前		2		○				1						
			国際情勢論	3前		2		○										兼1
			日本文化	3前		2			○									兼1
			(削除)															
			グローバルビジネスにおけるディスカッション・	3後		2			○									兼1
			国際メディア論	3後		2		○										兼1
			製造業における国際化	3後		2			○									兼1
			(削除)															
			グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション	4前		2			○									兼1
			国際開発論	4前		2		○										兼1
			ファイナンス業における国際化	4前		2			○									兼1
			(削除)															
			サービス業における国際化	4前		2			○									兼1
			(削除)															
			グローバルビジネスにおけるネゴシエーション	4後		2			○									兼1
			国際経営と商習慣	4後		2		○										兼1
			農業・林業・漁業における国際化	4後		2		○										兼1
			(削除)															
			小計（19科目）	―	8	30	0	―				2	0	2	0	0		兼7
総合科目	―	総合演習	総合理論演習	3後	2					○		12	5					
			総合実践演習	4通	4					○		12	5					
			小計（2科目）	―	6	0	0	―				12	5	0	0	0	0	
合計（103科目）				―	94	132	0	―				15	7	6	0	0		兼13

【卒業要件】

次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。

・基礎科目 20 単位

－必修 12 単位

選択必修 8 単位

・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上

・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上

・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)

－必修 68 単位

選択必修 14 単位

展開科目	グローバルコミュニケーション	―	ビジネス英語実習Ⅰ	1前	2						○	1		1				兼1
			ビジネス英語実習Ⅱ	1後	2						○	1		1				兼1
			ビジネス英語実習Ⅲ	2前	2						○	1		1				兼1
			英語アカデミックリテラシー	2前		2				○				1				
			ビジネス英語実習Ⅳ	2後	2						○	1		1				兼1
			英語ビジネスマネジメント	2後		2				○		1						
			英米文学演習	2後		2				○		1						
			(追加)															
			実践英語：多文化理解	2後		2				○								兼1
			(追加)															
			英語通訳論	3前		2			○			1						
			(追加)															
			(追加)															
			実践英語：日本文化	3前		2				○								兼1
			英語ディスカッション・ディベート	3後		2				○								兼1
			(追加)															
			(追加)															
			実践英語：製造業	3後		2				○								兼1
			英語プレゼンテーション	4前		2				○								兼1
			(追加)															
			(追加)															
			実践英語：ファイナンス	4前		2				○								兼1
			(追加)															
			実践英語：IoT	4前		2				○								兼1
			英語ネゴシエーション	4後		2				○								兼1
			(追加)															
			(追加)															
			実践英語：イノベーション	4後		2				○		1						
			小計（17科目）	―	8	26	0	―				2	0	2	0	0		兼3
総合科目	―	総合演習	総合理論演習	3後	2					○		12	5					
			総合実践演習	4通	4					○		12	5					
			小計（2科目）	―	6	0	0	―				12	5	0	0	0	0	
合計（97科目）				―	94	120	0	―				15	7	6	0	0		兼10

【卒業要件】

次により必修科目 94 単位、選択科目 34 単位以上、計 128 単位以上を修得すること。

卒業単位数は、以下の要件を満たす合計 128 単位以上とする。

・基礎科目 20 単位

－必修 12 単位

選択必修 8 単位

・先端グローバル社会、職業倫理、科学史、ICT と人間のうち 2 単位以上

・数学基礎 A、数学基礎 B、数学基礎 C のうち 4 単位以上

・上記 6 単位以上を含む、8 単位以上

・職業専門科目 82 単位(臨地実務実習 24 単位を含む)

－必修 68 単位

選択必修 14 単位

・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論、グローバル企業戦略論から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・グローバルビジネスと通訳、グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート、グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション、グローバルビジネスにおけるネゴシエーションから 2 単位以上 ・製造業における国際化、ファイナンス業における国際化、サービス業における国際化、農業・林業・漁業における国際化から 2 単位以上 ・多文化理解、比較宗教論、国際情勢論、日本文化、国際開発論、国際メディア論、国際経営と商習慣から 8 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修) 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む	・オペレーションズマネジメント、問題形成と問題解決、組織行動論、ビジネスゲームによる経営意思決定、人的資源管理論、イノベーション特論（追記）から 2 単位以上 ・アカウンティング応用、法務リテラシーⅡ、ファイナンス入門、コーポレートファイナンスから 2 単位以上 ・ネットワーク構築Ⅰ、情報セキュリティ演習Ⅰから 2 単位以上 ・モバイルサービス概論、Web システム演習、インタラクティブ・システムデザイン、データサイエンス、クラウド、ビッグデータ、IoT、スーパーコンピュータ、AI から 2 単位 ・上記 8 単位以上を含む、14 単位以上 ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上 ・総合科目 6 単位(必修) 実習科目の 40 単位 うち臨地実務実習(インターンシップ) 24 単位を含む （履修科目の登録の上限：1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間））

（履修科目の登録の上限：1 年次 46 単位（年間） 2-4 年次 42 単位（年間））	

（新旧対照表）授業科目の概要（20～23 ページ）

新	旧
(削除)	[20 ページ] 英語ビジネスマネジメント： 本授業ではビジネス書を題材とし、英文解釈（単語、構文理解、文法など）を行うだけでなく、ビジネス理論そのものの理解を深めることで、グローバルビジネスでの議論や交渉に耐えうるマネジメント能力を身につけるための素地を作る。 学習に当たっては、原著でビジネス理論を読むだけでなく、その論考の書かれた背景を調査、議論し、現代において各氏の提唱したマネジメント理論や戦略理論などが、実際のビジネスの現場でどのように反映され、活用、実践されているかを学ぶ。具体的には、ドラッカー、ポーター、クリステンセン、コトラーなどの代表的な理論を中心に取り上げる。 ビジネスの古典からの知識と、現代経営からの知見や実例を融合させ、3 年次以降のインターンシップにむけて、ビジネスの実践において大切なものは何かという問いに対する知的ツールや、知的フレームワークを提供し、学生各位が自主的にその答えを導き出せる力を修得する。
[21 ページ] 多文化理解： 本授業では、日本のみならず世界中の事例をとりあげ、複数の異文化が混在する「多文化社会」の中で知っておきたい人種・文化・宗教、価値観と、学んだ知識をもとに適切に行動し、異文化を受容する素地を養う。具体的には、多文化の中でのキーワードや事例を取り合げグループでの調査やプレゼンテーションを行い、相互理解を深める。多様性が入り混じる社会やビジネスの現場において、様々な考え方	（追加）

や文化を受け止め、最大限のパフォーマンスを引き出せるリーダーとしての素養を、講義やディスカッション、ロールプレイを通じ、実務を支える理論や知識を習得する。	
（削除）	[20 ページ] 実践英語：多文化理解　： 世界では、多文化理解は単なる教養のみならず、ビジネスパーソンの必須スキルとして広く学ばれている。本授業では、様々な国で使われている多文化理解に関する英語の教材をもとに、文化の違いに気づくこと、違いを受け入れるためにできること、偏見や差別とその背景、多文化の中でのコミュニケーションなどについて、各テーマごとに 2～3 時限かけて学習＋討議を行う。グループ学習を基本として、テーマごとにプレゼンテーションを行い、相互理解を深める。日本のみならず世界中の事例をとりあげることで、多様な人種・文化、価値観の入り混じる職場において、最大限のパフォーマンスを引き出せるリーダーとしての素養を、知識（講義とディスカッション）と体験（ロールプレイ）を通じて身につける、英語でコミュニケーションできることを目標とする。
[21 ページ] 比較宗教論： 本授業では、宗教の定義や歴史、世界の主要な宗教の基本的な概念の理解とその比較を通して、宗教と人間、文化、社会の関係性について検討を行なう。これまでの歴史において、宗教と無関係の社会や文化はない。諸宗教の理解を通じて、グローバル時代にふさわしい宗教についての中立的で幅広い知識を身に付ける。あわせて、人間の生活や文化、生き方に大きな影響をもたらす宗教が、それぞれどのような理念体系を持ち、また人々や社会にどのように受け入れられているのかを知ることで、より深く人間を理解することを目標とする。ビジネスの場面にお	（追加）

いて、宗教や社会を理解した発想や応用ができるよう、理論や知識を習得する。	
[21 ページ] グローバルビジネスと通訳： ビジネスの現場では、語学や専門知識に関する理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、ビジネスや会議の内容をその場でまとめ、共有する場面や、相手の反応に応じて理解できるスキルやコミュニケーション力が求められる。本授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の１つとして、通訳を取り上げ、ビジネスの現場で多方面に展開できる通訳スキルとコミュニケーション力を修得する。	[21 ページ] 英語通訳論： ビジネスの現場では、英語の理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、発言趣旨や会議趣旨、文書概要などのサマリーをその場でまとめ、共有する場面や、逐次通訳や同時通訳を求められる場面も想定される。この授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の１つとして、通訳を取り上げ、通訳の訓練方法を通じて、ビジネスの現場で即戦力になれる総合的な英語コミュニケーション力や通訳スキルを修得する。 具体的には題材として、日常場面だけでなく経営者のスピーチ、政治経済などの時事問題の英語記事などを教材として、通訳の基本的となる 7 つのテクニック（1. shadowing　2. slash reading　3. missing words　4. memorizing　5. para-phrasing　6. site translation　7. quick responding ）を通じ学ぶ。
[22 ページ] 国際情勢論： 世界で起こっている出来事と、それに伴う各国の変化や動きなどを、地政学・歴史・地理・経済などの観点から読み解く視点を養う。具体的には、各回ごとにこれまで起こった国際情勢の変化の代表的な出来事や、時事の話題を取り上げ、その背景と結果を分析、解説する。また現在起こっているグローバリゼーションについて、これまでの事例から日本の社会や私たちの生活、ビジネスにどのような影響を及ぼすのかを検討する。本講義を通じ、国際情勢を分	（追加）

析する視点を養い、グローバル化が進む現代でビジネスや事業を展開する上で必要な判断力や応用力を養う。	
[22 ページ] 日本文化： 現在、世界ではゲームやアニメなどのポップカルチャーを中心にクール・ジャパン現象への関心が寄せられているが、これはジャポニズムから始まる近現代の日本文化ブームの一連の流れの１つである。本講義では、近現代も含めた時代ごとの「日本文化論」とそれを構成する要素、またそれらの国内外での評価をもとに「日本文化」自体の形成過程を論じる。様々な文献や映像、絵画、マンガ等を教材とし、日本独自の文化の歴史的な変遷や海外の文化との関係性についても理解を深める。日本文化への理解を通じ、文化や社会の形成の観点からもビジネスの思想や発想ができるよう、理論や知識を習得する。	（追加）
（削除）	[21 ページ] 実践英語：日本文化　： 「英語で語る日本事情」（江口裕之、Japan Times）」や、「日本の伝統行事」（村上　龍、講談社）などいくつかの日本文化を英語で紹介した書籍を教材として、日本独自の歴史や文化を海外の人々に英語で説明できることを目的とする。 具体的には、(1) 歴史　(2) 文化的行事　(3)しきたりなど独自の文化　(4) 現代の日本　の四つの軸を中心に、それぞれについて 2～3 時限かけて学習+討議する。グループ学習を基本として、(A) 具体的にはどのような項目を選び出すかを議論　(B) 選び出した項目の説明の作成(日本語、英語)　(C) プレゼンテーションの実施　という流れで講義を行う。 本講座を通じて、実は私たち自身の文化への理解が不足していること、また日本で生活していれば当然と思われていることこそ、グローバルな視点では説明が必要であることを身を持って体験し、それらを英語でコミュニケーションする方法論を学ぶ。

[22 ページ] グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート： グローバルにおける会議や交渉の場では、参加者が意見を伝え、対話するという、よりよい答えを導くプロセスを全員で形成する必要がある。本授業ではそういった場面での対話手法として、ディスカッションやディベートのスキルを身に付けることを目的とする。ディスカッションでは提示されるテーマをもとに、資料、調査、質問事項など準備をおこない、発表や討議を行なう。あわせて自身の意見や討議をエッセーにまとめる。ディベートでも同様に事前準備のうえ、賛否に分かれ議論し、ジャッジを行なうとともに議論の要点、強みと弱み、改善点などをグループでまとめ、次の学びにつなげる。一連の流れの中で、グローバルビジネス現場での会議など、文化的背景の異なる人々と協業や実践の場で応用できるディスカッション力、ディベート力を養う。なお授業では国内の事例だけでなく、海外でのテレビ会議を想定した実践やオンラインの英文記事なども活用する。	[21 ページ] 英語ディスカッション・ディベート： 主に前半はディスカッション、後半はディベートを中心とする。ディスカッションではあらかじめ提示された議論テーマ一覧をもとに、資料精読、調査などの準備を経たうえ、クラスで自身の意見を発表するとともに、他の発表者に対して、各自 3 問以上の質問をする。また授業後に自身の意見や討議の内容をエッセーにして提出する。ディベートでも同様に事前準備のうえ、賛成反対両陣営に分かれ議論し、多数決で賛否を問うとともに、授業後に議論のポイント、強みと弱み、改善点などをグループワークでまとめ、発表し、次回への学びのポイントとする。一連の流れの中で、(追記) ビジネス現場での会議など実戦の現場に応用できるようなディスカッション力、ディベート力を養う。
[22 ページ] 国際メディア論： グローバル化とデジタル化の進展により、新たなメディア・コミュニケーションを基盤とした社会が生まれつつある。本講義ではグローバル社会におけるメディア・コミュニケーションについての学びを進める。講義内容は、グローバルなメディアが成立するまでの、起源、発展プロセス、文化産業論の展開、戦後の発展概略、マスコミ産業からグローバルメディア、IT 産業とソーシャルメディア、グローバルメディア体制とその問題点や可能性等について具体的事例を挙げながら、学習する。	（追加）

[21 ページ] 製造業における国際化　： 情報通信技術関連(IoT, IIoT, Security, Cloud, Virtualization など)はもちろんのこと、広く製造業全般(自動車など機械、半導体など精密機器、その他製品製造業など)のテーマを扱い、製造業におけるグローバル化やイノベーションの事例を通じ、ビジネスの特性や専門性の理解を図る。具体的には、製造業の現場で用いられている技術文書に加え、製造業系のグローバルメディアである EETimes や EDN などの記事や各企業のホワイトペーパーなどを利用し、技術や戦略等への理解を深める。日本語だけでなく英語でも事例を検討し、業界内の専門的なビジネスについて理解するとともに、経営や情報通信技術の専門知識をもとに製造業における新たなビジネス展開やイノベーションに活用できる応用力を身に付ける。	（追加）
（削除）	[21 ページ] 実践英語：製造業　： 主に製造業における実践的英語を学ぶ。具体的には、ICT 関連（IoT, IIoT, Security, Cloud, Virtualization など）はもちろんのこと、広く製造業全般(自動車、半導体、装置、部品など)のテーマを扱う。教材としては、実際に製造業の現場で用いられている技術文書や、日本工業英語検定準二級問題集、各種工業英語テキストに加え、製造業系のグローバルメディアである EETimes や EDN のサイトなどの最新の記事や各企業のホワイトペーパーを利用することで、専門的なビジネスについても英語で進められる力を身につける。

[23 ページ] グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション： 自身の事業やビジネスのアイディアや企画を周囲に説明し採用されるためには、内容だけでなく効果的に説得するための情報伝達技法が必要とされる。本授業では提示されるテーマをもとに日本語・英語双方でプレゼンテーションに必要な内容や資料の準備、場面に応じたパフォーマンスや技法等を学ぶ。あわせて、質疑応答やジャッジ等一連のやり取りを行いプレゼンテーションの目的、役割、手法について理解を深める。プレゼンテーション力だけでなく、文化的背景の異なる人々に対し日本語・英語問わずビジネスプランやアイディアを伝え、グローバルな場での実践に直結させるためのスキルを習得する。	[22 ページ] 英語プレゼンテーション　： 自ら、あるいはグループで作成したビジネスプランをプレゼンテーションを通じて、ビジネスプレゼンテーションに必要なボキャブラリやパフォーマンス等を磨く。具体的には、投資家に対して出資を依頼する設定で質疑応答まで含めた一連の準備、出資者に見立てた教員や受講生に模擬プレゼンテーションや質疑応答、出資の可否を含めた具体的な結果のやり取り、提案したビジネスを実際に社会で実施する際に想定されるやり取りなどを英語で行う。本授業を通じ､英語でのプレゼンテーション力だけでなく、自らのビジネスプランやアイディアをグローバルな場での実践に直結させる。
[23 ページ] 国際開発論： 国際開発の分野で注目されている論点を取り上げ、開発途上国の現状と課題を外観し、経営や情報通信技術の観点からの開発援助や、持続可能な開発目標（SDGs）など国際開発の動向を理論と事例から検討する。具体的には国内外の貧困問題、地域紛争、こども、教育、資源など様々な問題に対して理解を深めるとともに、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカなどへの具体的な開発・協力事例を取り上げる。国際開発や協力の手法への理解を深め、ビジネスや情報通信技術など専門分野の観点からの課題解決について検討することで、グローバル化が進む現代でビジネスや事業を展開する上で必要な判断力や応用力を養う。	（追加）
[23 ページ] ファイナンス業における国際化　： グローバル化が進んでいる分野の１つとしてファイナンスやこれに付随する業界、ビジネスモデルを取り上げる。例えば、サブプライム問題や金融の仮想化などファイナンス業に関する出来事は、一国だけ	（追加）

でなく世界中の国と産業に大きな影響を及ぼしてきた。グローバル化の進展やこれに付随するファイナンス業の発展はビジネスや情報通信技術の変化と切り離せない。本授業では制度、歴史、政策などの側面から多面的に展開することで、現在も進むファイナンスのグローバル化の本質と意味を理解するとともに、他分野に考え方を活かし新規ビジネスや既存事業のイノベーションに繋げる方法を検討する応用力を身に付ける。なおファイナンス業の今日的な話題を捉えるため、授業では日本語・英語両方を用いて進行する。	
（削除）	[22 ページ] 実践英語：ファイナンス　： 会計、および財務の基礎を、主に CPA のテキストや問題、また代表的な財務会計テキストによって概観する。マネジメント科目の中では、「ファイナンス」を日本語テキストを用いて日本語で学ぶが、同じ内容を英語テキストを用いて学ぶことで、ファイナンスの理論の定着と、それを英語で理解し、起業や経営に伴うファイナンスを、グローバルな現場で応用できることを主眼とする。
[23 ページ] サービス業における国際化　： 産業構造のシフトによって日本だけでなく世界中で、医療・福祉、教育、接客業などサービス業の需要や経済に与える影響が高まっている。その一方、高まるニーズに対し人材不足や専門性に対するスキル不足など、課題は多く存在する。本授業ではサービス業の構成や特性、サービスモデルなどを理解するとともに、グローバル化やイノベーションがどのように推進されているか、国内外の具体的な事例に基づいて検討する。これらを通じ、グローバルビジネスにおけるサービス業のあり方や、ビジネスや情報通信技術の観点からサービス業と特性に応じた課題解決やイノベーションをおこすことができるよう	（追加）

理論や知識を習得する。なお本授業では日本語だけでなく、原著（英語）の講読や英語でのディスカッションも行う。	
（削除）	[22 ページ] 実践英語：IoT　： 業界を問わず多くの業界や企業に、すでに IT とインターネットの技術は浸透しており、いわゆる IoT 技術の活用の優劣が直接企業の業績を左右する。本講座は(1) Apple、Google、Facebook、Amazon(AGFA)などの IT を代表する企業が、いかに IoT を活用した戦略で企業として成功しているか、および(2) 代表的な企業の IoT 技術活用の成功例（セキュリティー、データ分析、GDPR 対応、リスク対策、ディザスターリカバリー、クラウド化、仮想化など）を、英語でのホワイトペーパーや技術文書、専門誌記事などを教材として、成功事例を学び、英語力（特に語彙力、表現力）を身につける。
[24 ページ] グローバルビジネスにおけるネゴシエーション： ビジネス交渉は世界中のあらゆる場面で生まれ、最も重要視されるべきものの１つである。本演習では、相手がどのようなタイプの交渉を行うネゴシエーターかを把握し、文化的背景の異なる人々に対して場面にあわせた様々な交渉手順や戦略を取り入れながら最善の交渉術を見出すことを目標とする。文化が交渉に与える影響力や感情の働き、人種・性差別、緊急を要する困難な状況における交渉場面を取り扱う。学生はグローバルビジネスの現場で活躍できるよう英語でも交渉理論・戦略方法を学び、幅広いテーマによるロープレー形式で実践演習を行う。	[22 ページ] 英語ネゴシエーション： ビジネス交渉は世界中のあらゆる場面で生まれ、最も重要視されるべきものの１つである。本演習では、相手がどのようなタイプの交渉を行うネゴシエーターかを把握し、（追記）場面にあわせた様々な交渉手順や戦略を取り入れながら最善の交渉術を見出すことを目標とする。文化が交渉に与える影響力や感情の働き、人種・性差別、緊急を要する困難な状況における交渉場面を取り扱う。学生は英語で交渉理論・戦略方法を学び、幅広いテーマによるロープレー形式で実践演習を行う。

[24 ページ] 国際経営と商習慣： 企業が海外進出するとはどのようなことなのか。海外に進出しない企業でもグローバル競争に巻き込まれるのはなぜなのか。国際経営と国内経営は何がどう違うのか。グローバル化以前と以後のビジネスでは何がどう変わったのか。ビジネスにとって，商習慣が各国・各地域によって異なることで何が問題となるのか。これらの疑問をきっかけに，ビジネスを国際的に展開するために何が必要かについて具体的な事例と理論的な枠組みを学びながら考えることで、ビジネスの国際展開や協働を考える上で必要な理論や知識、考え方を修得する。	（追加）
[24 ページ] 農業・林業・漁業における国際化： 産業の最も基本である第一次産業（農業、林業、漁業）におけるグローバル化やイノベーション実例を学ぶ。具体的には、農業を取り巻く環境や資源、政策などをビジネスの観点から基本的な理解を深める。同様に林業や漁業について環境とあわせて、基本的な理解を図る。また、情報通信技術を駆使したマネジメント手法や新たなビジネスモデルを活用した事例や、農林漁業の 6 次産業化など、日本に限らず世界の事例をもとに検討し、産業の発展と課題解決について理解を深める。これらを通じ、一次産業でのビジネスや、経営や情報通信技術を活用した新たなビジネスモデルを構築する応用力を身に付ける。なお、海外の事例検討などを行うことを考慮し、授業は日本語・英語両方を用いて進行する。	（追加）
（削除）	[22 ページ] 実践英語：イノベーション　： イノベーションにかかわる重要な時事的テーマを英語学習する。授業趣旨は ICT 関連の技術分野を含む最新のイノベーションの潮流（たとえばスマート・

	ファクトリー、デジタル・オペレーション、など）や、経営分野で今後のイノベーションに関わる重要トピック（たとえばデジタル・トランスフォーメーション、アジャイル、など）などを学習する。特に本講義は英語によるグループワークを含む英語中心の授業とし、履修学生による海外の最新のイノベーションの事例・動向についての英語文献の調査、英語公開ビデオの聴取、英語プレゼンテーション、教員と学生による英語討議、英語ネイティブのゲスト講義の聴講・質疑応答、などにより、グローバルな視点で実社会で求められる実用的、実践的な英語力を磨く。

（新旧対照表）シラバス　グローバルビジネスと通訳（150～151 ページ）

新	旧
[150～151 ページ] グローバルビジネスと通訳 １．授業概要 ビジネスの現場では、語学や専門知識に関する理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。 グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では､ビジネスや会議の内容をその場でまとめ､共有する場面や、相手の反応に応じて理解できるスキルやコミュニケーション力が求められる。本授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の１つとして、通訳を取り上げ、ビジネスの現場で多方面に展開できる通訳スキルとコミュニケーション力を修得する。	[150～151 ページ] 英語通訳論 １．授業概要 ビジネスの現場では、英語の理解力や運用能力に格差があるチームメンバーとともに仕事を進めなければならない場面が数多くある。グローバルな場面でリーダーシップを発揮していく中では、発言趣旨や会議趣旨、文書概要などのサマリーをその場でまとめ、共有する場面や、逐次通訳や同時通訳を求められる場面も想定される。この授業では、上記のような場面でも通用するグローバルコミュニケーションの技法の１つとして、通訳を取り上げ、通訳の訓練方法を通じて、ビジネスの現場で即戦力になれる総合的な英語コミュニケーション力や通訳スキルを修得する。 具体的には題材として、日常場面だけでなく経営者のスピーチ、政治経済などの時事問題の英語記事などを教材として、通訳の基本的となる 7 つのテクニック（1. shadowing　2. slash reading　3. missing words　4. memorizing　5.

	para-phrasing　6. site translation　7. quick responding ）を通じ学ぶ。
２．授業の目的、目標 多様な人種・文化・宗教・価値観が入り混じるグローバル社会について、ロールプレイを通じ体感しながら知識を習得し、文化の違いを受容しつつ、リーダーシップを発揮し多方面にわたり円滑にビジネスを展開していくことができるようになる。	２．授業の目的、目標 ・「通訳」の行為やその役割を理解する。 ・英語力、特にリスニング力、スピーキング力を強化する。 ・日英・英日での基本的な通訳スキルを習得する。 ・通訳訓練の題材を通じて、教養やコミュニケーションを身につける。
３．授業計画	３．授業計画

回数	内容
1	オリエンテーション、通訳とは
2	通訳に必要な技能と運用能力
3	通訳の種類、内容とその理論
4	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力①　理解力、記憶力、語彙力 構文や専門用語など
5	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力②　表現力 言い換え、要約など
6	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力③　通訳としての総合的な語学力 サイトトランスレーションやリプロダクションなど
7	通訳に必要なスキル、コミュニケーション力 通訳の役割やモラルと同時通訳・逐次通訳の技法
8	まとめ① 通訳に必要なスキルとコミュニケーション力
9	場面別通訳① スピーチ、プレゼンテーションにおける通訳事例
10	場面別通訳② 時事的な話題､コミュニケーションにおける通訳事例
11	場面別通訳③ 会議や打ち合わせなどにおける通訳

回数	内容
1	オリエンテーション、通訳とは
2	日英通訳体験：日英通訳に必要な技能と運用能力
3	通訳訓練法基礎① Shadowing、Slash Reading
4	通訳訓練法基礎② Missing Words、Memorize 基礎
5	通訳訓練法基礎③ Para-phrasing 基礎
6	通訳訓練法基礎④ Site Translation 基礎
7	通訳訓練法基礎⑤ quick responding 基礎
8	まとめ① （通訳の７つのテクニック）
9	場面別通訳① （日常場面）
10	場面別通訳② （実務的な場面）
11	場面別通訳③ （フォーマル・スピーチ）

	事例
12	場面別通訳④ ビジネスにおける通訳事例
13	場面別通訳⑤ 情報通信技術やサービスにおける通訳事例
14	まとめ② 場面別通訳のスキルとコミュニケーション力
15	全体のまとめと振り返り、グローバルビジネスにおける通訳の役割とは、

4．試験および成績評価の方法と基準

授業の理解度・参加度・貢献度（50%）

各回での内容理解・ワーク（20%）

まとめ①②及び全体まとめでののワークショップ(内容、方法など)（30%）

5．準備学習（予習・復習、課題等）

各回ごとにトピックや資料に基づく授業準備および復習

6．教科書／参考文献

教科書：各回ごとに資料を配布する。

参考文献：

『通訳の技術』小松達也(著)、研究社、(2005/9/1)

『よくわかる逐次通訳』鶴田 知佳子（著)、東京外国語大学出版会（2010 年)

『異文化理解力――相手と自分の真意がわかるビジネスパーソン必須の教養』

エリン・メイヤー（著), 田岡恵（監修), 樋口武志(翻訳)、英治出版（2015 年)

12	場面別通訳④ （ビジネス場面）
13	場面別通訳⑤ （技術・サービスに関するビジネス場面）
14	場面別通訳⑥ （その他の場面）
15	まとめ② （通訳と今後への課題）

4．試験および成績評価の方法と基準

授業の理解度・参加度・貢献度（50%）

まとめ・振り返り回での内容理解・ワーク（20%）

最終回のワークショップ(内容、方法など)（30%）

5．準備学習（予習・復習、課題等）

各テクニックに対する復習、繰り返し演習

6．教科書／参考文献

教科書：各回ごとに資料を配布する。

参考文献：

『通訳の技術』小松達也(著)、研究社、(2005/9/1)

（追記）

（新旧対照表）学則　別表１

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>基礎科目
現代社会基礎
<table>
<tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>イノベーションの志</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スタディスキル</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語コア・スキルズⅠ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>数学基礎 A</td><td>2</td></tr>
<tr><td>リサーチ入門</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語コア・スキルズⅡ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>数学基礎 B</td><td>2</td></tr>
<tr><td>数学基礎 C</td><td>2</td></tr>
<tr><td>キャリアデザインⅠ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>職業倫理</td><td>2</td></tr>
<tr><td>先端グローバル社会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語アカデミックリテラシー</td><td>2</td></tr>
<tr><td>科学史</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ICT と人間</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英米文学演習</td><td>2</td></tr>
<tr><td>キャリアデザインⅡ</td><td>1</td></tr>
</table>
（中略）
展開科目(グローバルコミュニケーション)
<table>
<tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅰ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅱ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅲ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(削除)</td><td></td></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅳ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(削除)</td><td></td></tr>
<tr><td>(削除)</td><td></td></tr>
<tr><td>多文化理解</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(削除)</td><td></td></tr>
</table></td><td>基礎科目
現代社会基礎
<table>
<tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>イノベーションの志</td><td>2</td></tr>
<tr><td>スタディスキル</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語コア・スキルズⅠ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>数学基礎 A</td><td>2</td></tr>
<tr><td>リサーチ入門</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語コア・スキルズⅡ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>数学基礎 B</td><td>2</td></tr>
<tr><td>数学基礎 C</td><td>2</td></tr>
<tr><td>キャリアデザインⅠ</td><td>1</td></tr>
<tr><td>職業倫理</td><td>2</td></tr>
<tr><td>先端グローバル社会</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(追加)</td><td></td></tr>
<tr><td>科学史</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ICT と人間</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(追加)</td><td></td></tr>
<tr><td>キャリアデザインⅡ</td><td>1</td></tr>
</table>
（中略）
展開科目(グローバルコミュニケーション)
<table>
<tr><th>科目名称</th><th>単位数</th></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅰ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅱ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅲ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語アカデミックリテラシー</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ビジネス英語実習Ⅳ</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英語ビジネスマネジメント</td><td>2</td></tr>
<tr><td>英米文学演習</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(追加)</td><td></td></tr>
<tr><td>実践英語：多文化理解</td><td>2</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

	比較宗教論	2		(追加)	
	グローバルビジネスと通訳	2		英語通訳論	2
	国際情勢論	2		(追加)	
	日本文化	2		(追加)	
	(削除)			実践英語：日本文化	2
	グローバルビジネスにおけるディスカッション･ディベート	2		英語ディスカッション・ディベー	2
	国際メディア論	2		(追加)	
	製造業における国際化	2		(追加)	
	(削除)			実践英語：製造業	2
	グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション	2		英語プレゼンテーション	2
	国際開発論	2		(追加)	
	ファイナンス業における国際化	2		(追加)	
	(削除)			実践英語：ファイナンス	2
	サービス業における国際化	2		(追加)	
	(削除)			実践英語：IoT	2
	グローバルビジネスにおけるネゴシエーション	2		英語ネゴシエーション	2
	国際経営と商習慣	2		(追加)	
	農業・林業・漁業における国際化	2		(追加)	
	(削除)			実践英語：イノベーション	2

（新旧対照表）学則　別表 2

<table>
<tr><th>新</th><th>旧</th></tr>
<tr><td>

科目区分			卒業単位					
			必修	選択必修	(削除)	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	6 ※1	(削除)	2	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	8 ※2	(削除)	6	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	12 ※3	(削除)	0	0	20
総合科目			6	0	(削除)	0	0	6
合計			94	26	(削除)	8	0	128

（中略）

※3

・グローバルビジネスと通訳、グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート、グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション、グローバルビジネスにおけるネゴシエーションから 2 単位以上

・製造業における国際化、ファイナンス業における国際化、サービス業における国際化、農業・林業・漁業における国際化から 2 単位以上

・多文化理解、比較宗教論、国際情勢論、日本文化、国際メディア論、国際開発論、国際経営と商習慣から 8 単位以上

</td><td>

科目区分			卒業単位					
			必修	選択必修①	選択必修②	選択	自由	小計
基礎科目	現代社会基礎		12	6 ※1	2	0	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	8	8 ※4	0	6	0	82
		ビジネス応用	0				0	
		ビジネス実践	42				0	
	情報通信技術	システムデザイン基礎	18				0	
		システムデザイン応用	0				0	
		ネットワークセキュリティ	0				0	
展開科目	グローバルコミュニケーション		8	8 ※3	4	0	0	20
総合科目			6	0	0	0	0	6
合計			94	22	6	6	0	128

（中略）

※3

・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上

・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上

・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上

・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上

</td></tr>
</table>

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（22～25、28、36～40、45～46、53～54、54～58 ページ）

新	旧
[22～25 ページ] ■ディプロマ・ポリシー （中略）	[22～25 ページ] ■ディプロマ・ポリシー （中略）

④国際的コミュニケーション能力 ・グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。 （中略） ■カリキュラム・ポリシー （中略） ④展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。 ・グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。	④国際的コミュニケーション能力 ・英語を用いてビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。 （中略） ■カリキュラム・ポリシー （中略） ④展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。 ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。
[28 ページ] ⑤情報通信技術分野のグローバル化が進展しているため「グローバルビジネスの現場で活用できるコミュニケーションを学び」、「文化的背景の異なる人々と協働して仕事ができる力」を身に付ける 国際社会で十分なコミュニケーションを図るためには、外国語の習得だけではなく、諸外国における文化的背景の理解、宗教と文化、日本文化等を理解することや、国際情勢、国際開発・協力、ビジネスにおける商習慣等を学び、外国人の置かれている状況や生活様式、宗教、思考、慣習等を身に付ける必要がある。また、外国人とのコミュニケーションにおけるルールや手法が異なるケースを理解した上で	[28 ページ] ⑤情報通信技術分野のグローバル化が進展しているため「ビジネスで活用できる英語を学び」、「英語で仕事ができる力」を身に付ける 産業界は、グローバル化が進展しており、世界の人々と協働するのが当たり前となっている現状から、仕事で通用する語学力の修得が必要である。入学時点で語学力に差があることが予測されるため少人数による語学教育に加え、習熟度別のクラス編成による語学教育を徹底する。また、展開科目としてビジネスで活用できる英語力を高めるため、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーション等を通じて英語で仕事ができる能力を高める。

プレゼンテーションやディスカッション、交渉術を身につけ、グローバルビジネスの現場で活用・応用する知識を身に付ける。さらに、国際化するビジネスの各業界について学び、各業界において、経営に関する諸理論や情報通信技術を活用し、外国人と協働し、創造的な事業やサービス・ビジネスを展開する知識や方法論を学ぶ。	
[36～40 ページ] ③基礎科目「現代社会基礎」 （中略） また、1 年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。「英語コア・スキルズⅠ・Ⅱ」を設定し英語 4 技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。社会科学系および情報系の学びを進めるうえで必要となる解析学（数列や微分・積分の考え方）、線形代数（ベクトルや行列の考え方）、確率統計（確率や統計的検定の考え方）の基本的な内容として「数学基礎 A～C」を配置し、2 科目以上の履修を必須とする。また、「リサーチ入門」を通じて、さまざまな事象を実証的・構造的に明らかにし、課題の解決に結びつけるための方法を習得する。このほか、「職業倫理」「科学史」「先端グローバル社会」「ICT と人間」を通じて、現代社会の課題を多面的・構造的に理解する。また学術的な英語や教養を身に付ける科目として「英語アカデミックリテラシー」「英米文学演習」を配置する。 （中略） ⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」 （中略） 単に英語の 4 技能を高めるだけではなく、グローバルビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションをもとに、コミュニケーションが実践できるよう「グローバルビジネスと通訳」「グローバルビジ	[36～40 ページ] ③基礎科目「現代社会基礎」 （中略） また、1 年次では「スタディスキル」を設定し、大学での学び方を改めて理解し、レポートの書き方やプレゼンテーションの基本を学ぶ。「英語コア・スキルズⅠ・Ⅱ」を設定し英語 4 技能を中心に基礎的な英語力の向上を図る。社会科学系および情報系の学びを進めるうえで必要となる解析学（数列や微分・積分の考え方）、線形代数（ベクトルや行列の考え方）、確率統計（確率や統計的検定の考え方）の基本的な内容として「数学基礎 A～C」を配置し、2 科目以上の履修を必須とする。また、「リサーチ入門」を通じて、さまざまな事象を実証的・構造的に明らかにし、課題の解決に結びつけるための方法を習得する。このほか、「職業倫理」「科学史」「先端グローバル社会」「ICT と人間」を通じて、現代社会の課題を多面的・構造的に理解する。（追記） （中略） ⑩展開科目「グローバルコミュニケーション」 （中略） 単に英語の 4 技能を高めるだけではなく、実際の業務や研究の場でのルールを理解したうえでコミュニケーションをとることができるよう「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英

ネスにおけるディスカッション・ディベート」「グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション」「グローバルビジネスにおけるネゴシエーション」を配置する。また、「多文化理解」「比較宗教論」「国際情勢論」「日本文化」「国際メディア論」「国際開発論」「国際経営と商習慣」を配置し、諸外国の文化的背景を理解することや国際情勢、国際開発・協力、ビジネスにおける商習慣等を学ぶ。さらに、グローバル化するさまざまな業界について学び、経営や情報通信技術を国際社会で具体的に展開する知識や方法論を身につけられるよう、主に 3 年次以降には「製造業における国際化」「ファイナンス業における国際化」「サービス業における国際化」「農業・林業・漁業における国際化」などを実践的に学ぶ。	語通訳論」を配置した。「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」では、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、交渉力などを身に付ける。また、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを、英語を通じて身に付ける科目として、「実践英語:多文化理解」「英米文学演習」「実践英語:日本文化」を配置した。さまざまなビジネス分野で英語が活用できるよう、主に 3 年次以降には「実践英語:製造業」「実践英語:ファイナンス」「実践英語:IoT」「実践英語:イノベーション」などの専門性の高い英語を実践的に学ぶ。
[45～46 ページ] CP④－１）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、グローバルビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで、コミュニケーションが実践できるよう「グローバルビジネスと通訳」「グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート」「グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション」「グローバルビジネスにおけるネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。	[45～46 ページ] CP④－１） 英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに、英語でのアカデミックリテラシーの習得やより具体的なビジネスの現場でのルール理解やスキル習得を図るため、「英語アカデミックリテラシー」「英語ビジネスマネジメント」「英語通訳論」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。また、それらを応用・実践するためにビジネスの現場を想定したテーマやシチュエーションで構成される「英語ディスカッション・ディベート」「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」から 1 科目以上を選択必修科目として履修する。さらに、選択必修科目の中から履修するこ

	とによりコミュニケーション能力の幅が広がる。
CP④－２） 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。 語学だけではなく、諸外国の文化的背景を理解することや国際情勢、国際開発・協力、ビジネスにおける商習慣等を学ぶため、「多文化理解」「比較宗教論」「国際情勢論」「日本文化」「国際メディア論」「国際開発論」「国際経営と商習慣」から 4 科目以上を選択必修科目として履修し、様々な国の文化や国際情勢等を学ぶ。また、グローバル化するさまざまな業界について学び、経営や情報通信技術を国際社会で具体的に展開する知識や方法論を身につけられるよう、「製造業における国際化」「サービス業における国際化」「ファイナンス業における国際化」「農業・林業・漁業における国際化」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。	CP④－２） 文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。 上記の能力を習得するにあたり必要となる基礎的な知識・スキルを身につけるため、「ビジネス英語実習Ⅰ」「ビジネス英語実習Ⅱ」「ビジネス英語実習Ⅲ」「ビジネス英語実習Ⅳ」を必修科目として履修する。基礎的な知識・スキルをもとに文化的背景の異なる人々と協働するために「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」「英米文学演習」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、英語で文化を学ぶ。また、経営や技術などの専門的な内容について英語で応用・実践するために「実践英語：ファイナンス」「実践英語：イノベーション」「実践英語：製造業」「実践英語：IoT」から 1 科目以上を選択必修科目として履修し、具体的なテーマや課題を設定し、文化的背景の異なる人々と協働できるよう実践的に学ぶ。さらに、選択必修科目の中から履修することによりコミュニケーション能力の幅が広がる。 上記の必修科目・選択必修科目以外に、選択必修科目の中から 2 科目以上の履修を行う科目編成とし、上記 CP④－１）～２）に従った履修により、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付け、「国際的コミュニケーション能力」を習得する。
[53～54 ページ] (5)卒業要件 （中略） ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ	[53～54 ページ] (5)卒業要件 （中略） ・展開科目 20 単位 －必修 8 単位 ビジネス英語実習Ⅰ、ビジネス英語実習Ⅱ、ビジネス英語実習Ⅲ、ビジネス英語実習Ⅳ

選択必修 12 単位 ・グローバルビジネスと通訳、グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート、グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション、グローバルビジネスにおけるネゴシエーションから 2 単位以上 ・多文化理解、比較宗教論、国際情勢論、日本文化、国際メディア論、国際開発論、国際経営と商習慣から 8 単位以上 ・製造業における国際化、ファイナンス業における国際化、サービス業における国際化、農業・林業・漁業における国際化から 2 単位以上	選択必修 12 単位 ・英語アカデミックリテラシー、英語ビジネスマネジメント、英語通訳論から 2 単位以上 ・英語ディスカッション・ディベート、英語プレゼンテーション、英語ネゴシエーションから 2 単位以上 ・実践英語：多文化理解、英米文学演習、実践英語：日本文化から 2 単位以上 ・実践英語：製造業、実践英語：ファイナンス、実践英語：IoT、実践英語：イノベーションから 2 単位以上 ・上記 8 単位以上を含む、12 単位以上
[54～58 ページ] (6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目とした。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎科目群の 4 科目、ビジネス実践科目群 11 科目、システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。あわせて、選択必修科目として 13 科目を設定した。内訳は基礎科目 3 科目、職業専門科目 4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科目群のうち所定の 2 科目、システムデザイン基礎科目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定の 1 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション) 6 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。選択必修科目を設け、それぞれの能力について、	[54～58 ページ] (6) 履修モデル （中略） 上記の養成する人材像を達成するために、全学生が共通して履修すべき科目として、37 科目を必修科目とした。その内訳は、基礎科目(現代社会基礎)7 科目、職業専門科目 24 科目(うちビジネス基礎科目群の 4 科目、ビジネス実践科目群 11 科目、システムデザイン基礎科目群 9 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目、総合科目 2 科目である。あわせて、選択必修科目として 12 科目を設定した。内訳は基礎科目 3 科目、職業専門科目 4 科目(うちビジネス基礎科目群とビジネス応用科目群のうち所定の 2 科目、システムデザイン基礎科目群とシステムデザイン応用科目群のうち所定の 1 科目、ネットワーク・セキュリティ科目群から所定の 1 科目)、展開科目(グローバルコミュニケーション)4 科目である。これらの科目の履修を通じ、変化し続ける現代社会において、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力を時代の中で獲得する素地を養うことを企図している。選択必修科目を設け、それぞれの能力について、

基礎となる知識・スキルを習得する科目と、その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修得ができる卒業要件を設定している。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合でも、養成する人材像が備える能力を身につけることができ、ディプロマ・ポリシーを実現することができる。 （中略） ①ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を育成する履修モデル(資料 12-①) （中略） 1 年次は必修科目のほか、数学的な思考力や分析力を通じ経営分析や最適化などの分野で様々な課題を発見し解決する力を養うため、「数学基礎 A」「数学基礎 B」を履修する。また、2 年次には、基礎科目から「職業倫理」「ICT と人間」を通じ、情報通信技術を活用するための知識や倫理、今日的な課題などを学ぶ。あわせて、「英米文学演習」から時代背景や世界観の理解を通じ、グローバルな環境での議論に耐えうる教養を身につける。 また職業専門科目のうち情報通信技術については、1 年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2 年次の「ネットワーク構築演習Ⅰ」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーション科目では、業務上必要となるコミュニケーション力や、国際社会・文化、グローバル化する各業界について学び、相手を理解したうえで経営に関する諸理論や情報通信技術を国際社会で具体的に活用するイメージや方法論を身につける。具体的にはコミュニ	基礎となる知識・スキルを習得する科目と、その知識・スキルの応用や実践を行う科目の単位修得ができる卒業要件を設定している。そのため履修モデル通りに履修しなかった場合でも、養成する人材像が備える能力を身につけることができ、ディプロマ・ポリシーを実現することができる。 （中略） ①ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を育成する履修モデル(資料 12-①) （中略） 1 年次は必修科目のほか、数学的な思考力や分析力を通じ経営分析や最適化などの分野で様々な課題を発見し解決する力を養うため、「数学基礎 A」「数学基礎 B」を履修する。また、2 年次には、基礎科目から「職業倫理」「ICT と人間」を通じ、情報通信技術を活用するための知識や倫理、今日的な課題などを学ぶ。（追記） また職業専門科目のうち情報通信技術については、1 年次の「オペレーティングシステム」でコンピュータ操作の基本的な技術・理論の成り立ちを学ぶとともに、2 年次の「ネットワーク構築演習Ⅰ」や 3 年次の「クラウド」などを通じ、これらの技術の知識、スキルを習得する。 グローバルコミュニケーションでは、業務上必要となるコミュニケーション力を身に付けることや、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深めることを目標とする。具体的にはコミュニケーション力については、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」、3 年次の「英語ディス

ケーション力については3年次の「グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、国際社会や文化への理解については、3年次の「国際情勢論」、3年次の「日本文化」、4年次の「国際開発論」「国際経営と商習慣」を通じ深める。4年次の「サービス業における国際化」を通じて、グローバル化する業界の事例を学び、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するため能力を高める。	カッション・ディベート」、4年次の「英語プレゼンテーション」を通じ英語でビジネスを進めるためのルールの理解やスキルの習得及びその実践を行う。また、3年次の「実践英語：日本文化」を通じ英語で文化への理解を深め、4年次の「実践英語：IoT」「実践英語：イノベーション」を通じて、ビジネスやサービスを説明するための専門分野の理解を深め、国際社会において活躍するための幅広い英語力を高める。
（中略）	（中略）
②情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料12-②-1、12-②-2）	②情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデル（資料12-②-1、12-②-2）
（中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知識を習得する。 グローバルコミュニケーション科目では、国際化が進む中で外国人と協働して仕事をするために必要な知識、社会的背景の理解などを深め、経営に関する諸理論や情報通信技術を国際社会で具体的に展開する知識や方法論を身につける。具体的には2年次の「多文化理解」、3年次の「日	（中略） また、基礎科目から「先端グローバル社会」「科学史」を通じ、情報通信技術の発展が社会にどのように寄与してきたかを学び、サービスを開発するための素地を作る。経営科目では「オペレーションズマネジメント」を通じ企業の中の業務オペレーションの基本的な知識を、「法務リテラシーⅡ」を通じ情報通信技術や知的財産の取り扱いについて応用的な知識を習得する。 グローバルコミュニケーションでは、情報通信技術に関する新たな知識、スキルや、国際化が進む中でプロジェクトを推進するために必要な知識を習得する。具体的には2年次の「英語アカデミックリテラシー」「英語通訳論」を通じ英語コミュニケーション力を身につける。「英語ネゴシ

本文化」を通じ、社会的背景や日本が置かれている環境への理解を図るとともに、3 年次の「国際情勢論」、4 年次の「国際開発論」を通じ、経営や情報通信技術に関する具体的な知識やスキルを国際社会で展開する知識や手法を得る。また 3 年次の「製造業における国際化」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルと国際化の進行を広く習得する。コミュニケーション能力の向上にあたっては、専門分野の基礎・応用の知識や実践を経た 4 年次に「グローバルビジネスにおけるネゴシエーション」を通じ社内外でプロジェクトを進めるうえでの交渉力を習得する。 （中略）	エーション」を通じプロジェクトを進めるうえでの交渉力を習得する。また「実践英語：多文化理解」「実践英語：日本文化」を通じ、文化理解と英語コミュニケーション力を習得する。3 年次の「実践英語：製造業」等の履修を通じ、専門分野の知識やスキルを広く習得する。 （中略）
③起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル(資料 12-③)	③起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル(資料 12-③)
（中略） あわせて経営科目では、財務・会計分野の「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を、「グローバル企業戦略論」を通じ、企業経営における意思決定やグローバル展開を行う際の戦略やマネジメント手法を習得する。 グローバルコミュニケーション科目では、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には 4 年次の「グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション」を通じプレゼンテーション力や交渉力を習得する。また、2 年次の「多文化理解」「比較宗教論」を通じ文化や慣習・思想への理解を深め、ビジネスやサービスを展開する際の社会背景への理解の一助とする。あわせて、	（中略） あわせて経営科目では、財務・会計分野の「ファイナンス入門」「コーポレートファイナンス」「税務会計・会計処理」を通じ、起業したビジネスを継続・発展させるための知識・スキルを習得する。また、「地域創生とイノベーション」を通じ、地域社会における課題の発見・解決に向けた実践力を習得する。 グローバルコミュニケーションでは、自ら国際社会でビジネスやサービスを展開するために必要なコミュニケーション力の習得を目指す。具体的には 3 年次の「英語ディスカッション・ディベート」、4 年次の「英語プレゼンテーション」「英語ネゴシエーション」を通じ、プレゼンテーション力や交渉力を習得する。あわせて、2 年次の「英語ビジネスマネジメント」を通じ英語でビジネスを進めるための具体的なルールの理解やスキルの習得を深める。また、2 年次の「実践英語：多文化理解」を通じ英語で文化への理解を深めると

3年次の「国際メディア論」と4年次の「国際経営と商慣習」、「ファイナンス業における国際化」を通じ、ファイナンスに関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するためのコミュニケーション力を高める。 また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。	ともに、4年次の「実践英語：ファイナンス」を通じ、経営に関する専門分野への理解と国際社会において幅広く活躍するための英語力を高める。 また、学んだ技術を生かし提案したサービスを継続できるよう、起業や事業継続に関する「総合理論演習」「総合実践演習」を履修する。

設置の趣旨等を記載した書類（33 ページ）

新

図 14　◆カリキュラム構成図

設置の趣旨等を記載した書類（33 ページ）

旧

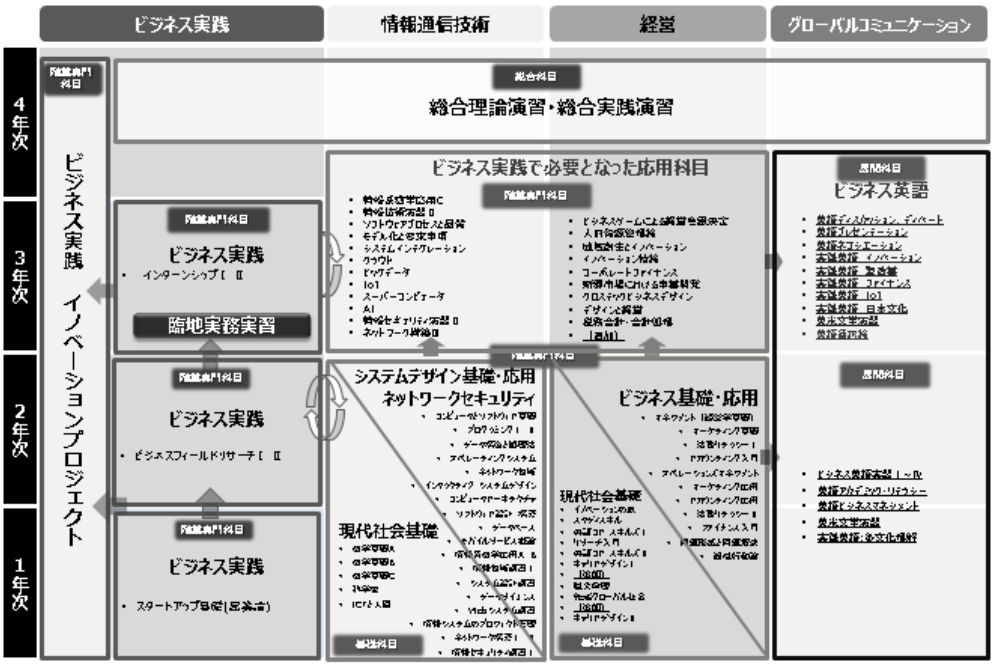


図 14　◆カリキュラム構成図

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 12　履修モデル

新　[資料 12-①　履修モデル]

①　ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 職業倫理	2							
				後期	○ 数学基礎B	2	後期	英米文学演習	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				前期	○ アカウンティング応用	2	後期	○ イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン	2	
							後期	○ 問題形成と問題解決	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択	前期	オペレーティングシステム	2										
		システムデザイン応用	選択							後期	○ クラウド	2				
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2							
					単位数	26		単位数	22		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 比較宗教論	2	前期	○ 国際情勢論	2	前期	○ 国際開発論	2	
										後期	○ グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート	2	前期	○ サービス業における国際化	2	
													後期	○ 国際経営と商慣習	2	
					単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	1 2				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	1 2				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択	後期	オペレーティングシステム 演習	2	後期	情報系数学応用B	2							
		システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	後期	○ ビッグデータ	2				
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	26		単位数	26		単位数	28		単位数	2	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 多文化理解	2	前期	○ 国際情勢論	2	前期	○ 国際開発論	2	
										前期	○ 日本文化	2	後期	○ グローバルビジネスにおけるネゴシエーション	2	
										後期	○ 製造業における国際化	2				
					単位数	4		単位数	6		単位数	6		単位数	4	20
総合科目		―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	37		合計単位数	37		合計単位数	10	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-②-2　履修モデル]

②-2　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択							前期	情報系数学応用C	2				
		システムデザイン応用	選択										前期	○ スーパーコンピュータ	2	
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
							後期	ネットワーク構築Ⅱ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 多文化理解	2	前期	○ 国際情勢論	2	前期	○ 国際開発論	2	
										前期	○ 日本文化	2	後期	○ グローバルビジネスにおけるネゴシエーション	2	
										後期	○ 製造業における国際化	2				
					単位数	4		単位数	6		単位数	6		単位数	4	20
総合科目		－	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	35		合計単位数	39		合計単位数	12	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

新　[資料 12-③　履修モデル]

③　起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎B	2										
				後期	○ 数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				後期	○ ファイナンス入門	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
										後期	○ グローバル企業戦略論	2				
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択				前期	○ モバイルサービス概論	2							
		システムデザイン応用	選択				前期	○ Webシステム演習	2							
		ネットワークセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 多文化理解	2	後期	○ 国際メディア論	2	前期	○ グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション	2	
							後期	○ 比較宗教論	2				前期	○ ファイナンス業における国際化	2	
													後期	○ 国際経営と商慣習	2	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

旧　[資料 12-①　履修モデル]

①　ビジネスに関する知識や実践力を養い、一般企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスを立案・提案する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	[illegible]	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 職業倫理	2							
				後期	○ 数学基礎B	2	後期	○ IoTと人間	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント(経営学基礎)	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		[illegible]	選択				前期	○ アカウンティング応用	2	後期	○ イノベーション特論	2	前期	クロステックビジネスデザイン	2	
							後期	○ 問題形成と問題解決	2							
		[illegible]	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎(起業論)	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	[illegible]	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択	前期	オペレーティングシステム	2										
		[illegible]	選択							後期	○ クラウド	2				
		[illegible]	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2							
					単位数	26		単位数	22		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 英語ビジネスマネジメント	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2	前期	○ 英語プレゼンテーション	2	
										後期	○ 英語ディスカッション・ディベート	2	前期	○ 実践英語：IoT	2	
													後期	○ 実践英語：イノベーション	2	
					単位数	4		単位数	6		単位数	4		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	33		合計単位数	37		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

旧　[資料 12-②-1　履修モデル]

②-1　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、システムデザインの応用分野へ学びを進め、さらに様々な技術間の横断的な開発プロジェクトのリーダーとしてプロジェクト管理について学ぶ履修モデル

			1年			2年			3年			4年		
			期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
			前期	● スタディスキル	2										
			前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
			後期	● リサーチ入門	2										
			後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
		選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
			後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
				単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
			前期	● マーケティング基礎	2										
			後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
			後期	● アカウンティング入門	2										
		選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
	ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
	ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
			後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
			後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
						後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
			前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
			前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
			後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
			後期	● ネットワーク技術	2										
		選択				後期	情報系数学応用B	2							
	システムデザイン応用	選択				後期	情報システムのプロジェクト管理	2	前期	ソフトウェアプロセスと品質	2				
									後期	○ ビッグデータ	2				
	ネットワークテクノロジー	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
				単位数	24		単位数	26		単位数	30		単位数	2	82
グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
			後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
		選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
						後期	○ 実践英語：多文化理解	2	前期	○ 実践英語：日本文化	2				
									後期	○ 実践英語：製造業	2				
				単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
	―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
				単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
				合計単位数	42		合計単位数	39		合計単位数	39		合計単位数	8	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

旧　[資料 12-②-2　履修モデル]

②-2　情報通信技術に関する応用的な知識やプロジェクト管理に関する実践的な力を養い、情報通信技術関連の開発企業において企画運営能力を発揮し、新規の事業やサービスの開発を進める人材を目指す履修モデルのうち、特定の分野を集中して学び、学んだ分野の開発プロジェクトのリーダーになる履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	―	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎C	2	後期	○ 科学史	2							
					単位数	14		単位数	5		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント（経営学基礎）	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択				前期	○ オペレーションズマネジメント	2							
		ビジネス応用	選択				前期	○ 法務リテラシーⅡ	2							
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎（起業論）	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ（実習）	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ（実習）	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択							前期	情報系数学応用C	2				
		システムデザイン応用	選択										前期	○ スーパーコンピュータ	2	
		ネットワークセキュリティ	選択				前期	○ ネットワーク構築Ⅰ	2	前期	ネットワーク構築Ⅲ	2				
							後期	ネットワーク構築Ⅱ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	―	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ（実習）	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ（実習）	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				前期	○ 英語アカデミックリテラシー	2	前期	○ 英語通訳論	2	後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2	後期	○ 実践英語：日本文化	2				
										後期	○ 実践英語：製造業	2				
					単位数	4		単位数	8		単位数	6		単位数	2	20
総合科目		―	必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	42		合計単位数	37		合計単位数	39		合計単位数	10	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

旧　[資料 12-③　履修モデル]

③　起業して新たなサービス・ビジネスを創出する人材を目指す履修モデル

				1年			2年			3年			4年			
				期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	期	科目名	単位	単位
基礎科目	現代社会基礎	－	必修	前期	● イノベーションの志	2	前期	● キャリアデザインⅠ	1	後期	● キャリアデザインⅡ	1				
				前期	● スタディスキル	2										
				前期	● 英語コア・スキルズⅠ	2										
				後期	● リサーチ入門	2										
				後期	● 英語コア・スキルズⅡ	2										
			選択	前期	○ 数学基礎A	2	前期	○ 先端グローバル社会	2							
				後期	○ 数学基礎B	2										
				後期	○ 数学基礎C	2										
					単位数	16		単位数	3		単位数	1		単位数	0	20
職業専門科目	経営	ビジネス基礎	必修	前期	● マネジメント(経営学基礎)	2										
				前期	● マーケティング基礎	2										
				後期	● 法務リテラシーⅠ	2										
				後期	● アカウンティング入門	2										
			選択													
		ビジネス応用	選択				後期	○ ファイナンス入門	2	後期	地域創生とイノベーション	2	後期	税務会計・会計処理	2	
										後期	○ コーポレートファイナンス	2				
		ビジネス実践	必修	前期	● イノベーションプロジェクトⅠ	2	前期	● イノベーションプロジェクトⅢ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅤ	2	通期	● イノベーションプロジェクトⅥ	2	
				後期	● イノベーションプロジェクトⅡ	2	前期	● ビジネスフィールドリサーチⅠ	2	前期	● インターンシップⅠ	12				
				後期	● スタートアップ基礎(起業論)	2	後期	● イノベーションプロジェクトⅣ	2	後期	● インターンシップⅡ	12				
							後期	● ビジネスフィールドリサーチⅡ	2							
	情報通信技術	システムデザイン基礎	必修	前期	● プログラミングⅠ	2	前期	● ソフトウェア設計・構築	2							
				前期	● データ構造と処理法	2	前期	● データベース	2							
				前期	● コンピュータとソフトウェア基礎	2	後期	● 情報技術演習Ⅰ	2							
				後期	● プログラミングⅡ	2	後期	● システム設計演習	2							
				後期	● ネットワーク技術	2										
			選択				前期	○ モバイルサービス概論	2							
		システムデザイン応用	選択				前期	○ Webシステム演習	2							
		システムセキュリティ	選択				後期	○ 情報セキュリティ演習Ⅰ	2							
					単位数	24		単位数	24		単位数	30		単位数	4	82
展開科目	グローバルコミュニケーション	－	必修	前期	● ビジネス英語実習Ⅰ	2	前期	● ビジネス英語実習Ⅲ	2							
				後期	● ビジネス英語実習Ⅱ	2	後期	● ビジネス英語実習Ⅳ	2							
			選択				後期	○ 英語ビジネスマネジメント	2	後期	○ 英語ディスカッション・ディベート	2	前期	○ 実践英語：ファイナンス	2	
							後期	○ 実践英語：多文化理解	2				前期	○ 英語プレゼンテーション	2	
													後期	○ 英語ネゴシエーション	2	
					単位数	4		単位数	8		単位数	2		単位数	6	20
総合科目			必修							後期	● 総合理論演習	2	通期	● 総合実践演習	4	
					単位数	0		単位数	0		単位数	2		単位数	4	6
					合計単位数	44		合計単位数	35		合計単位数	35		合計単位数	14	128

必修科目…科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 13　ポリシー

新	旧
■ディプロマ・ポリシー ④国際的コミュニケーション能力 ・グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。 ■カリキュラム・ポリシー ④展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。 ・グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。	■ディプロマ・ポリシー ④国際的コミュニケーション能力 ・英語を用いてビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。 ■カリキュラム・ポリシー ④展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。 ・英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。 ・文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

（新旧対照表）別紙（設置の趣旨等を記載した書類　資料 19　カリキュラムマップ）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 15　時間割（前期）

新

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年 【実習】 プログラミング I （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 I （Hug）											1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【実習】 データベース （片桐）					
	2										4年 【演習】 グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション（佐伯）			1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【実習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 職業倫理 （小林美）			2年 【講義】 アカウンティング応用 （中嶋）	
	3	1年 【実習】 プログラミング I （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 I （Hug）								4年 【演習】 ファイナンス業における国際化 （佐伯）			1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【実習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 先端グローバル社会 （小林久）		（削除）	2年 【講義】 アカウンティング応用 （中嶋）	
	4				1年 【演習】 オペレーティングシステム （井澤）						4年 【演習】 グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション（佐伯）			1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【実習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 情報系数学応用A （落合）		（削除）		
	5	1年 【実習】 プログラミング I （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 I （阿部川）		1年 【演習】 オペレーティングシステム （井澤）			4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （難波）	4年 【演習】 総合実践演習 （江端）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）			1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【実習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 情報系数学応用A （落合）				
	6																			
火	1																			
	2	1年 【実習】 プログラミング I （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 I （藤井）				4年 【演習】 国際関係論（上野）	3年（4-5月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （川上）	3年（4-5月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （久米）	3年（4-5月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （志村）	3年（4-5月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （粟浜）	3年（4-5月） 【演習】 イノベーションプロジェクトV （松村）				2年 【講義】 マーケティング応用 （富澤）					
	3							4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （川上）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （久米）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （志村）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （粟浜）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトVI （松村）			2年 【講義】 オペレーションズマネジメント （三澤）	2年 【講義】 法務リテラシーII （境）		3年（4-5月のみ） 【講義】 情報系数学応用C （落合）	3年（4-5月のみ） 【演習】 国際情勢論（上野）	
	4	1年 【実習】 プログラミング I （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習 I （Hug）					2年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （川上）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （久米）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （志村）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （粟浜）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトII （松村）								
	5					2年 【演習】 インタラクティブシステムデザイン （井澤）	3年（4-5月のみ） 【講義】 モデル化と要求事項 （寺脇）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトI （川上）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトI （久米）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトI （志村）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトI （粟浜）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトI （松村）			2年 【講義】 法務リテラシーII （境）		3年（4-5月のみ） 【講義】 ビジネスゲームによる経営意思決定 （寺脇）		
	6																		4年 【講義】 新興市場における事業開発 （志村）	
水	1													1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）					
	2		2年 【実習】 ビジネス英語実習III （阿部川）			2年 【演習】 Webシステム演習 （落合）			3年（4-5月のみ） 【演習】 情報技術演習II （鎌谷）					1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	2年 【講義】 職業倫理 （小林美）				
	3						2年 【演習】 ネットワーク構築 I （山内）				4年 【演習】 AI （Adrian、落合）			1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	2年 【講義】 先端グローバル社会 （小林久）		3年（4-5月のみ） 【講義】 グローバルビジネスと通貨 （阿部川）	4年 【講義】 クロスチックビジネスデザイン （藤森）	
	4						2年 【演習】 ネットワーク構築 I （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）						1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）				4年 【講義】 デザインと経営 （小林久）	
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習III （Hug）					2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）		1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	3年（4-5月のみ） 【講義】 情報系数学応用C （落合）		3年（4-5月のみ） 【講義】 グローバルビジネスと通貨 （阿部川）		
	6							4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）	4年 【演習】 総合実践演習 （富澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （磯）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）							
木	1							2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	（削除）					1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）			3年（4-5月のみ） 【演習】 情報セキュリティ演習II （平山）		
	2						2年 【演習】 ネットワーク構築 I （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）		（削除）	4年 【演習】 国際関係論（上野）	1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）					
	3						3年（4-5月のみ） 【演習】 ネットワーク構築 III （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）		（削除）	4年 【演習】 国際関係論（上野）	1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）				3年（4-5月のみ） 【演習】 国際情勢論（上野）	
	4							2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチI （川上）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチI （久米）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチI （各務）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチI （粟浜）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチI （松村）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）					
	5													1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）			3年（4-5月のみ） 【講義】 人的資源管理論 （青田）	3年（4-5月のみ） 【演習】 国際情勢論（上野）	
	6										4年 【演習】 スーパーコンピュータ （堀田）									
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習III （藤井）	1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズI （奥村）			3年（4-5月のみ） 【演習】 日本文化（市川）				（削除）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインI （富澤）					
	2			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズI （奥村）							4年 【演習】 サービス業における国際化（嶋田）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインI （富澤）					
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習III （Joe）	1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズI （奥村）			3年（4-5月のみ） 【演習】 日本文化（市川）				4年 【演習】 サービス業における国際化（嶋田）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインI （富澤）			3年（4-5月のみ） 【講義】 ソフトウェアプロセスと品質 （寺脇）		
	4			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズI （奥村）									1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインI （富澤）	2年 【講義】 モバイルサービス概論 （磯）				
	5			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズI （奥村）			2年（4-5月のみ） 【演習】 日本文化（市川）	4年 【演習】 総合実践演習 （鎌谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインI （富澤）	2年 【講義】 モバイルサービス概論 （磯）				
	6																			
土	1																			
	2						3年 【実習】 インターンシップI 事前指導（4-5月） 事後指導8月） （富澤）	3年 【実習】 インターンシップI 事前指導（4-5月） 事後指導8月） （久米）	3年 【実習】 インターンシップI 事前指導（4-5月） 事後指導8月） （井澤）	3年 【実習】 インターンシップI 事前指導（4-5月） 事後指導8月） （加藤）	3年 【実習】 インターンシップI 事前指導（4-5月） 事後指導8月） （山内）									
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　資料 15　時間割（前期）

旧

		実習室①	実習室②	実習室①	実習室②	実習室③	実習室④	実習室⑤	実習室⑥	実習室⑦	実習室⑧	実習室⑨	実習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年 【実習】 プログラミングⅠ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅰ （Hug）											1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）					
	2											4年 【演習】 実践英語（IoT （市川）		1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 職業倫理 （小林美）			2年 【講義】 アカウンティング応用 （中嶋）	
	3	1年 【実習】 プログラミングⅠ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅰ （Hug）									4年 【演習】 英語プレゼンテーション （佐伯）		1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 先端グローバル社会 （小林久）		3年(4-5月のみ) 【講義】 英語選択論 （阿部川）	2年 【講義】 アカウンティング応用 （中嶋）	
	4				1年 【演習】 オペレーティングシステム （井澤）							4年 【演習】 実践英語・ファイナンス （佐伯）		1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 情報系数学応用A （落合）				
	5	1年 【実習】 プログラミングⅠ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅰ （阿部川）		1年 【演習】 オペレーティングシステム （井澤）			4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （難波）	4年 【演習】 総合実践演習 （江端）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）			1年 【講義】 数学基礎A （磯）	2年 【演習】 データベース （片桐）	2年 【講義】 情報系数学応用A （落合）				
	6																			
火	1	1年 【実習】 プログラミングⅠ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅰ （藤井）																	
	2						（追加）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （川上）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （久米）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （志村）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （衆浜）	3年(4-5月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （松村）				2年 【講義】 マーケティング応用 （富澤）				
	3	1年 【実習】 プログラミングⅠ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅰ （Hug）					4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （川上）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （久米）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （志村）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （衆浜）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （松村）			2年 【講義】 オペレーションズマネジメント （三澤）	2年 【講義】 法務リテラシーⅡ （境）		3年(4-5月のみ) 【講義】 情報系数学応用C （落合）	（追加）	
	4							2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅢ （川上）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅢ （久米）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅢ （志村）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅢ （衆浜）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅢ （松村）							（追加）	
	5					2年 【演習】 インタラクティブシステムデザイン （井澤）	3年(4-5月のみ) 【講義】 モデル化と要求事項 （寺脇）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅠ （川上）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅠ （久米）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅠ （志村）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅠ （衆浜）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅠ （松村）				2年 【講義】 法務リテラシーⅡ （境）		3年(4-5月のみ) 【講義】 ビジネスゲームによる経営意思決定 （寺裏）		
	6																		4年 【講義】 新興市場における事業開発 （志村）	
水	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （阿部川）						3年(4-5月のみ) 【演習】 情報技術演習Ⅱ （鎌谷）					1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）					
	2					2年 【演習】 Webシステム演習 （落合）					4年 【演習】 AI （Adrian、落合）			1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	2年 【講義】 職業倫理 （小林美）				
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）				2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅰ （山内）							1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	2年 【講義】 先端グローバル社会 （小林久）		3年(4-5月のみ) 【講義】 英語選択論 （阿部川）	4年 【講義】 デザインと経営 （小林久）	
	4						2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅰ （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）						1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）				4年 【講義】 クロステックビジネスデザイン （藤森）	
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （Hug）					2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）		1年 【講義】 スタディスキル （加藤）	1年 【講義】 マーケティング基礎 （富澤）	3年(4-5月のみ) 【講義】 情報系数学応用C （落合）		3年(4-5月のみ) 【講義】 英語選択論 （阿部川）		
	6							4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）	4年 【演習】 総合実践演習 （富澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （磯）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）						
木	1							2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）					1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）			3年(4-5月のみ) 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅱ （平山）		
	2						2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅰ （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）		4年 【演習】 スーパーコンピュータ （堀田）	4年 【演習】 英語プレゼンテーション （佐伯）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）					
	3						3年(4-5月のみ) 【演習】 ネットワーク構築Ⅱ （山内）	2年 【演習】 ソフトウェア設計・構築 （桐谷）	2年 【演習】 英語アカデミック・リテラシー （奥村）		4年 【演習】 実践英語（IoT （市川）	4年 【演習】 実践英語・ファイナンス （佐伯）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）				（追加）	
	4							2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （川上）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （久米）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （各務）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （衆浜）	2年 【演習】 ビジネスフィールドリサーチⅠ （松村）		1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）				（追加）	
	5													1年 【講義】 マネジメント（経営学基礎） （三澤）	1年 【講義】 コンピュータとソフトウェア基礎 （堀田）			3年(4-5月のみ) 【講義】 人的資源管理論 （青田）	（追加）	
	6																		（追加）	
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （藤井）	1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）			2年(4-5月のみ) 【演習】 実践英語・日本文化 （市川）				4年 【演習】 実践英語（IoT （市川）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）					
	2			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）							4年 【演習】 英語プレゼンテーション （佐伯）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）					
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅲ （Joe）	1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）			3年(4-5月のみ) 【演習】 実践英語・日本文化 （市川）				4年 【演習】 実践英語・ファイナンス （佐伯）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）			3年(4-5月のみ) 【講義】 ソフトウェアプロセスと品質 （寺脇）		
	4			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）									1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）	2年 【講義】 モバイルサービス概論 （徳）				
	5			1年 【演習】 データ構造と処理法 （片桐）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅠ （奥村）			2年(4-5月のみ) 【演習】 実践英語・日本文化 （市川）	4年 【演習】 総合実践演習 （鎌谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 イノベーションの志 （中村）	2年 【講義】 キャリアデザインⅠ （富澤）	2年 【講義】 モバイルサービス概論 （徳）				
	6																			
土	1						3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(8月) （富澤）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(8月) （久米）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(8月) （井澤）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(8月) （加藤）	3年 【実習】 インターンシップⅠ 事前指導(4-5月) 事後指導(8月) （山内）								
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

資料 15　時間割（後期）

新

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （江端）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （川上）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （難波）	3年(12-1月のみ) 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）	（削除）									
	2			（削除）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）						4年 【演習】 グローバルビジネスにおけるシミュレーション（後半） （後谷）				3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）					
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）	（削除）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 製造業における国際化 （後田）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （片桐）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （志村）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （富澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （三澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （各務）	4年 【演習】 国際経営と商習慣 （橋田）			3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）					
	4			（削除）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）							4年 【演習】 産業・経営・改革における国際化 （小林久）				2年 【講義】 科学史 （大和）				
	5	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （阿部川）		2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （難波）	4年 【演習】 総合実践演習 （江端）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）					3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）	2年 【講義】 科学史 （大和）				
	6																			
火	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （藤井）			2年 【演習】 多文化理解 （市川）									2年 【講義】 情報システムのプロジェクト管理 （平山）					
	2				1年 【演習】 オペレーティングシステム演習 （鎌谷）	2年 【演習】 問題形成と問題解決 （三澤）	2年 【演習】 比較実務論 （中村真）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （川上）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （久米）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （志村）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （栗浜）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ （堀田）						
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		1年 【演習】 オペレーティングシステム演習 （鎌谷）	2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅱ （山内）	3年(12-1月のみ) 【演習】国際メディア論 （中村真）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （川上）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （久米）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （志村）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （栗浜）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ （堀田）	2年 【講義】 データサイエンス （磯、Adrian）	3年(12-1月のみ) 【講義】グローバル企業戦略論 （勝森）				
	4							2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （川上）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （久米）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （志村）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （栗浜）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （松村）					4年 【講義】 税務会計・会計処理 （辻）			
	5					2年 【演習】 多文化理解 （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】国際メディア論 （中村真）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （川上）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （久米）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （志村）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （栗浜）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （松村）			2年 【講義】 データサイエンス （磯、Adrian）					
	6					2年 【演習】 多文化理解 （市川）														
水	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	（削除）			3年(12-1月のみ) 【演習】 コーポレートファイナンス （辻）	3年(12-1月のみ) 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）					1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	2			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）						4年 【演習】 国際経営と商習慣 （橋田）	4年 【演習】 グローバルビジネスにおけるシミュレーション （後谷）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）			3年(12-1月のみ) 【演習】 システム・インテグレーション （平山、桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）		4年 【演習】 国際経営と商習慣 （橋田）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	4			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	1年 【演習】 オペレーティングシステム演習 （鎌谷）						4年 【演習】 産業・経営・改革における国際化 （小林久）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （阿部川）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）	1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （磯）					
	6						2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）	4年 【演習】 総合実践演習 （富澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （磯）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）							
木	1			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）					3年(12-1月のみ) 【演習】 製造業における国際化 （後田）		3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （井澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （久米）		1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 組織行動論 （青田）				
	2			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）							1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 ファイナンス入門 （中嶋）				
	3			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	2年 【演習】 比較実務論 （中村真）	2年(12-1月のみ) 【演習】グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）	3年(12-1月のみ) 【演習】 地域創生とイノベーション （久米）		1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B（片桐）				
	4			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	2年 【演習】 比較実務論 （中村真）					1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B（片桐）				
	5			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			3年(12-1月のみ) 【演習】国際メディア論 （中村真）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （川上）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （久米）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （各務）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （栗浜）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （松村）	1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）						
	6																			
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （藤井）						3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （磯）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （加藤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （堀田）		1年 【講義】 法務リテラシー1 （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）				
	2							2年 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅰ （平山）						1年 【講義】 法務リテラシー1 （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （勝森）			
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）					2年 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅰ （平山）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （落合）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （寺脇）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （平山）		1年 【講義】 法務リテラシー1 （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （勝森）			
	4													1年 【講義】 法務リテラシー1 （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）			
	5							2年 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅰ （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （鎌谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 法務リテラシー1 （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）			
	6																			
土	1						3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導（9月） 事後指導（12月） （富澤）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導（9月） 事後指導（12月） （久米）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導（9月） 事後指導（12月） （井澤）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導（9月） 事後指導（12月） （加藤）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導（9月） 事後指導（12月） （山内）								
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

資料 15　時間割（後期）

旧

		実習室①	実習室②	演習室①	演習室②	演習室③	演習室④	演習室⑤	演習室⑥	演習室⑦	演習室⑧	演習室⑨	演習室⑩	講義室①	講義室②	講義室③	講義室④	講義室⑤	講義室⑥	講義室⑦
月	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		2年 【演習】 英語ビジネスマネジメント （原嶋川）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】英語ディスカッション・ディベート （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （江端）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （川上）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （難波）	3年(12-1月のみ) 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）	4年 【演習】 英語ネゴシエーション （佐伯）								
	2				2年 【演習】 英語ビジネスマネジメント （阿部川）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）						4年 【演習】 英語ネゴシエーション （佐伯）			3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）						
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）	2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 実践英語・製造業 （佐伯）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （片桐）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （志村）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （富澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （三澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （各務）	（追加）		3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）					
	4					2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）							（追加）			2年 【講義】 科学史 （大和）					
	5	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （阿部川）			2年 【演習】 情報技術演習Ⅰ （鎌谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （川上）	4年 【演習】 総合実践演習 （難波）	4年 【演習】 総合実践演習 （江端）	4年 【演習】 総合実践演習 （志村）				3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）	2年 【講義】 科学史 （大和）				
	6																			
火	1	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （藤井）			2年 【演習】 実践英語・多文化理解 （市川）									2年 【講義】 情報システムのプロジェクト管理 （平山）					
	2				（追加）	2年 【演習】 問題形成と問題解決 （三澤）		3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （川上）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （久米）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （志村）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （乗浜）	3年(12-1月) 【演習】 イノベーションプロジェクトⅤ （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ（堀田）						
	3	1年 【実習】 プログラミングⅡ （寺脇）	1年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅱ （Hug）		（追加）	2年 【演習】 ネットワーク構築Ⅱ （山内）	3年(12-1月のみ) 【演習】英語ディスカッション・ディベート （市川）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （川上）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （久米）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （志村）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （乗浜）	4年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅥ （松村）		1年 【講義】 コンピュータアーキテクチャ（堀田）	2年 【講義】 データサイエンス（鍛、Adrian）	（追加）				
	4							2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （川上）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （久米）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （志村）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （乗浜）	2年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅣ （松村）				（追加）	4年 【講義】 税務会計・会計処理 （辻）			
	5					2年 【演習】 実践英語・多文化理解 （市川）	3年(12-1月のみ) 【演習】 実践英語・製造業 （佐伯）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （川上）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （久米）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （志村）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （乗浜）	1年 【演習】 イノベーションプロジェクトⅡ （松村）			2年 【講義】 データサイエンス（鍛、Adrian）					
	6					2年 【演習】 実践英語・多文化理解 （市川）														
水	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）			3年(12-1月のみ) 【演習】 コーポレートファイナンス （辻）	3年(12-1月のみ) 【演習】 ビッグデータ （落合、加藤）					1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鍛）					
	2			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英語ビジネスマネジメント （阿部川）						4年 【演習】 実践英語・イノベーション （三澤）	4年 【演習】 英語ネゴシエーション （佐伯）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鍛）					
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	2年 【演習】 英米文学演習 （阿部川）			3年(12-1月のみ) 【演習】 システムインテグレーション （平山、桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）					1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鍛）					
	4			1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）	（追加）		2年 【演習】 システム設計演習Ⅱ （桐谷）				4年 【演習】 実践英語・イノベーション （三澤）			1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鍛）					
	5		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （阿部川）	1年 【演習】 英語コア・スキルズⅡ （奥村）			2年 【演習】 システム設計演習Ⅱ （桐谷）		4年 【演習】 総合実践演習 （寺脇）	4年 【演習】 総合実践演習 （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （久米）	4年 【演習】 総合実践演習 （三澤）		1年 【講義】 アカウンティング入門 （中嶋）	1年 【講義】 数学基礎C （鍛）					
	6						4年 【演習】 総合実践演習 （中嶋）		4年 【演習】 総合実践演習 （富澤）	4年 【演習】 総合実践演習 （鍛）	4年 【演習】 総合実践演習 （片桐）	4年 【演習】 総合実践演習 （加藤）							
木	1			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）				3年(12-1月のみ) 【演習】英語ディスカッション・ディベート （市川）		3年(12-1月のみ) 【演習】 クラウド （井澤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （久米）			1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 組織行動論 （青田）				
	2			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）							1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 ファイナンス入門（中嶋）				
	3			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 実践英語・製造業 （佐伯）	3年(12-1月のみ) 【演習】 IoT （鎌谷、Adrian）	3年(12-1月のみ) 【演習】 地域創生とイノベーション （久米）	（追加）		1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B（片桐）				
	4			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			2年 【演習】 システム設計演習 （桐谷）				（追加）		1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）		2年 【講義】 情報系数学応用B（片桐）				
	5			1年 【講義】 リサーチ入門 （難波）			（追加）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （川上）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （久米）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （各務）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （乗浜）	2年 【実習】 ビジネスフィールドリサーチⅡ （松村）	1年 【講義】 スタートアップ基礎（起業論） （江端）						
	6						（追加）													
金	1		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （藤井）						3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （鍛）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （加藤）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （鎌谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （堀田）		1年 【講義】 法務リテラシーⅠ （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）			
	2							2年 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅰ （平山）						1年 【講義】 法務リテラシーⅠ （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （藤森）			
	3		2年 【実習】 ビジネス英語実習Ⅳ （Hug）					2年 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅰ （平山）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （落合）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （桐谷）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （寺脇）	3年(12-1月のみ) 【演習】 総合理論演習 （平山）		1年 【講義】 法務リテラシーⅠ （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	2年 【講義】 ICTと人間 （藤森）			
	4													1年 【講義】 法務リテラシーⅠ （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）			
	5							2年 【演習】 情報セキュリティ演習Ⅰ （平山）	4年 【演習】 総合実践演習 （鍛谷）	4年 【演習】 総合実践演習 （堀田）	4年 【演習】 総合実践演習 （落合）	4年 【演習】 総合実践演習 （桐谷）		1年 【講義】 法務リテラシーⅠ （境）	1年 【講義】 数学基礎B （落合）	1年 【講義】 ネットワーク技術 （Adrian、山内）	3年(12-1月) 【講義】 キャリアデザインⅡ （富澤）			
	6																			
土	1						3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導(9月) 事後指導(12月) （富澤）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導(9月) 事後指導(12月) （久米）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導(9月) 事後指導(12月) （井澤）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導(9月) 事後指導(12月) （加藤）	3年 【実習】 インターンシップⅡ 事前指導(9月) 事後指導(12月) （山内）								
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			

（新旧対照表）教員名簿[教員の氏名等]

新

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
③	ｱﾍﾞｶﾜ　ﾋｻﾋﾛ 阿部川　久広 ＜令和２年４月＞	ビジネス英語実習Ⅰ	１前	２	１
		ビジネス英語実習Ⅱ	１後	２	１
		ビジネス英語実習Ⅲ	２前	２	１
		ビジネス英語実習Ⅳ	２後	２	１
		(削除)			
		英米文学演習	２後	４	２
		グローバルビジネスと通訳	３前	４	２

旧

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
②	ｱﾍﾞｶﾜ　ﾋｻﾋﾛ 阿部川　久広 ＜令和２年４月＞	ビジネス英語実習Ⅰ	１前	２	１
		ビジネス英語実習Ⅱ	１後	２	１
		ビジネス英語実習Ⅲ	２前	２	１
		ビジネス英語実習Ⅳ	２後	２	１
		英語ビジネスマネジメント	２後	６	３
		英米文学演習	２後	６	３
		英語通訳論	３前	６	３

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
⑥	ｲﾁｶﾜ　ﾋﾞﾍﾞｶ 市川　ヴィヴェカ ＜令和３年４月＞	多文化理解	２後	6	3
		(削除)			
		日本文化	３前	6	3
		(削除)			
		グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート	３後	4	2
		(削除)			
⑦	ｳｴﾉ　ﾀｸﾛｳ 上野　拓朗 ＜令和４年４月＞	国際情勢論	３前	6	3
		国際開発論	４前	6	3
⑧	ｺﾊﾞﾔｼ　ｸﾐｺ 小林　久美子 ＜令和３年４月＞	先端グローバル社会	２前	4	2
		デザインと経営	４前	2	1
		農業・林業・漁業における国際化	４後	4	2

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
29	ｲﾁｶﾜ　ﾋﾞﾍﾞｶ 市川　ヴィヴェカ ＜令和３年４月＞	(追加)			
		実践英語：多文化理解	２後	4	2
		(削除)			
		実践英語：日本文化	３前	6	3
		英語ディスカッション・ディベート	３後	6	3
		実践英語：IoT	４前	6	3
	(追加)				
19	ｺﾊﾞﾔｼ　ｸﾐｺ 小林　久美子 ＜令和３年４月＞	先端グローバル社会	２前	4	2
		デザインと経営	４前	2	1
		(追加)			

調書番号	フリガナ 氏　名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
△9	サエキ　レイナ 佐伯　玲奈 <令和４年４月>	製造業における国際化	3後	4	2
		(削除)			
		グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション	4前	4	2
		ファイナンス業における国際化	4前	4	2
		(削除)			
		グローバルビジネスにおけるネゴシエーション	4後	4	2
△10	シマダ　ムネタカ 嶋田　崇孝 <令和５年４月>	サービス業における国際化	4前	4	2
		国際経営と商習慣	4後	6	3

調書番号	フリガナ 氏　名 <就任(予定)年月>	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数
32	サエキ　レイナ 佐伯　玲奈 <令和４年４月>	(追加)			
		実践英語：製造業	3後	6	3
		英語プレゼンテーション	4前	6	3
		(追加)			
		実践英語：ファイナンス	4前	6	3
		英語ネゴシエーション	4後	6	3
	(追加)				

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	
△11	ナカムラ　マリン 中村　真鈴 ＜令和３年４月＞	比較宗教論 国際メディア論	２後 ３後	6 6	3 3	

調書番号	フリガナ 氏　名 ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	
	（追加）					

別紙目次

別紙： カリキュラムマップ新旧対照表

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラムマップ

必修科目…太字・科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

			1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
基礎科目	現代社会基礎科目群		●イノベーションの志		●キャリアデザインⅠ			●キャリアデザインⅡ		
			●スタディスキル	●リサーチ入門						
			●英語コア・スキルズⅠ	●英語コア・スキルズⅡ	○職業倫理	○科学史				
			○数学基礎A	○数学基礎B	○先端グローバル社会	○ICTと人間				
				○数学基礎C	英語アカデミック・リテラシー	英米文学演習				
職業専門科目	経営	ビジネス基礎科目群	●マネジメント（経営学基礎）		○オペレーションズマネジメント					
			●マーケティング基礎	●法務リテラシーⅠ						
				●アカウンティング入門						
		ビジネス応用科目群				○問題形成と問題解決	○ビジネスゲームによる経営意思決定	○イノベーション特論	デザインと経営	
						○組織行動論	○人的資源管理論	○グローバル企業戦略論	クロステックビジネスデザイン	
					マーケティング応用			地域創生とイノベーション	新興市場における事業開発	
					○アカウンティング応用	○ファイナンス入門		○コーポレートファイナンス		税務会計・会計処理
					○法務リテラシーⅡ					
		ビジネス実践科目群	●イノベーションプロジェクトⅠ	●イノベーションプロジェクトⅡ	●イノベーションプロジェクトⅢ	●イノベーションプロジェクトⅣ	●イノベーションプロジェクトⅤ		●イノベーションプロジェクトⅥ	
				●スタートアップ基礎（起業論）	●ビジネスフィールドリサーチⅠ	●ビジネスフィールドリサーチⅡ	●インターンシップⅠ	●インターンシップⅡ		
	情報通信技術	システムデザイン基礎科目群	●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●情報技術演習Ⅰ				
			●データ構造と処理法	●ネットワーク技術	●データベース	●システム設計演習				
			●コンピュータとソフトウェア基礎	コンピュータアーキテクチャ	情報系数学応用A	情報系数学応用B	情報系数学応用C			
			オペレーティングシステム	オペレーティングシステム 演習	○モバイルサービス概論	○データサイエンス				
		システムデザイン応用科目群				情報システムのプロジェクト管理	情報技術演習Ⅱ	システムインテグレーション		
							ソフトウェアプロセスと品質			
							モデル化と要求開発			
					○Webシステム演習			○クラウド	○スーパーコンピュータ	
					○インタラクティブ・システムデザイン			○ビッグデータ	○AI	
								○IoT		
		ネットワーク・セキュリティ科目群			○ネットワーク構築Ⅰ	ネットワーク構築Ⅱ	ネットワーク構築Ⅲ			
						○情報セキュリティ演習Ⅰ	情報セキュリティ演習Ⅱ			
展開科目	グローバルコミュニケーション		●ビジネス英語実習Ⅰ	●ビジネス英語実習Ⅱ	●ビジネス英語実習Ⅲ	●ビジネス英語実習Ⅳ				
					（削除）	（削除）	○グローバルビジネスと通訳	○グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート	○グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション	○グローバルビジネスにおけるネゴシエーション
						○多文化理解	○国際情勢論	○国際メディア論	○国際開発論	○国際経営と商慣習
						○比較宗教論	○日本文化			
								○製造業における国際化	○ファイナンス業における国際化	○農業・林業・漁業における国際化
									○サービス業における国際化	
総合科目								●総合理論演習	●総合実践演習	

CP①
基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

CP②
職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

1）企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
4）目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
5）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

CP③
職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
3）基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④
展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

1）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
2）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

CP⑤
総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

DP①　職業的自立を図る能力
1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP②　経営に関する知識・スキル
1）企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3）基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④国際的コミュニケーション能力
1）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
2）文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力
経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■想定される
進路・就職先
一般企業
情報通信技術の開発企業

■養成する人材像

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。

学
別紙

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラムマップ

必修科目…太字・科目名に●
選択必修科目…科目名に○
選択科目…印なし

CP①
基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

CP②
職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

1）企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
4）目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
5）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

CP③
職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
3）基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④
展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

1）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

CP⑤
総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

			1年次		2年次		3年次		4年次	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎科目	現代社会基礎科目群		●イノベーションの志		●キャリアデザインⅠ			●キャリアデザインⅡ		
			●スタディスキル	●リサーチ入門						
			●英語コア・スキルズⅠ	●英語コア・スキルズⅡ	○職業倫理	○科学史				
			○数学基礎A	○数学基礎B	○先端グローバル社会	○ICTと人間				
				○数学基礎C	(追加)	(追加)				
職業専門科目	経営	ビジネス基礎科目群	●マネジメント(経営学基礎)		○オペレーションズマネジメント					
			●マーケティング基礎	●法務リテラシーⅠ						
				●アカウンティング入門						
		ビジネス応用科目				○問題形成と問題解決	○ビジネスゲームによる経営意思決定	○イノベーション特論	デザインと経営	
						○組織行動論	○人的資源管理論	(追加)	クロステックビジネスデザイン	
					マーケティング応用			地域創生とイノベーション	新興市場における事業開発	
					○アカウンティング応用	○ファイナンス入門		○コーポレートファイナンス		税務会計・会計処理
					○法務リテラシーⅡ					
		ビジネス実践科目群	●イノベーションプロジェクトⅠ	●イノベーションプロジェクトⅡ	●イノベーションプロジェクトⅢ	●イノベーションプロジェクトⅣ	●イノベーションプロジェクトⅤ		●イノベーションプロジェクトⅥ	
				●スタートアップ基礎(起業論)	●ビジネスフィールドリサーチⅠ	●ビジネスフィールドリサーチⅡ	●インターンシップⅠ	●インターンシップⅡ		
	情報通信技術	システムデザイン基礎科目群	●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●情報技術演習Ⅰ				
			●データ構造と処理法	●ネットワーク技術	●データベース	●システム設計演習				
			●コンピュータとソフトウェア基礎	コンピュータアーキテクチャ	情報系数学応用A	情報系数学応用B	情報系数学応用C			
			オペレーティングシステム	(追加)	○モバイルサービス概論	○データサイエンス				
		システムデザイン応用科目				情報システムのプロジェクト管理	情報技術演習Ⅱ	システムインテグレーション		
							ソフトウェアプロセスと品質			
							モデル化と要求開発			
					○Webシステム演習			○クラウド	○スーパーコンピュータ	
					○インタラクティブ・システムデザイン			○ビッグデータ	○AI	
								○IoT		
		ネットワーク・セキュリティ科目			○ネットワーク構築Ⅰ	ネットワーク構築Ⅱ	ネットワーク構築Ⅲ			
						○情報セキュリティ演習Ⅰ	情報セキュリティ演習Ⅱ			
展開科目	グローバルコミュニケーション		●ビジネス英語実習Ⅰ	●ビジネス英語実習Ⅱ	●ビジネス英語実習Ⅲ	●ビジネス英語実習Ⅳ				
					○英語アカデミック・リテラシー	○英語ビジネスマネジメント	○英語通訳論	○英語ディスカッション・ディベート	○英語プレゼンテーション	○英語ネゴシエーション
						○実践英語：多文化理解	○実践英語：日本文化		○実践英語：ファイナンス	○実践英語：イノベーション
						○英米文学演習		○実践英語：製造業	○実践英語：IoT	
総合科目								●総合理論演習	●総合実践演習	

DP①　職業的自立を図る能力
1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP②　経営に関する知識・スキル
1）企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3）基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④国際的コミュニケーション能力
1）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
2）文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤時代の変化に対応するビジネスの総合力
経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■想定される
進路・就職先
一般企業
情報通信技術の開発企業
起業

■養成する人材像

変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。

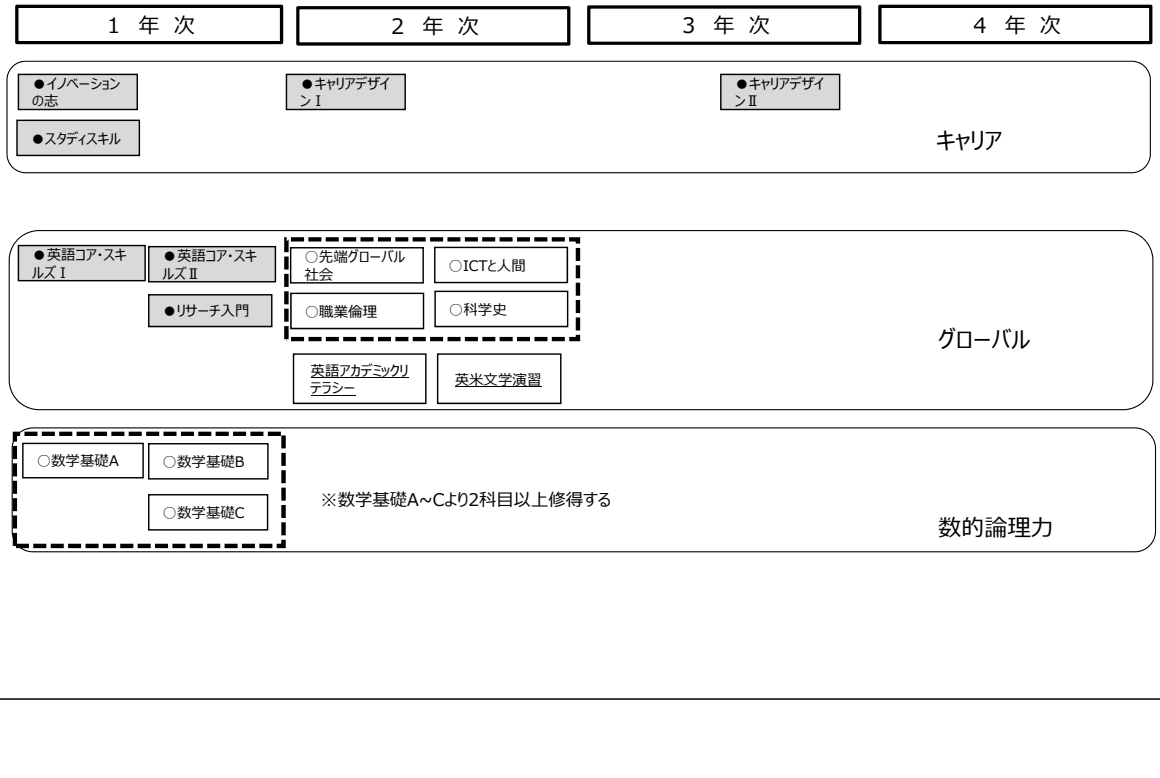
新

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラム構成図（現代社会基礎科目群）

DP①　職業的に自立を図る能力
1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

CP①基礎科目・現代社会基礎科目
生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

●　＝必修科目
○　＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
□　＝選択科目



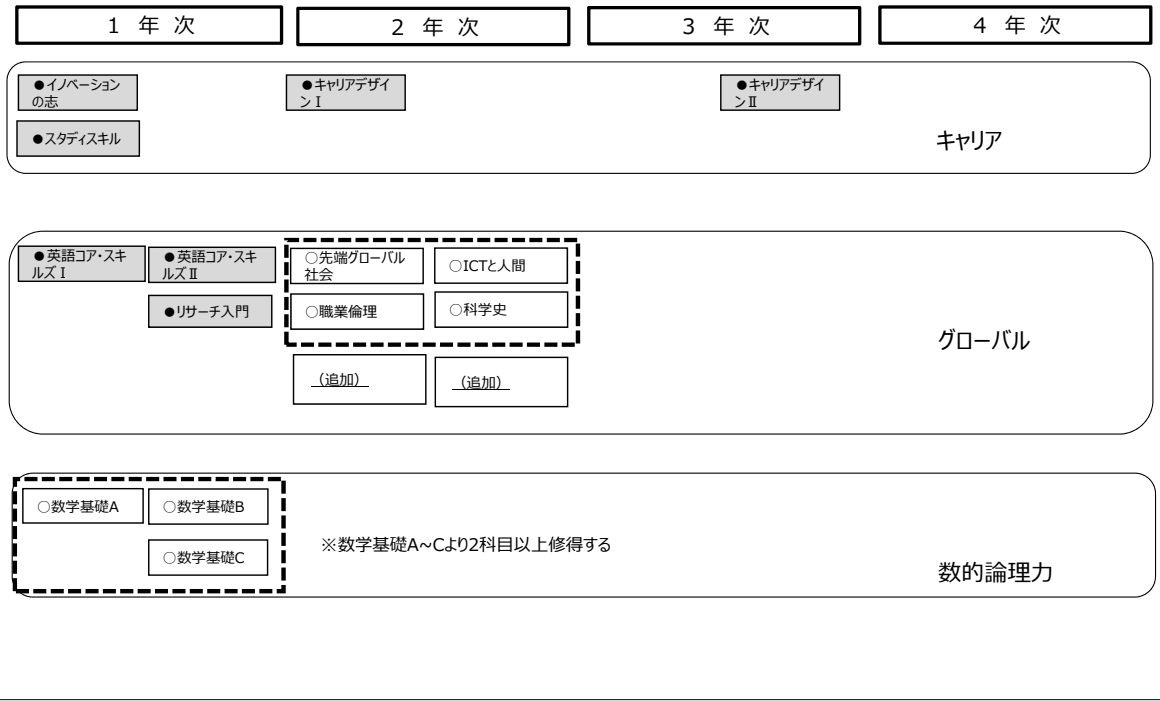
旧

情報経営イノベーション専門職大学　情報経営イノベーション学部　カリキュラム構成図（現代社会基礎科目群）

DP①　職業的に自立を図る能力
1）自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
2）グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
3）変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

CP①基礎科目・現代社会基礎科目
生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

●　＝必修科目
○　＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
□　＝選択科目



新

カリキュラム構成図（ビジネス領域）

DP② 経営に関する知識・スキル

1）企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

CP②職業専門科目のうち経営科目

企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

●＝必修科目
○＝選択必修科目 枠内から1科目以上を修得する
＝選択科目

CP②職業専門科目のうち経営科目

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次

1)
企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。

●マネジメント（経営学基礎）
●スタートアップ基礎（起業論）
○オペレーションズマネジメント
○問題形成と問題解決
○ビジネスゲームによる経営意思決定
○イノベーション特論
○組織行動論
○人的資源管理論
○グローバル企業戦略論
デザインと経営
クロステックビジネスデザイン
マネジメント・組織

2)
市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

●マーケティング基礎
マーケティング応用
●ビジネスフィールドリサーチⅠ
●ビジネスフィールドリサーチⅡ
地域創生とイノベーション
新興市場における事業開発
マーケティング・リサーチ

3)
企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。

●アカウンティング入門
●法務リテラシーⅠ
○アカウンティング応用
○ファイナンス入門
○法務リテラシーⅡ
○コーポレートファイナンス
税務会計・会計処理
会計・ファイナンス・法律

4)
目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。

●インターンシップⅠ
●インターンシップⅡ
実践

5)
新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

●イノベーションプロジェクトⅠ
●イノベーションプロジェクトⅡ
●イノベーションプロジェクトⅢ
●イノベーションプロジェクトⅣ
●イノベーションプロジェクトⅤ
●イノベーションプロジェクトⅥ
起業教育・実践

旧

カリキュラム構成図（ビジネス領域）

DP② 経営に関する知識・スキル

1）企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
2）市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
3）企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
4）新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

CP②職業専門科目のうち経営科目

企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

●＝必修科目
○＝選択必修科目 枠内から1科目以上を修得する
＝選択科目

CP②職業専門科目のうち経営科目

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次

1)
企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。

●マネジメント（経営学基礎）
●スタートアップ基礎（起業論）
○オペレーションズマネジメント
○問題形成と問題解決
○ビジネスゲームによる経営意思決定
○イノベーション特論
○組織行動論
○人的資源管理論
（追加）
デザインと経営
クロステックビジネスデザイン
マネジメント・組織

2)
市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。

●マーケティング基礎
マーケティング応用
●ビジネスフィールドリサーチⅠ
●ビジネスフィールドリサーチⅡ
地域創生とイノベーション
新興市場における事業開発
マーケティング・リサーチ

3)
企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身につけるため、法務や会計などの内容を学ぶ。

●アカウンティング入門
●法務リテラシーⅠ
○アカウンティング応用
○ファイナンス入門
○法務リテラシーⅡ
○コーポレートファイナンス
税務会計・会計処理
会計・ファイナンス・法律

4)
目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。

●インターンシップⅠ
●インターンシップⅡ
実践

5)
新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅵ」を設置する。

●イノベーションプロジェクトⅠ
●イノベーションプロジェクトⅡ
●イノベーションプロジェクトⅢ
●イノベーションプロジェクトⅣ
●イノベーションプロジェクトⅤ
●イノベーションプロジェクトⅥ
起業教育・実践

新

カリキュラム構成図（情報通信技術領域）

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3）基本なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目
情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

●　＝必修科目
○　＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
　　＝選択科目

CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●システム設計演習
●コンピュータとソフトウェア基礎	●ネットワーク技術	●データベース	●情報技術演習Ⅰ
●データ構造と処理法			

＊　左記の科目は、「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できる」科目であり、CP③-１）～４）のそれぞれで示す科目構成の中で再掲する。

1)
システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●システム設計演習
●コンピュータとソフトウェア基礎	コンピュータアーキテクチャ		●情報技術演習Ⅰ
			情報システムのプロジェクト管理
			ソフトウェアプロセスと品質
			情報技術演習Ⅱ
			システムインテグレーション

システム開発・設計

2)
コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	
●コンピュータとソフトウェア基礎			
オペレーティングシステム	オペレーティングシステム演習	情報系数学応用A	情報系数学応用B
			モデル化と要求開発
			情報系数学応用C

ソフトウェア構築

3)
基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●ネットワーク技術	○ネットワーク構築Ⅰ	○情報セキュリティ演習Ⅰ	
		ネットワーク構築Ⅱ	
		情報セキュリティ演習Ⅱ	
		ネットワーク構築Ⅲ	

ネットワーク・セキュリティ

4)
データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●データ構造と処理法	●データベース	●情報技術演習Ⅰ	情報技術演習Ⅱ

データベース

5)
情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

＊ CP③-１）～４）で習得した能力を基に、情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

2 年 次	3 年 次	4 年 次
○モバイルサービス概論	○データサイエンス	○クラウド
○ Webシステム演習		○ビックデータ
○インタラクティブ・システムデザイン		○ IoT
		○スーパーコンピュータ
		○ AI

応用

旧

カリキュラム構成図（情報通信技術領域）

DP③　情報通信技術に関する知識・スキル

1）システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
2）コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
3）基本なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
4）データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
5）情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目
情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

●　＝必修科目
○　＝選択必修科目　枠内から1科目以上を修得する
　　＝選択科目

CP③職業専門科目のうち情報通信技術科目

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●システム設計演習
●コンピュータとソフトウェア基礎	●ネットワーク技術	●データベース	●情報技術演習Ⅰ
●データ構造と処理法			

＊　左記の科目は、「情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できる」科目であり、CP③-１）～４）のそれぞれで示す科目構成の中で再掲する。

1)
システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	●システム設計演習
●コンピュータとソフトウェア基礎	コンピュータアーキテクチャ		●情報技術演習Ⅰ
			情報システムのプロジェクト管理
			ソフトウェアプロセスと品質
			情報技術演習Ⅱ
			システムインテグレーション

システム開発・設計

2)
コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●プログラミングⅠ	●プログラミングⅡ	●ソフトウェア設計・構築	
●コンピュータとソフトウェア基礎			
オペレーティングシステム	（追加）	情報系数学応用A	情報系数学応用B
			モデル化と要求開発
			情報系数学応用C

ソフトウェア構築

3)
基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●ネットワーク技術	○ネットワーク構築Ⅰ	○情報セキュリティ演習Ⅰ	
		ネットワーク構築Ⅱ	
		情報セキュリティ演習Ⅱ	
		ネットワーク構築Ⅲ	

ネットワーク・セキュリティ

4)
データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
●データ構造と処理法	●データベース	●情報技術演習Ⅰ	情報技術演習Ⅱ

データベース

5)
情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

＊ CP③-１）～４）で習得した能力を基に、情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

2 年 次	3 年 次	4 年 次
○モバイルサービス概論	○データサイエンス	○クラウド
○ Webシステム演習		○ビックデータ
○インタラクティブ・システムデザイン		○ IoT
		○スーパーコンピュータ
		○ AI

応用

新

カリキュラム構成図（グローバルコミュニケーション領域）

DP④国際的コミュニケーション能力

1）グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。

2）文化的背景の異なる人々と協働するために、(削除)多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

●＝必修科目

○＝選択必修科目※CP④１）
枠内から1科目以上を修得する

○＝選択必修科目※CP④２）◆国際・文化の理解
枠内から4科目以上を修得する

○＝選択必修科目※CP④２）◆各業界における国際化の理解
枠内から１科目以上を修得する

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次

1）
グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

●ビジネス英語実習Ⅰ　●ビジネス英語実習Ⅱ　●ビジネス英語実習Ⅲ　●ビジネス英語実習Ⅳ

○グローバルビジネスと通訳　○グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート　○グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション　○グローバルビジネスにおけるネゴシエーション

2）
文化的背景の異なる人々と協働するために、（削除）多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ

国際・文化の理解

○多文化理解　○国際情勢論　○国際メディア論　○国際開発論　○国際経営と商習慣
○比較宗教論　○日本文化

各業界における国際化の理解

○ファイナンス業における国際化　○農業・林業・漁業における国際化
○製造業における国際化　○サービス業における国際化

旧

カリキュラム構成図（グローバルコミュニケーション領域）

DP④国際的コミュニケーション能力

1）英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。

2）文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

●＝必修科目

○＝選択必修科目
枠内から1科目以上を修得する

＝選択科目

CP④展開科目・グローバルコミュニケーション科目

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次

1）
英語を用いて、ビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。

●ビジネス英語実習Ⅰ　●ビジネス英語実習Ⅱ　●ビジネス英語実習Ⅲ　●ビジネス英語実習Ⅳ

◆ルール（ビジネス・アカデミック）の理解とスキル
英語でビジネスを進めるためのルール理解、スキル習得

○英語アカデミックリテラシー　○英語ビジネスマネジメント　○英語通訳論

◆ルール（ビジネスコミュニケーション）の理解と実践
英語でビジネスコミュニケーションを行うためのルール理解と実践

○英語ディスカッション・ディベート　○英語プレゼンテーション　○英語ネゴシエーション

2）
文化的背景の異なる人々と協働するために、英語を用い、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ

◆文化の理解
文化的背景の異なる人々と協働するために、英語で文化を学ぶ。

○実践英語：多文化理解　○実践英語：日本文化
○英米文学演習

◆実践英語（ビジネス、ICT）
経営や技術などの専門的な内容について、英語でコミュニケーションをとることができるよう、具体的なテーマごとに学ぶ。

○実践英語：ファイナンス　○実践英語：イノベーション
○実践英語：製造業　○実践英語：IoT

新

カリキュラム構成図（総合科目）

DP⑤　時代の変化に対応するビジネスの総合力

1）経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

CP⑤総合科目

理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

●　＝必修科目

○　＝選択必修科目
　枠内から1科目以上を修得する

　＝選択科目

CP⑤　総合科目

・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
		●総合理論演習	●総合実践演習

旧

カリキュラム構成図（総合科目）

DP⑤　時代の変化に対応するビジネスの総合力

1）経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

CP⑤総合科目

理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

●　＝必修科目

○　＝選択必修科目
　枠内から1科目以上を修得する

　＝選択科目

CP⑤　総合科目

・経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
		●総合理論演習	●総合実践演習